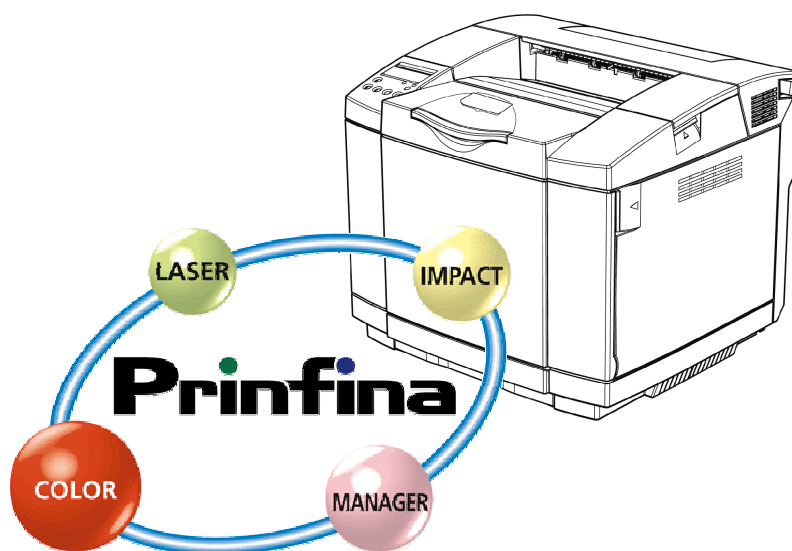
HITACHI
Inspire the Next

日立カラーページプリンタ
Prinfina COLOR CX5000

Prinfina

PC-PK5000N Windows 対応 プリンタドライバ取扱説明書

・製品を使用する前に、取扱説明をよく読み、十分理解してください。

CX5000DRV-020

はじめに

このたびは、日立カラーページプリンタをお買い求めいただき、まことにありがとうございます。
本取扱説明書では、Prinfina COLOR CX5000 添付の Microsoft® Windows®対応プリンタドライバの使用方法、使用上の注意事項を説明しております。
本説明書をよくお読みになり、正しくご使用ください。なお、本プリンタ装置のハードウェア取扱説明書もあわせて、ご覧ください。

お問い合わせ先

お客さま相談センター

0120-86-2556

ご利用時間　9:00 〜 17:00（土・日・祝日を除く）

本センターは、コンピュータをもっと使いこなしていただくための相談窓口です。製品の技術的なお問い合わせへの回答をコールバックいたします。

インターネットで製品情報の提供・プリンタドライバのダウンロードサービスを行っています。本取扱説明書と合わせてご活用ください。

http://www.hitachi.co.jp/printer/

お願い

電話での対応の時に、FAX でお願いすることもあります。
技術的なお問い合わせとは、製品仕様（機能内容）や操作方法などをいいます。ただし、各言語によるユーザプログラムの技術支援は除きます。
明らかにハードウエア障害と思われる内容につきましては、保守会社にご連絡ください。

お断り

- 本書の内容の一部または全部を無断で転載することは禁止されています。
- 本書の内容については将来予告なしに変更することがあります。
- 本書の内容については万全を期しておりますが、万一ご不審な点や誤りなど、お気づきのことがありましたらご連絡ください。
- 本製品を運用した結果については、前項にかかわらず、責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

商標について

- Adobe，Acrobat，Acrobat Reader，Adobe Illustrator，PageMaker，PhotoShop，PostScriptは、米国 Adobe Systems Incorporated.の登録商標です。
- i 386 は、Intel Corp.の商標です。
- IBM は、米国 International Business Machines Corp.の登録商標です。
- Microsoft は、米国 Microsoft Corp.の登録商標です。
- Pentium は、Intel Corp.の登録商標です。
- TrueType は、米国 Apple Computer, Inc.の登録商標です。
- Windows は、米国およびその他の国における Microsoft Corp.の登録商標です。
- WindowsNT は、米国およびその他の国における Microsoft Corp.の登録商標です。
- 一太郎は、株式会社ジャストシステムの登録商標です。
- Lotus は、Lotus Development Corporation の登録商標です。
- 1-2-3 は、Lotus Development Corporation の商標です。
- その他の社名及び商品名は各社の商標または登録商標です。
- 日立製作所は、他社商品に関しては一切の責任を負いません。

略称について

本書では、以下の略称を使用しています。

- Microsoft® Windows® 98 日本語版を Windows 98 と表記しています。
- Microsoft® Windows® Millennium Edition 日本語版を Windows Me と表記しています。
- Microsoft® Windows NT® 日本語版を Windows NT と表記しています。
- Microsoft® Windows® 2000 日本語版を Windows 2000 と表記しています。
- Microsoft® Windows® XP 日本語版を Windows XP と表記しています。
- Microsoft® Windows® Server 2003 日本語版を Windows Server 2003

来歴について

2004 年　 3 月（初版）　　CX5000DRV-010

2004 年　11 月（第２版）　CX5000DRV-020

本書で使用しているマークについて

本書では、注意していただきたいことや参考にしていただきたいことの説明には、次のようなマークをつけています。

•操作上、必ず守っていただきたい重要事項や制限事項が書かれています。
機械の故障、破損や誤った操作を防ぐために必ずお読みください。

•操作の参考になることや補足説明が書かれています。お読みになることをおすすめします。

目 次

目 次

第１章　システム環境

本プリンタドライバは以下のシステム環境でご利用になれます。ただし、オペレーティングシステム以外の下記のハードウエアは、搭載するアプリケーションにより、これらの条件は異なりますので参考値としてお考えください。

	USB ポート使用時	ネットワークポート使用時
オペレーティングシステム *2	Windows 98 *1 Windows Me *1 Windows 2000 Windows XP Windows Server 2003	Windows 98 Windows Me Windows NT 4.0 (Service Pack 5 以上) Windows 2000 Windows XP Windows Server 2003
マイクロプロセッサ*3	Pentium®（233MHz）以上 （Pentium®（500MHz）上を推奨)	
メモリ容量	64MB 以上（128MB 以上を推奨）	
ハードディスク空き容量 *4	100MB 以上（300MB 以上を推奨）	
ディスプレイ	VGA（640×480 ドット）以上の解像度 256 色以上（65536 色以上を推奨）	
USB	2.0 (Fullspeed) 12Mbps	-

*1 Windows 95 からアップグレードされた Windows 98、Windows Me では正常に動作しないことがあります。LAN 接続でご使用ください。

*2 本プリンタドライバは、オペレーションシステムにのみ依存するため、ハードウエアの限定はいたしません。

*3 Windows NT、Windows 2000、Windows XP プリンタドライバは X86 系 CPU のみご使用できます。

*4 Windows NT、Windows 2000 または Windows XP の lpr 機能で印刷する場合、スプールにジョブのデータを溜めてから印刷します。大量印刷する場合は空き容量が十分にあることを確認して印刷願います。

第2章　インストール

アプリケーションソフトから印刷するには､お使いのコンピュータにあらかじめプリンタドライバを組み込んでおく必要があります。以下の手順でインストールを行ってください。

お願い

- Windows NT 4.0、Windows 2000、Windows XP または Windows Server 2003 でプリンタドライバの組み込みを行うためには、アドミニストレータの権限が必要です。

1．USB 接続によるインストール

プリンタとパソコンを USB ポートを使って接続します。プリンタの電源を入れると Windows が自動的にプリンタをインストールします。

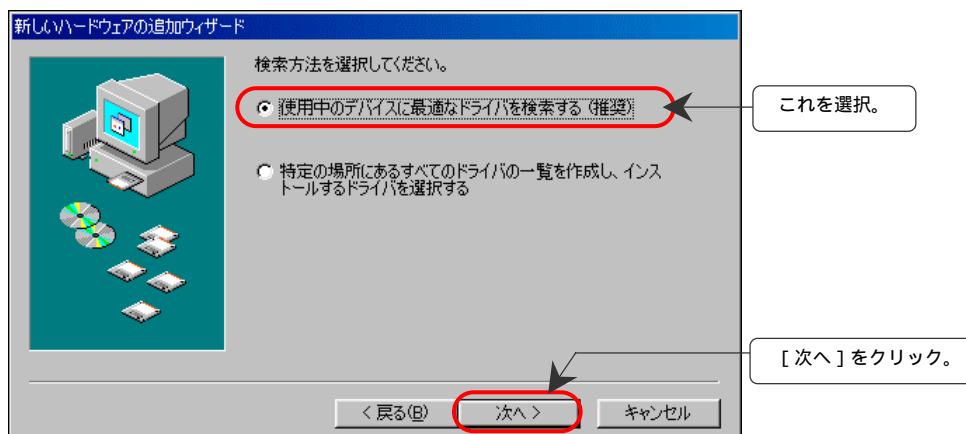
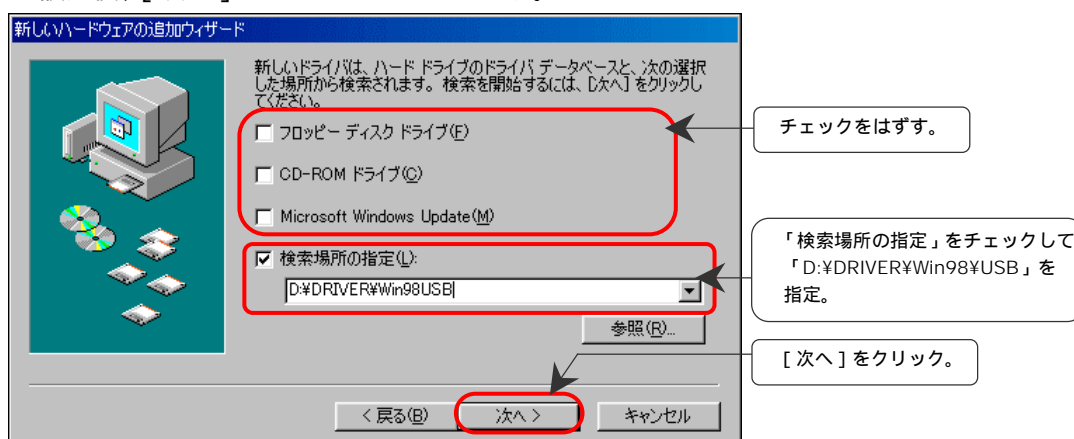
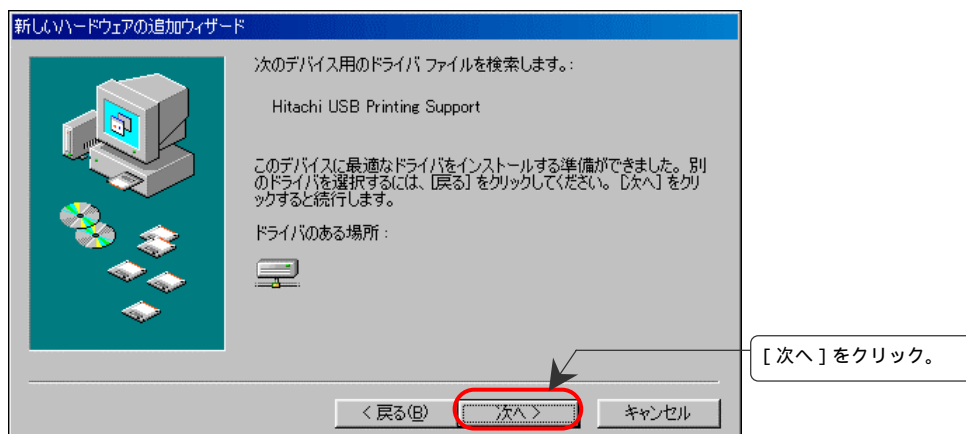
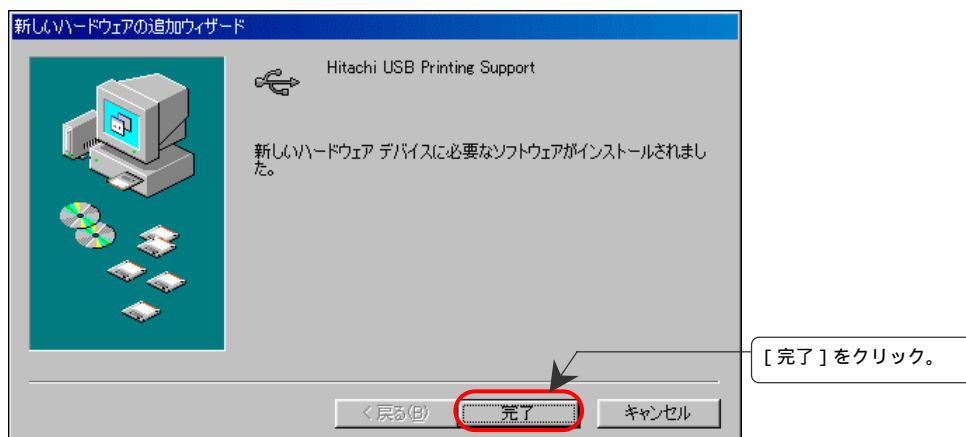
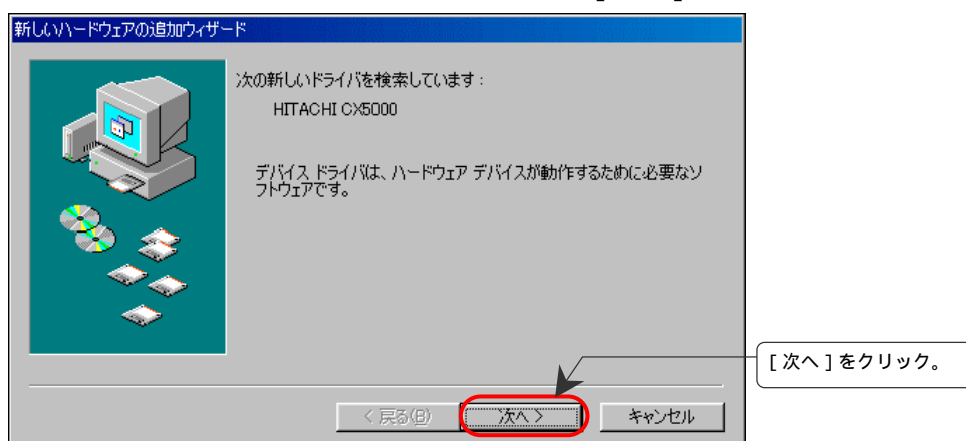
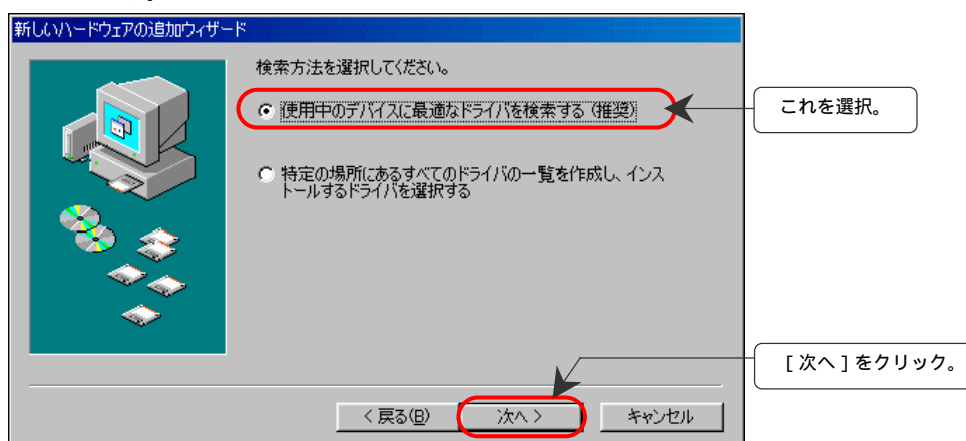
お願い

- プラグアンドプレイの起動がかからない場合や［デバイスドライバウィザード］ダイアログボックスが表示された場合、［キャンセル］ボタンをクリックし、「2. オートスタートアップ機能によるインストール」または「3．プリンタフォルダからインストール」を参照してください。

1.1　Windows 98 の場合

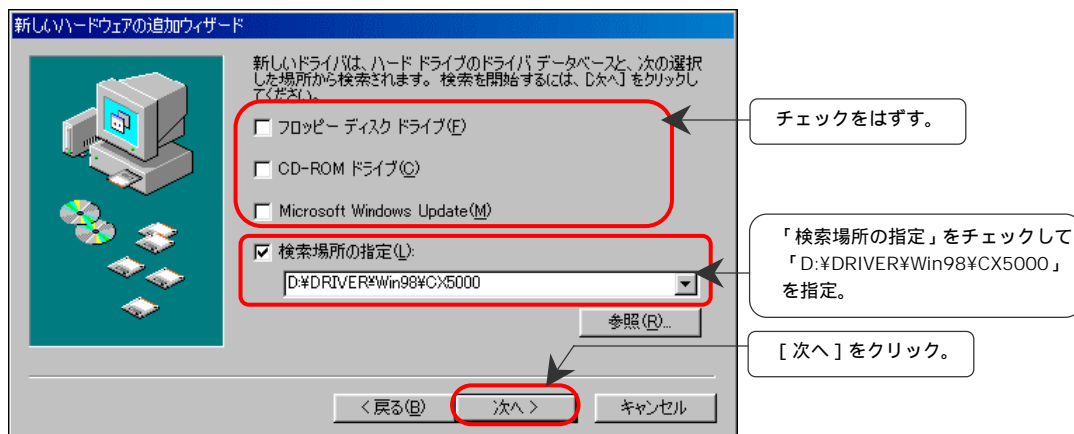
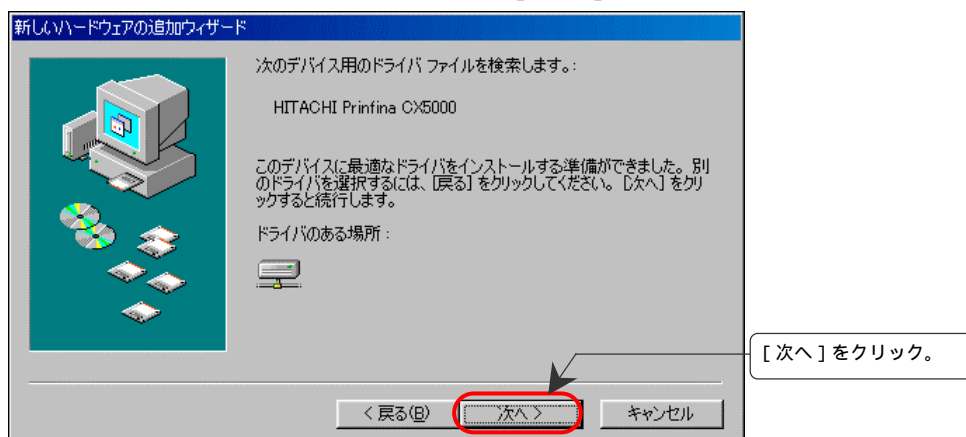
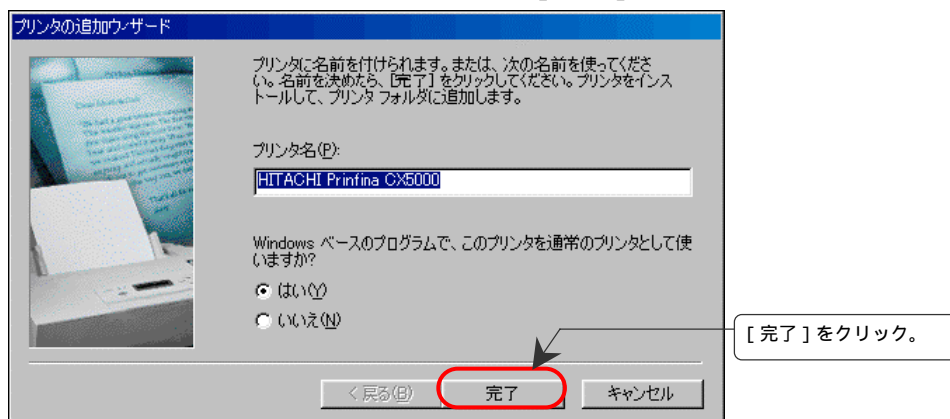
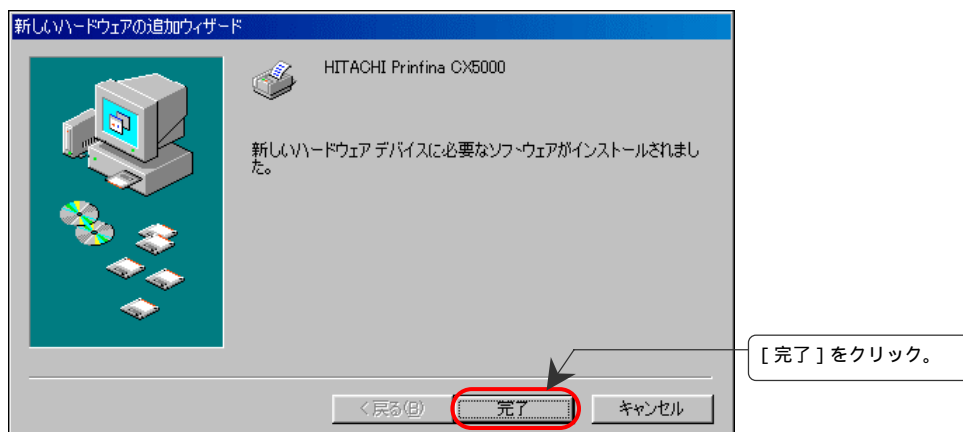
設定手順

1． パソコンとプリンタを USB ケーブルで接続すると､以下のダイアログが表示されます。［次へ］ボタンをクリックします。

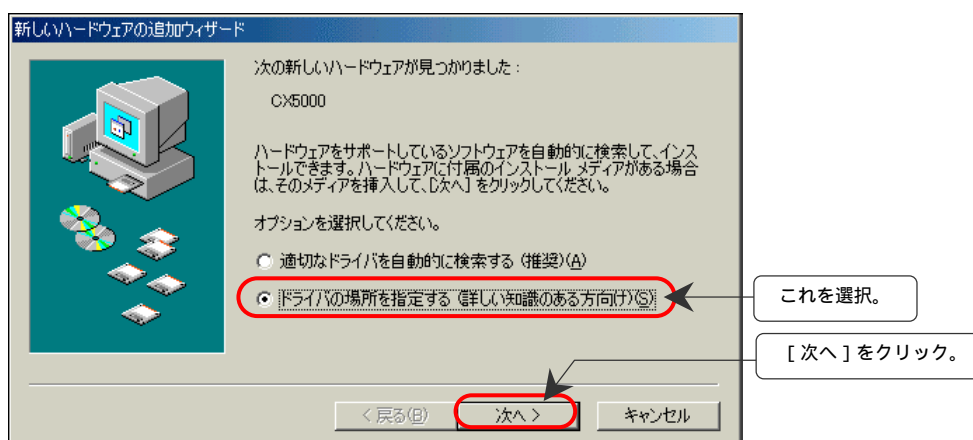
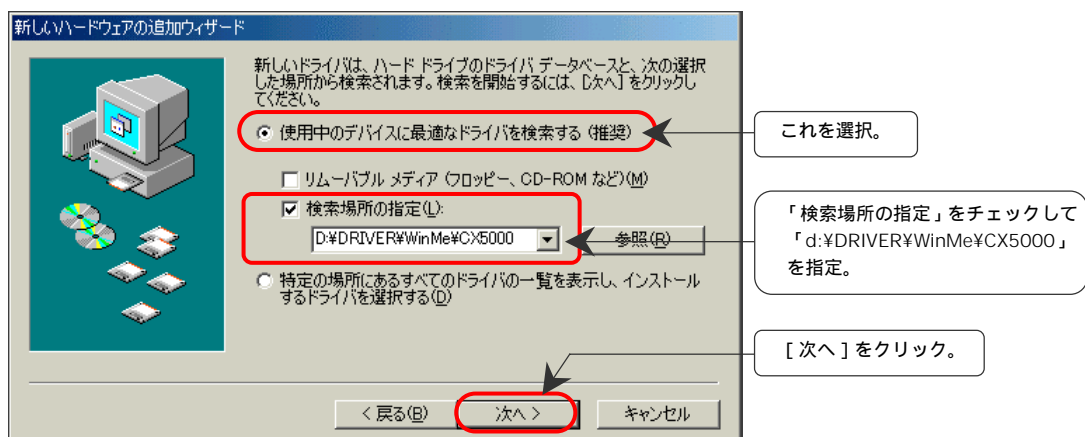
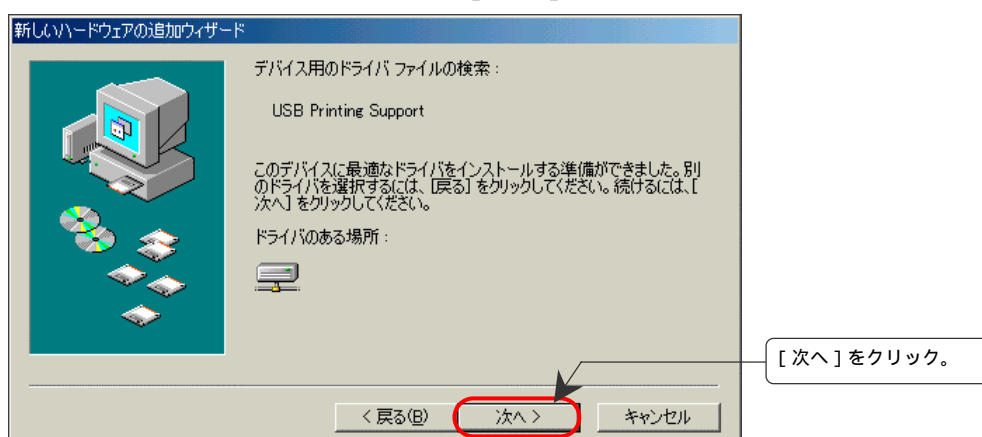
2. 「使用中のデバイスに最適なドライバを検索する」が選択されていることを確認して、［次へ］ボタンをクリックします。

3. 「フロッピーディスクドライブ」・「CD-ROM」ドライブ」・「Microsoft Windows Update」のチェックをはずし、「検索場所の指定」を選択して CD-ROM の以下のディレクトリを指定します。
CD-ROM ドライブが D の場合：
　D:¥DRIVER¥Win98USB
設定後、［次へ］ボタンをクリックします。

4. USB ドライバが見つかりますので、［次へ］ボタンをクリックします。

5. インストールが終了すると以下のダイアログが表示されます。[完了] ボタンをクリックします。

6. 次にプリンタドライバをインストールします。[次へ] ボタンをクリックします。

7. 「使用中のデバイスに最適なドライバを検索する」を選択して、[次へ] ボタンをクリックします。

8．「フロッピーディスクドライブ」・「CD-ROM ドライブ」・「Microsoft Windows Update」のチェックをはずし、「検索場所の指定」を選択して、CD-ROM の以下のディレクトリを指定します。

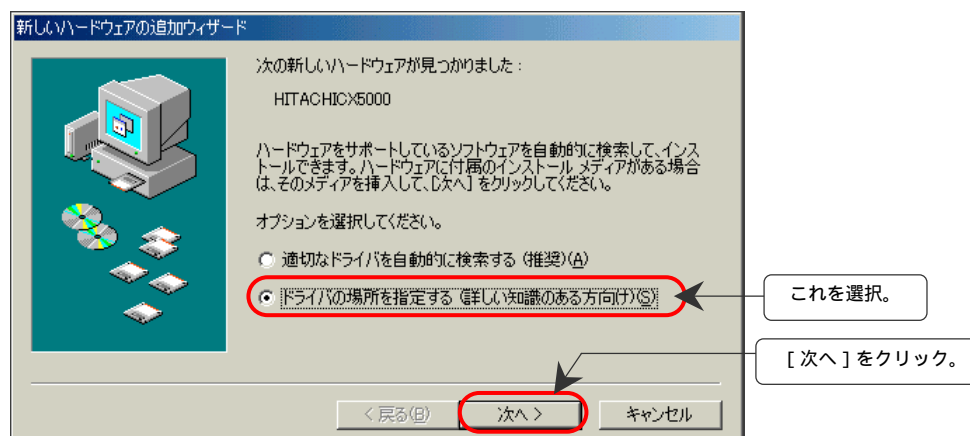
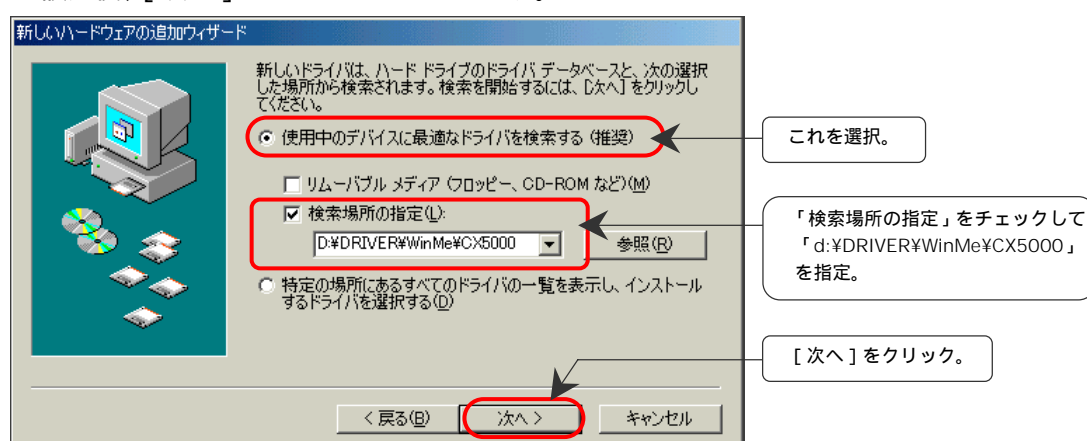
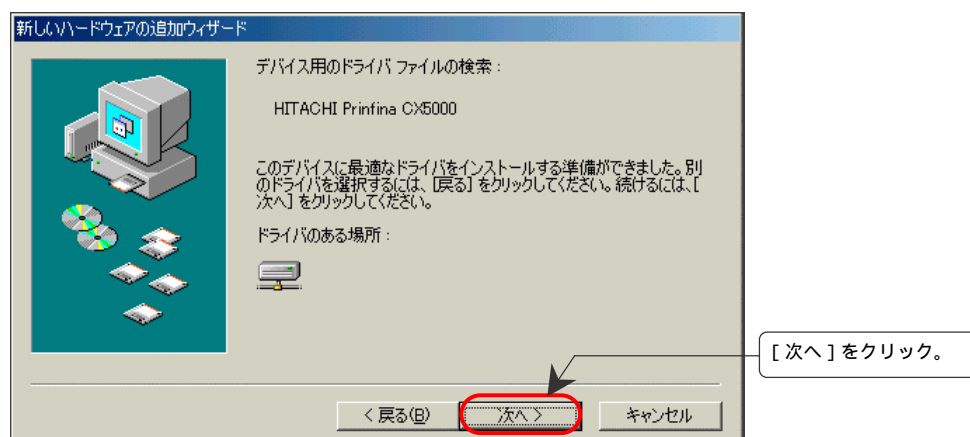
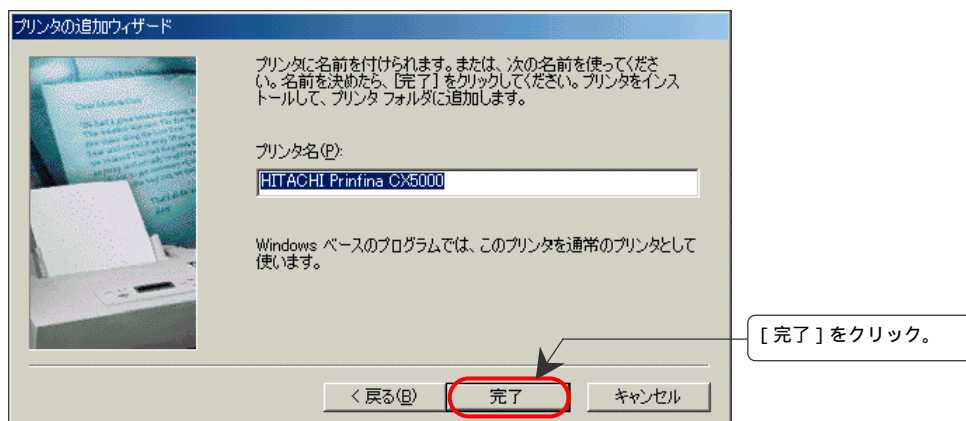
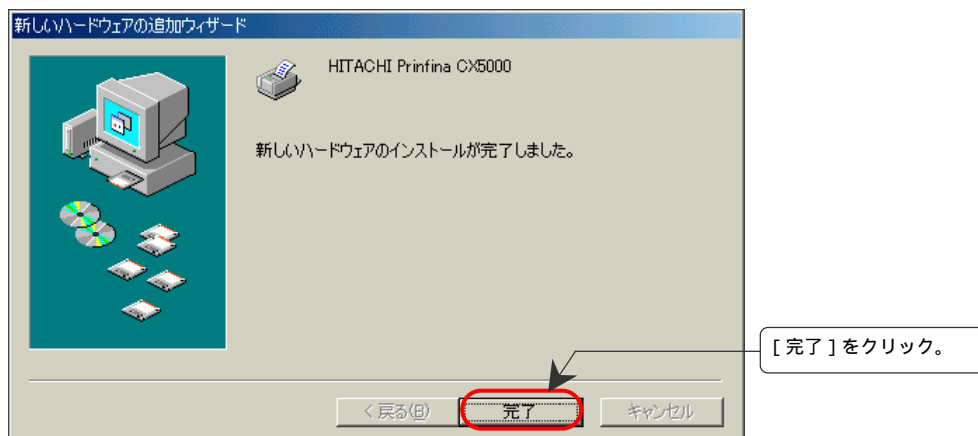
CD-ROM ドライブが D の場合：

D:¥DRIVER¥Win98¥CX5000

設定後、［次へ］ボタンをクリックします。

9．プリンタドライバが見つかりますので、［次へ］ボタンをクリックします。

10．通常使うプリンタにするかを設定して、［完了］ボタンをクリックします。

11.インストールが終了すると以下のダイアログが表示されます。[完了] ボタンをクリックします。

1.2　Windows Me の場合

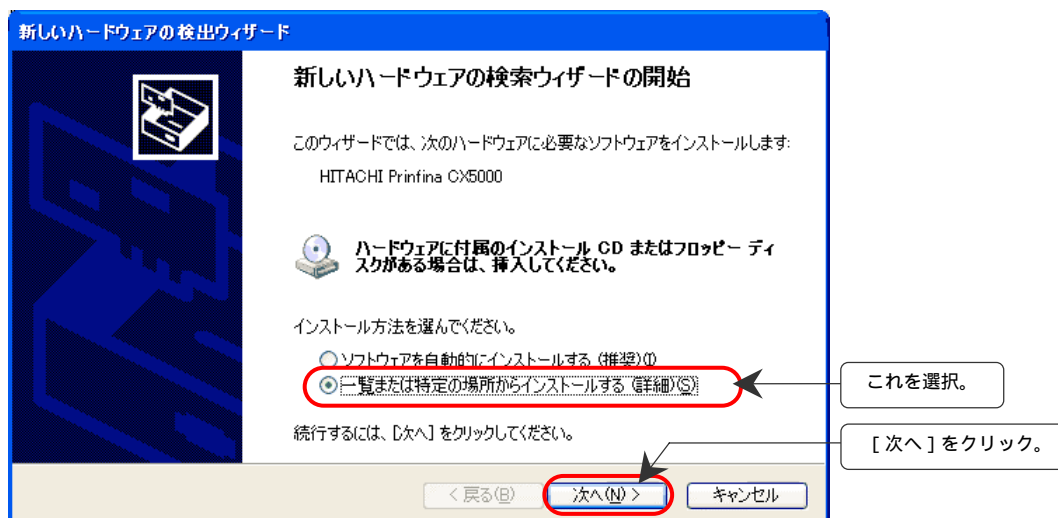
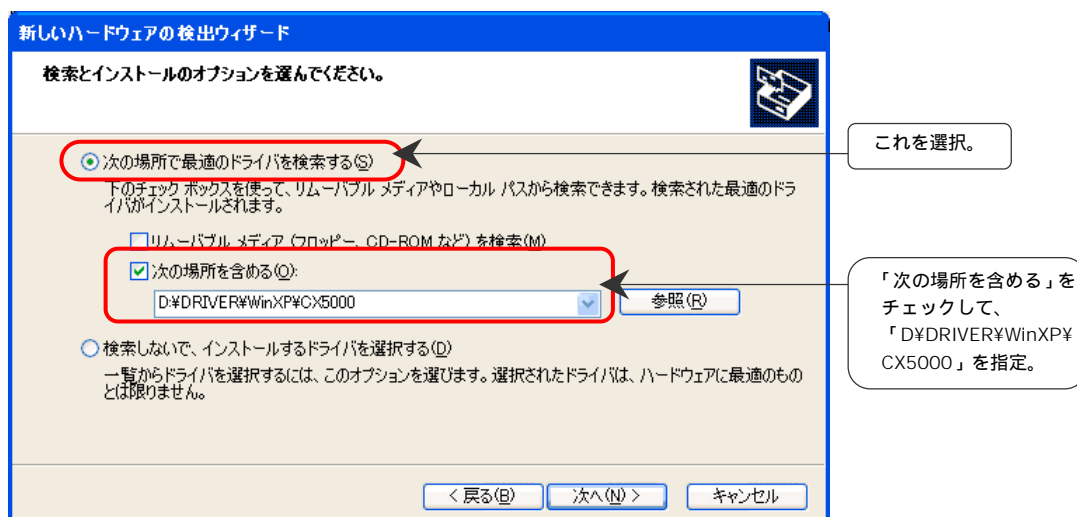
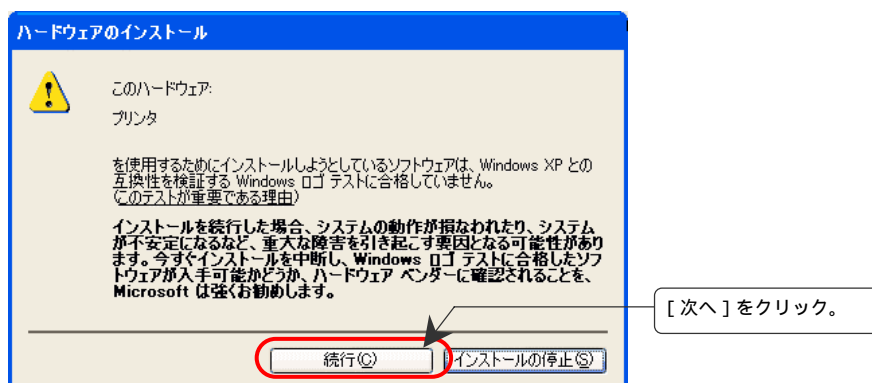
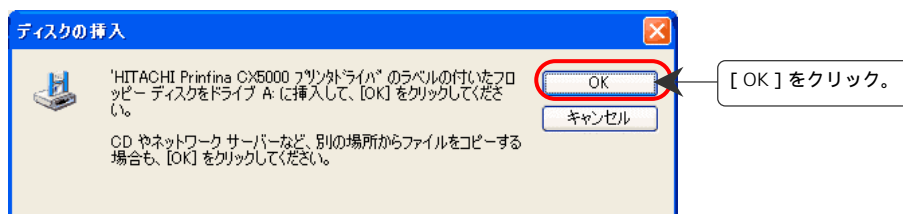
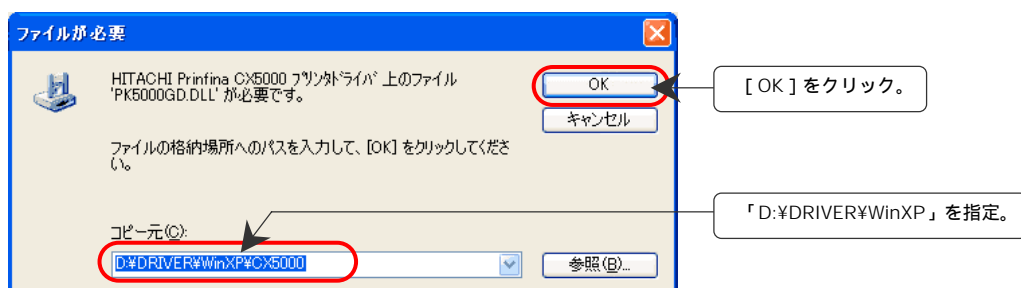
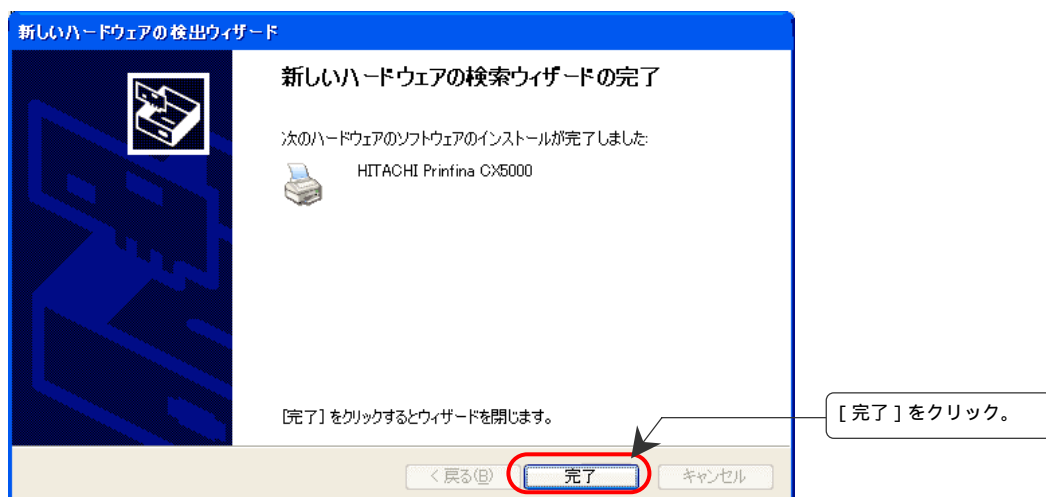
設定手順

1.　パソコンとプリンタを USB ケーブルで接続すると､以下のダイアログが表示されます。「ドライバの場所を指定する」を選択して［次へ］ボタンをクリックします。

2. 「使用中のデバイスに最適なドライバを検索する」・「検索場所の指定」を選択して、CD-ROM 内の以下のディレクトリを指定します。
CD-ROM ドライブが D の場合：
D:¥DRIVER ¥WinMe¥CX5000
設定後、[次へ] ボタンをクリックします。

3. USB ドライバが見つかりますので、[次へ] ボタンをクリックします。

4. インストールが終了すると以下のダイアログが表示されます。[完了] ボタンをクリックします。

5. 次にプリンタドライバをインストールします。「ドライバの場所を指定する」を選択して、［次へ］ボタンをクリックします。

6. 「使用中のデバイスに最適なドライバを検索する」・「検索場所の指定」を選択して、CD-ROM 内の以下のディレクトリを指定します。
CD-ROM ドライブが D の場合：
D:¥DRIVER ¥WinMe¥CX5000
設定後、［次へ］ボタンをクリックします。

7. プリンタドライバが見つかりますので、［次へ］ボタンをクリックします。

8. プリンタ名の設定をします。特に変更の必要がない場合はそのまま［完了］ボタンをクリックします。

9. インストールが終了すると以下のダイアログが表示されます。［完了］ボタンをクリックします。

1.3　Windows 2000/XP/Server 2003 の場合

ここでは、Windows XP を使って説明します。

設定手順

1. **パソコンとプリンタを USB ケーブルで接続して、プリンタの電源を入れると以下の画面が表示されます。「一覧または特定の場所からインストールする」を選択して［次へ］ボタンをクリックします。**

2. **ドライバの検索方法を選択します。「次の場所で最適のドライバを検索する」・「次の場所を含める」をチェックして、CD-ROM 内からプリンタドライバ（d:¥DRIVER¥WinXP¥CX5000）を指定します。（d=CD-ROM ドライブ）Windows 2000/Server 2003 をお使いの場合は（d:¥DRIVER¥Win2000¥CX5000）を指定してください。**
［次へ］ボタンをクリックします。

3. プリンタドライバのインストールが始まります。インストール中、以下のメッセージが表示されますが、［続行］ボタンをクリックしてインストールを続けます。

4. ディスクの挿入ダイアログが表示されますので、[OK］ボタンをクリックします。

5. 必要なファイルの指定ダイアログが表示されます。「コピー元」に「D:¥DRIVER¥WinXP¥CX5000」(D=CD-ROM ドライブ)を指定して、[OK］ボタンをクリックします。Windows 2000/Server 2003 をお使いの場合は（D:¥DRIVER¥Win2000¥CX5000）を指定してください。

6. インストールの完了ダイアログが表示されます。[完了］ボタンをクリックしてウィザードを閉じます。

2．オートスタートアップ機能によるインストール

日立ソフトウェアセットアップのCD-ROMをCD-ROMドライブへセットすると自動的にソフトウェアセットアップ画面を表示します。メニューに従いドライバをインストールします。

お願い

- CD-ROM を CD-ROM ドライブにセットすると、オートスタートアップ機能によって CD-ROM メニューが自動的に表示されますが、システムの状況によってはオートスタートアップ機能が使用できない場合があります。このような場合は、CD-ROM のルートディレクトリにある「Autorun.exe」ファイルをダブルクリックして起動してください。
- 環境によってはオートスタートアップ機能でインストールができない場合があります。その場合は、「3．プリンタフォルダからインストール」を行ってください。
- Windows 98/Me の場合は印刷ポートユーティリティ、Windows NT 4.0 の場合は LPR ポートを設定してください。詳細は「第 3 章ネットワーク印刷の設定方法」を参照ください。

2.1　自動セットアップ

自動セットアップでは、ネットワーク上のプリンタを自動的に検索して、目的のプリンタを選択するだけで簡単にインストールをすることができます。

操作手順

1．日立ソフトウェアセットアップの CD-ROM を CD-ROM ドライブへセットすると、以下の画面を表示します。［インストール／アンインストール］ボタンをクリックします。

お願い

- 自動的に CD-ROM メニューが表示されない場合は、CD-ROM 内のルートディレクトリにある「Autorun.exe」をダブルクリックして CD-ROM メニューを起動させてください。

2．　［プリンタドライバ］ボタンをクリックします。

3．　「ソフトウェア使用許諾契約書」が表示されますので、内容を確認して［同意する］ボタンをクリックします。

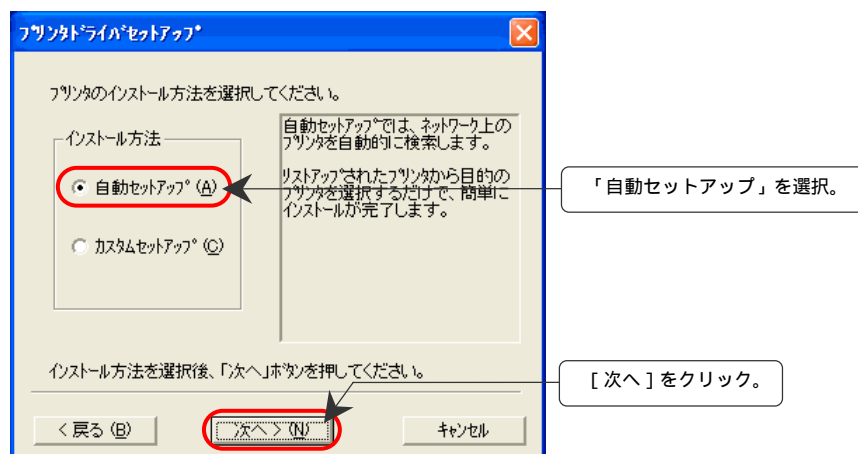
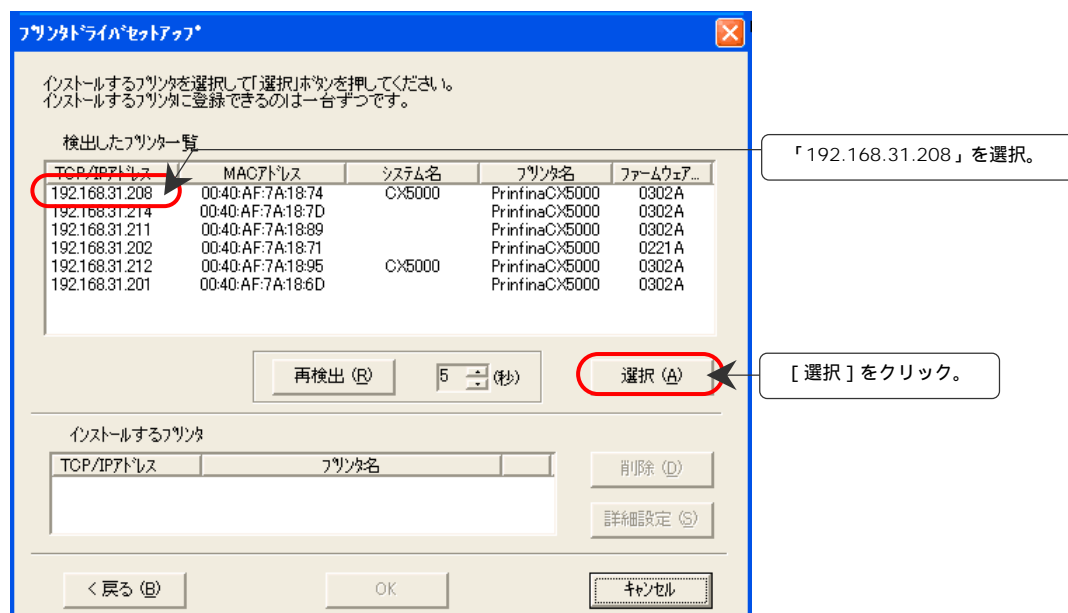
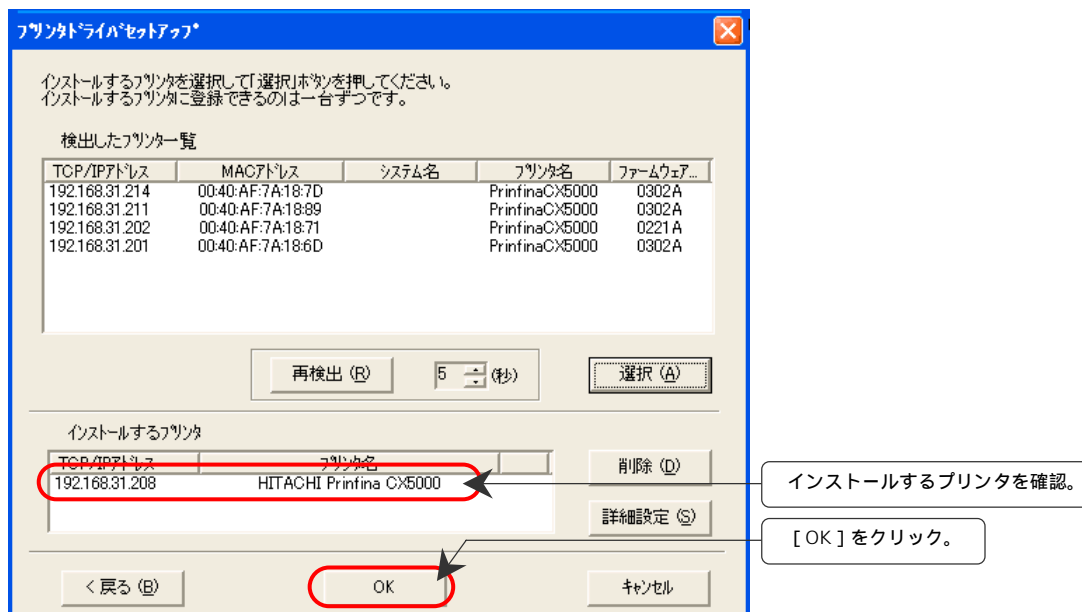
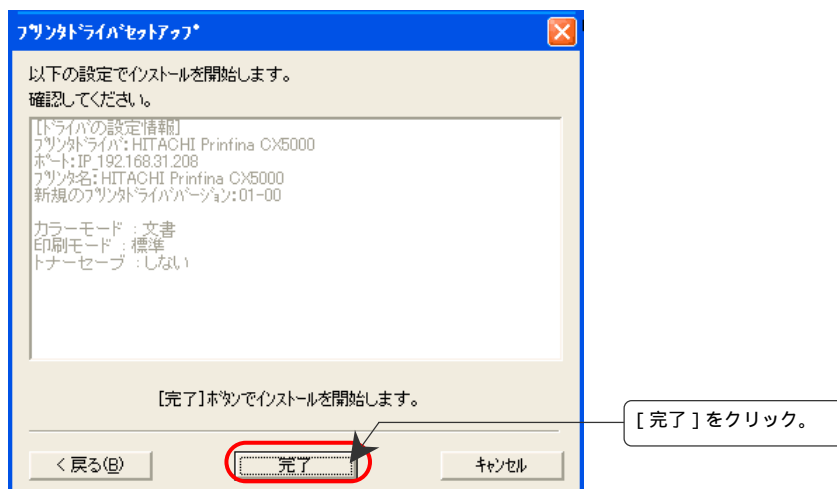
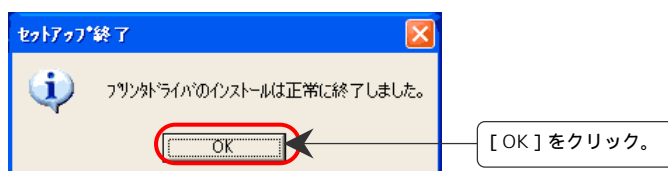
情報一覧

ソフトウエア使用許諾契約書

本ソフトウェアをご使用になる前に、下記の使用条件をよくお読み下さい。
ご使用になられた時点で、下記使用条件に同意してお客様とリコープリンティングシステムズ株式会社(以降リコープリンティングシステムズと称します)との間で契約が成立したものとさせていただきます。

1. 本ソフトウェアのユーザー(以降ユーザーと称します)は，本ソフトウェアを使用する事のみできます。複製または第三者に営利目的で譲渡もしくは貸与する事はできません。
2. リコープリンティングシステムズはユーザーに対し、本ソフトウェアに対応するリコープリンティングシステムズ製品を利用する目的で本ソフトウェアを使用する非独占的権利を許諾します。
3. ユーザーは、本ソフトウェアの全部または一部を翻案、翻訳、リバースエンジニアリング、逆コンパイル、逆アセンブル等することはできません。
4. リコープリンティングシステムズは、本ソフトウェアがユーザーの特定の目的のために適当であること、もしくは有用であること、または本ソフトウェアに瑕疵がないこと、その他本ソフトウェアに関していかなる保証もいたしません。
5. リコープリンティングシステムズは、本ソフトウェアの使用に付随または関連して生ずる直接的または間接的な損失・損害等についていかなる場合においても一切の責任を負いません。
6. ユーザーは、日本国政府または該当国の政府より必要な許可等を得ることなしに、本ソフトウェアの全部または一部を、直接または間接に輸出してはなりません。

メモ
•ソフトウェア使用許諾契約書に同意しないとドライバのインストールはできません。

4.　「自動セットアップ」を選択して、[次へ] ボタンをクリックします。

5.　ネットワークに接続されているプリンタが「検出したプリンター覧」に検出さます。例として IP アドレスが [192.168.31.208] が設定されているプリンタについて説明します。使用するプリンタの TCP/IP アドレスを選択して [選択] ボタンをクリックします。同一ネットワーク上に複数のプリンタが接続されているときは「検出したプリンタ一覧」に複数表示されますので、使用するプリンタの IP アドレスを選択します。

6. 「インストールするプリンタ」に選択したプリンタが移動しますので、使用するプリンタが選択されていることを確認して［OK］ボタンをクリックします。

7. 設定情報の確認画面が表示されます。［完了］ボタンをクリックします。

8. インストールが終了すると、下記メッセージが表示されます。［OK］ボタンをクリックして、画面を終了します。

2.2　カスタムセットアップ

カスタムセットアップではインストールする際に、あらかじめプリンタの持つ機能（カラーモード、トナーセーブ、印刷モードの 3 種類）の初期値（デフォルト値）を設定することができます。デフォルト値を変更しない場合は以下の設定でインストールされます。

製品出荷時の設定

カラーモード　：　「文書」
トナーセーブ　：　「しない」
印刷モード　：　「標準」

また、新規にインストールする場合と追加・更新する場合、設定する項目が異なります。新規の場合は「2.2.1　新規にインストール」、プリンタを追加・更新する場合は「2.2.2　追加・更新インストール」を参照ください。

2.2.1　新規にインストール

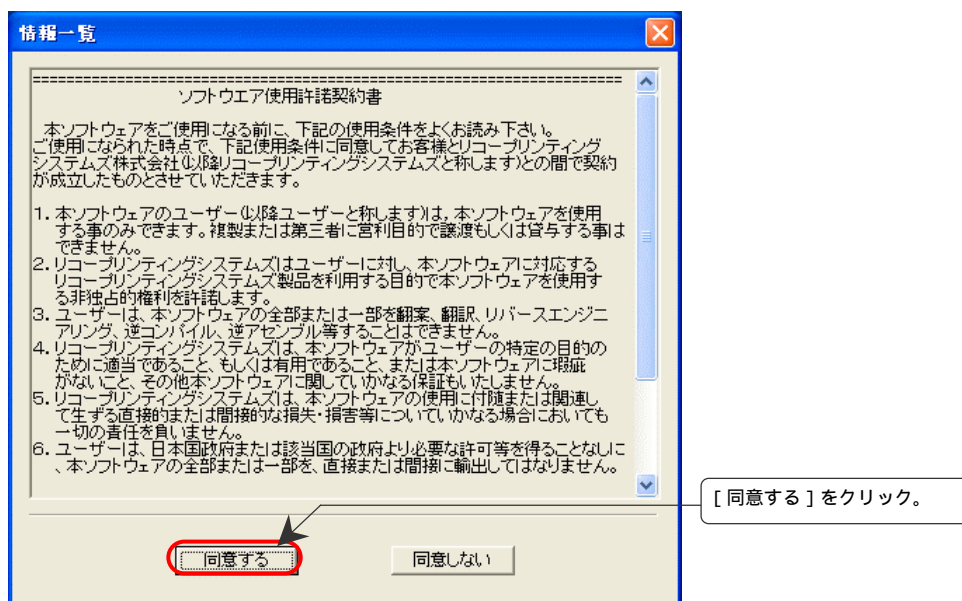
操作手順

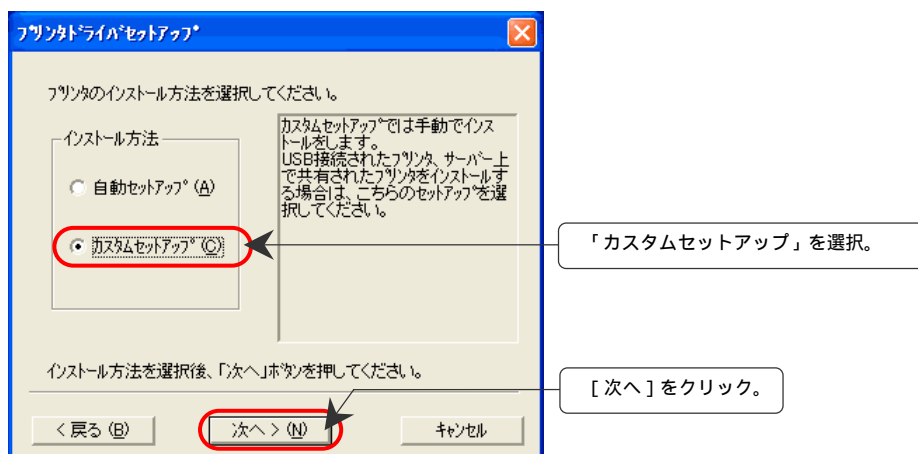
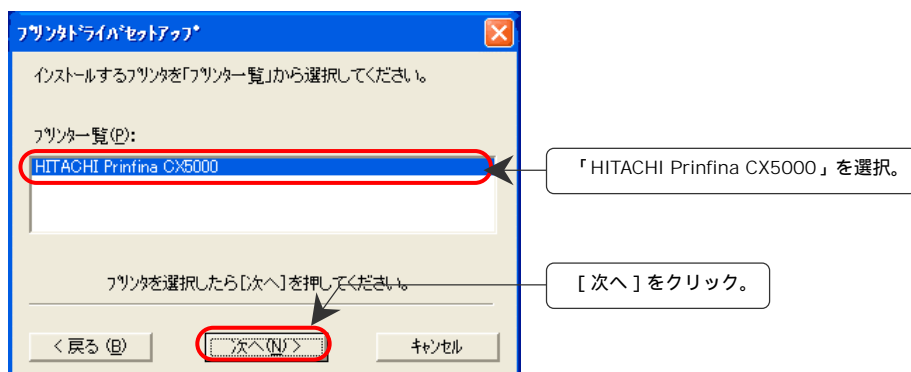
1. **日立ソフトウェアセットアップの CD-ROM を CD-ROM ドライブへセットすると、以下の画面を表示します。［インストール／アンインストール］ボタンをクリックします。**

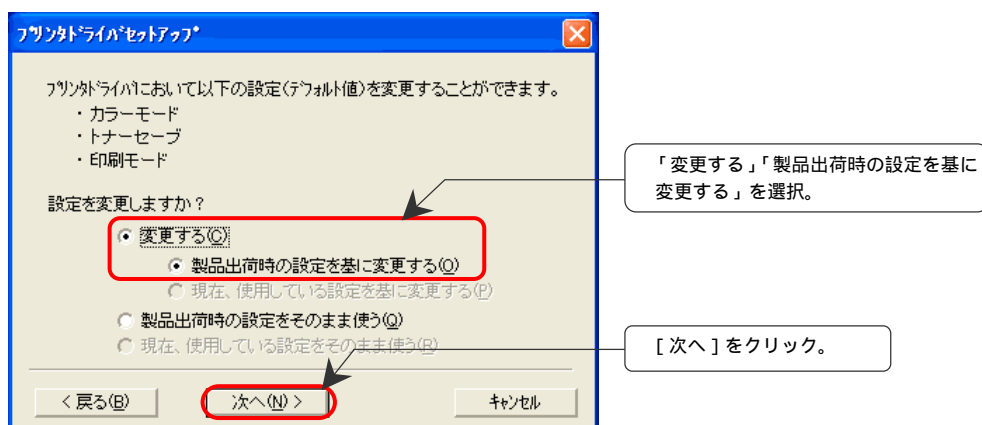
お願い

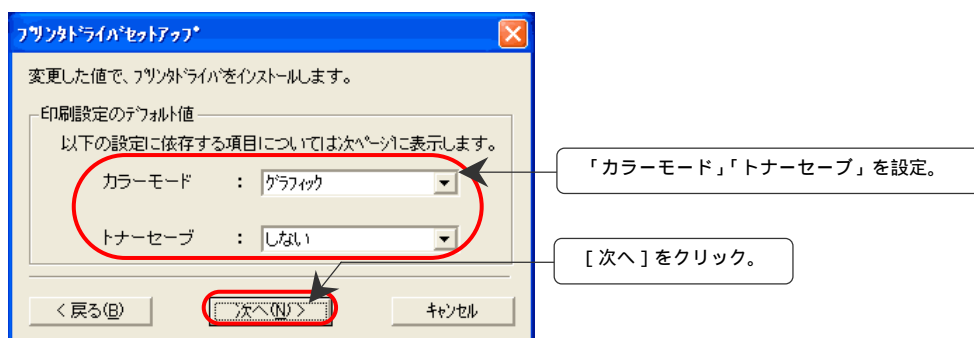
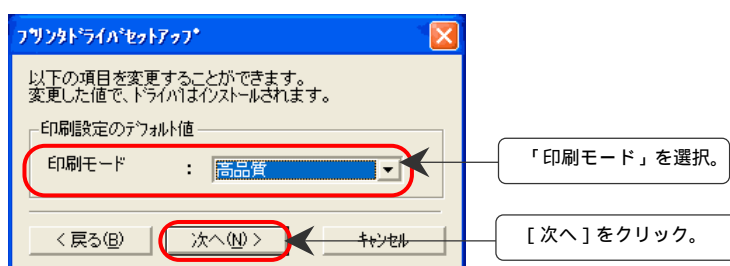
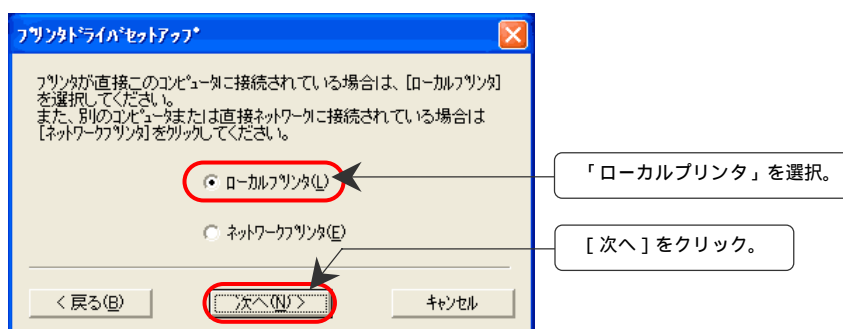
• **自動的に CD-ROM メニューが表示されない場合は、CD-ROM 内のルートディレクトリにある「Autorun.exe」をダブルクリックして CD-ROM メニューを起動させてください。**

2．　［プリンタドライバ］ボタンをクリックします。

3．　「ソフトウェア使用許諾契約書」が表示されますので、内容を確認して［同意する］ボタンをクリックします。

- ソフトウェア使用許諾契約書に同意しないとドライバのインストールはできません。

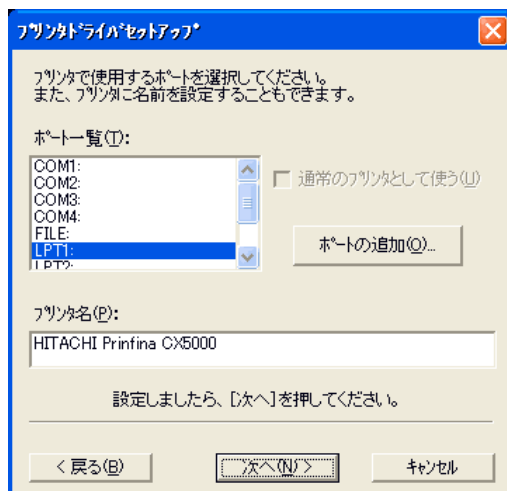
4．　「カスタムセットアップ」を選択して、［次へ］ボタンをクリックします。

5．　以降、プリンタドライバセットアップ画面に従いインストールを行います。プリンター覧から「HITACHI Prinfina CX5000」を選択し、［次へ］ボタンをクリックします。

6．　プリンタドライバのデフォルト値を変更してインストールができます。「変更する」･「製品出荷時の設定を基に変更する」を選択して［次へ］ボタンをクリックします。
デフォルト値を変更しない場合は「製品出荷時の設定をそのまま使う」を選択して［次へ］ボタンをクリックします。手順 9 へお進みください。

メモ

- 「製品出荷時の設定を基に変更する」とは、製品出荷時の初期値を手順 7 以降の画面に表示し、それを見ながら変更することを意味します。
- 「現在、使用している設定を基に変更する」とは、以前、本プリンタドライバをインストールした時の初期値を手順 7 以降の画面に表示し、それを見ながら変更することを意味します。

7. 「カラーモード」・「トナーセーブ」のデフォルト値を設定します。ここではカラーモードを「グラフィック」、トナーセーブを「しない」に設定します。［次へ］ボタンをクリックします。

8. 印刷モードのデフォルト値を設定します。ここでは「高品質」に設定して［次へ］ボタンをクリックします。

9. プリンタの接続形態を選択します。直接ローカル接続されているプリンタや、オペレーションシステムの lpr または印刷ポートユーティリティ等のポートで直接ネットワークに接続されているプリンタへ設定を行う場合は、「ローカルプリンタ」を選択してください。ネットワーク上の他のコンピュータにある共有プリンタに対する設定を行う場合は、「ネットワークプリンタ」を選択してください。但し、このときに対象となるプリンタドライバのセットアップは、ローカルプリンタ上の該当するプリンタドライバに関する設定となります。ここでは「ローカルプリンタ」を選択します。

お願い

- ネットワークプリンタを選択した場合、ネットワーク上のコンピュータ及びプリンタが検索され、ツリー形式で表示されます。ご使用するコンピュータ及び共用プリンタをクリックし、選択してください。ネットワーク環境によっては検索に時間がかかる場合があります。

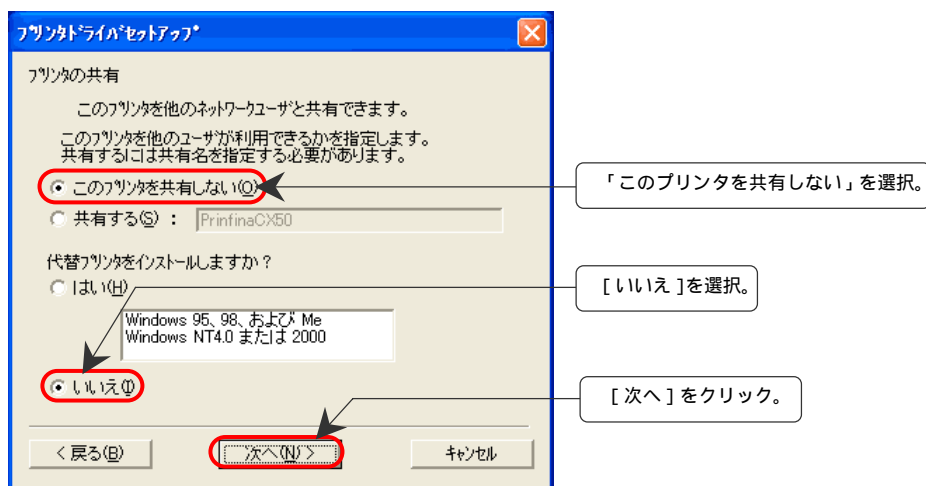
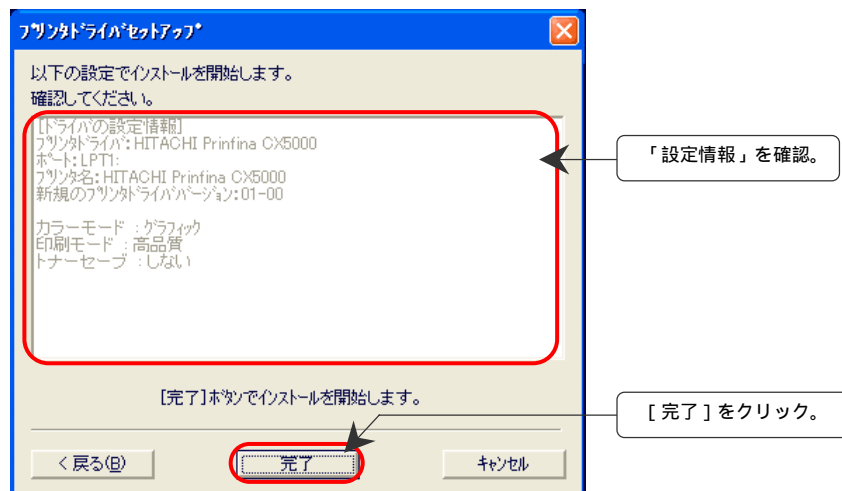
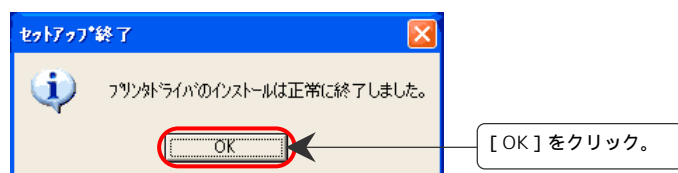
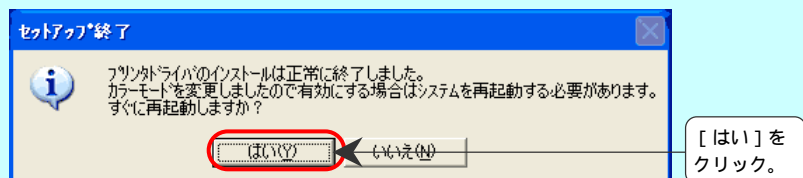
10. 使用するポートを選択して、［次へ］ボタンをクリックします。Windows 98/Me をお使いの方は手順 12 へお進みください。

お願い

•LAN 接続で印刷する場合などは、ポート一覧にご使用するポートがない場合があります。その場合、ポートの追加でポートを作成して設定を行ってください。

11. プリンタの共有・代替プリンタのインストール設定をします。用途に応じて設定してください。ここでは、プリンタの共有を「共有しない」、代替プリンタのインストールを「いいえ」に設定します。

12. **設定情報の確認画面が表示されます。[完了] をクリックします。インストールが始まります。**

13. **インストールが終了すると、下記メッセージが表示されます。[OK] ボタンをクリックして、画面を終了します。**

お願い

- **カラーモードを変更した場合、システムの再起動が必要です。[はい] ボタンをクリックして、システムを再起動してください。**

2.2.2　追加・更新インストール

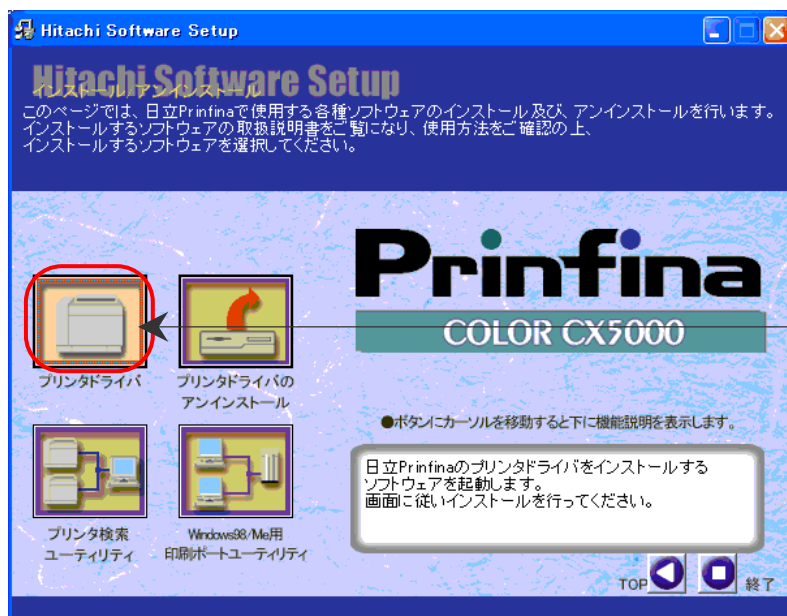
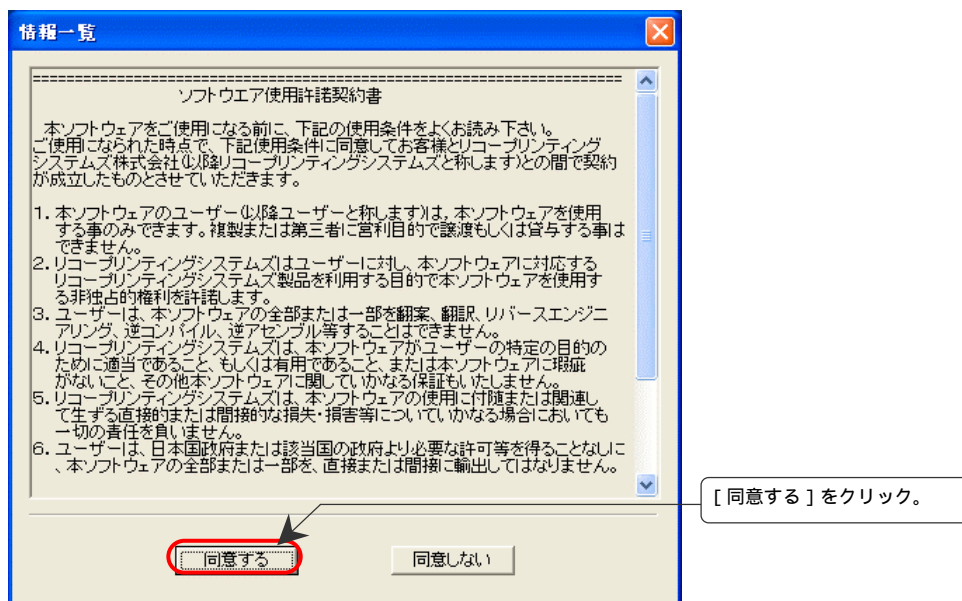
操作手順

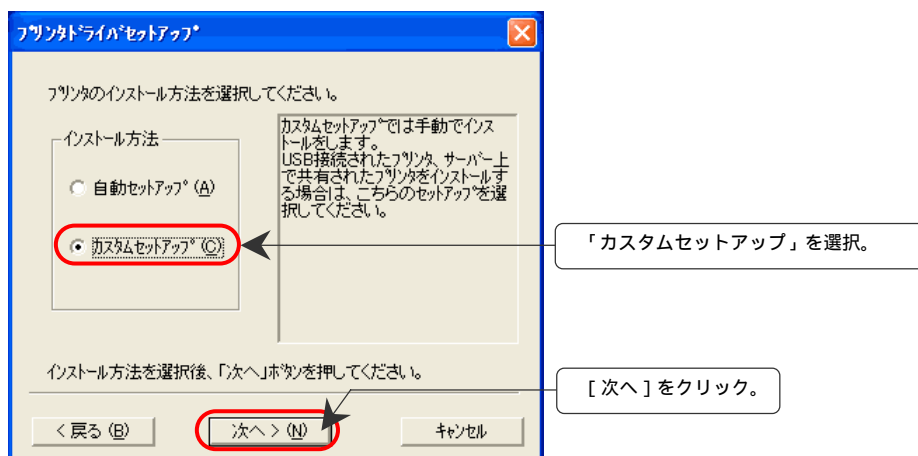
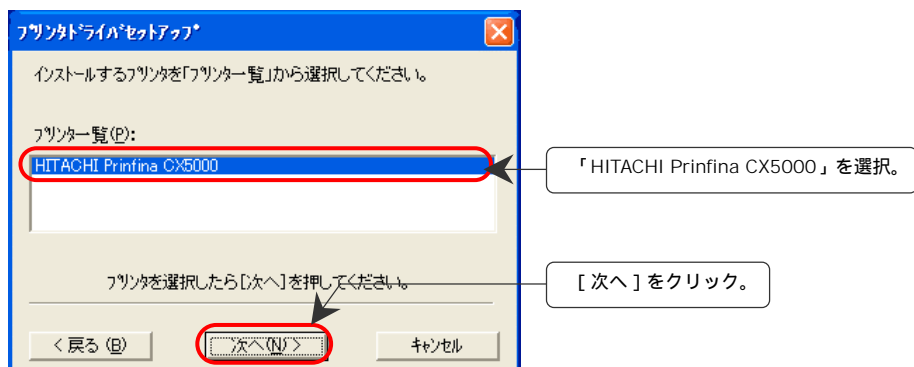
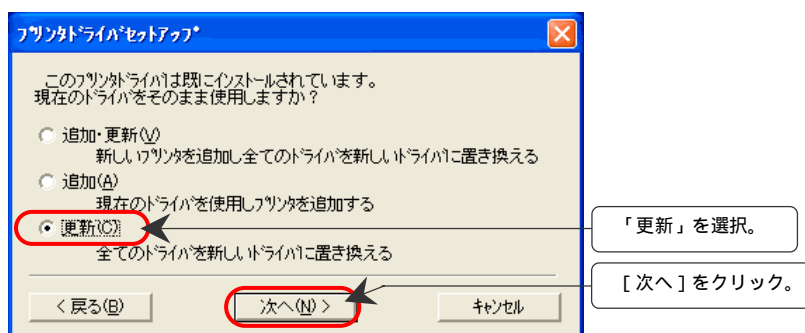
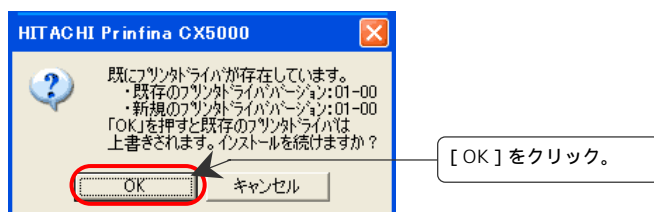
1. **日立ソフトウェアセットアップの CD-ROM を CD-ROM ドライブへセットすると、以下の画面を表示します。［インストール／アンインストール］ボタンをクリックします。**

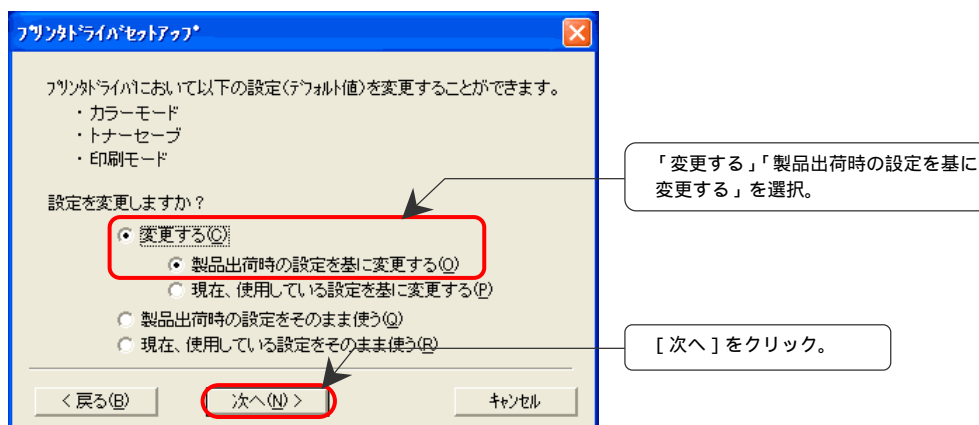
お願い
- **自動的に CD-ROM メニューが表示されない場合は、CD-ROM 内のルートディレクトリにある「Autorun.exe」をダブルクリックして CD-ROM メニューを起動させてください。**

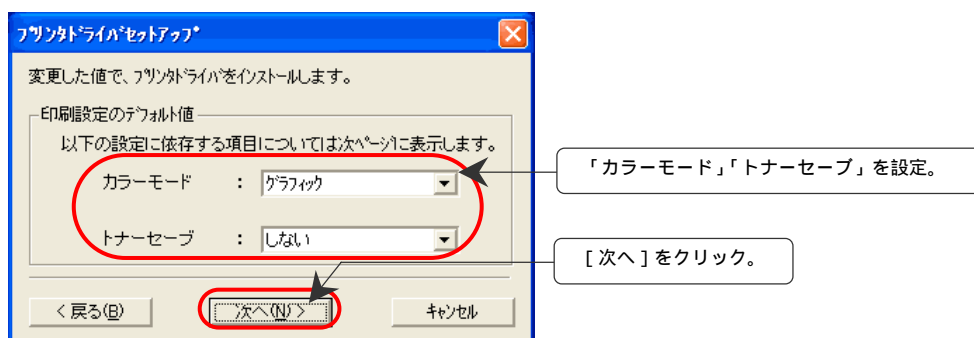
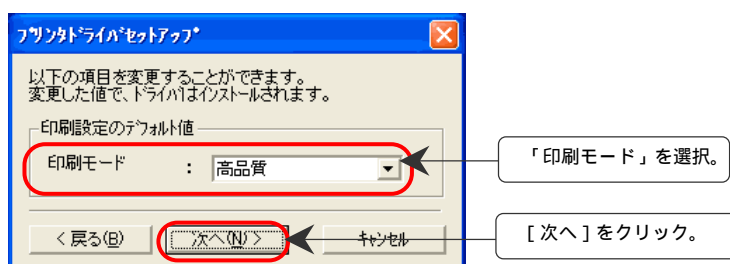
2. **［プリンタドライバ］ボタンをクリックします。**

3. 「ソフトウェア使用許諾契約書」が表示されますので、内容を確認して［同意する］ボタンをクリックします。

メモ

• ソフトウェア使用許諾契約書に同意しないとドライバのインストールはできません。

4. 「カスタムセットアップ」を選択して、［次へ］ボタンをクリックします。

5. 以降、プリンタドライバセットアップ画面に従いインストールを行います。プリンター覧から「HITACHI Prinfina CX5000」を選択して、［次へ］ボタンをクリックします。

6. 既に本プリンタドライバがインストールされているので、以下のダイアログが表示されます。用途に応じたラジオボタンをチェックして［次へ］ボタンをクリックします。ここでは「更新」を選択してす。

7. 既存のプリンタドライバのバージョンと新規のプリンタドライバのバージョンが表示されます。[OK] ボタンをクリックします。（既存のプリンタドライババージョンは表示されない場合もあります。）

8. プリンタドライバのデフォルト値を変更してインストールができます。「変更する」･「製品出荷時の設定を基に変更する」を選択して［次へ］ボタンをクリックします。
デフォルト値を変更しない場合は「製品出荷時の設定をそのまま使う」を選択して［次へ］ボタンをクリックします。手順 11 へお進みください。Windows 98/Me をお使いの場合は、手順 12 へお進みください。

メモ

- 「製品出荷時の設定を基に変更する」とは、製品出荷時の初期値を手順 9 以降の画面に表示し、それを見ながら変更することを意味します。
- 「現在、使用している設定を基に変更する」とは、以前、本プリンタドライバをインストールした時の初期値を手順 9 以降の画面に表示し、それを見ながら変更することを意味します。

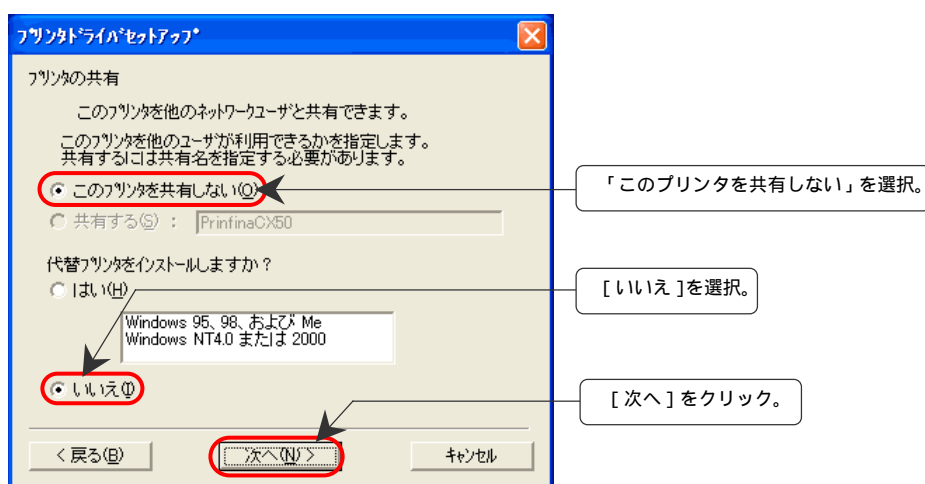
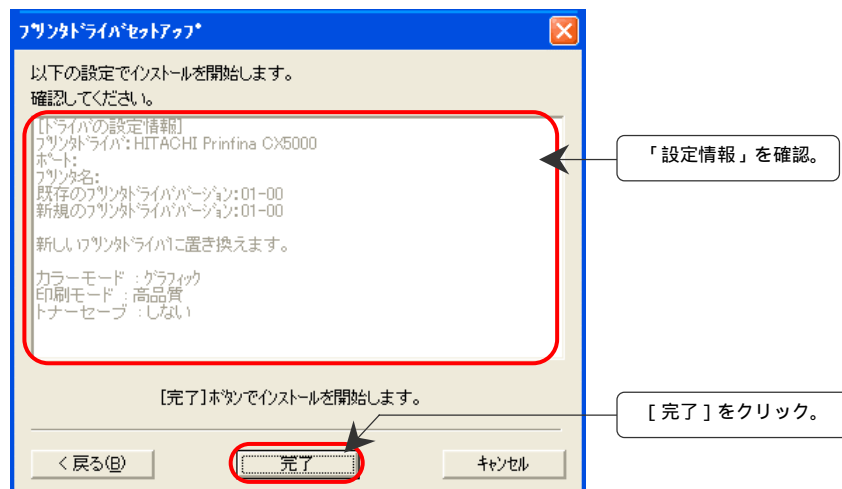
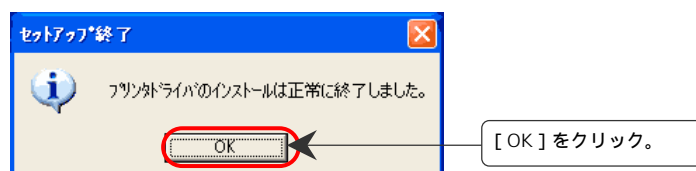
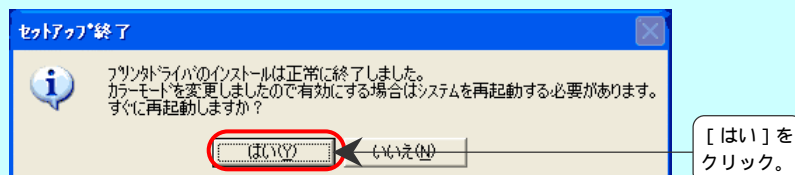
9. 「カラーモード」・「トナーセーブ」のデフォルト値を設定します。ここではカラーモードを「グラフィック」、トナーセーブを「しない」に設定します。［次へ］ボタンをクリックします。

10. 印刷モードのデフォルト値を設定します。ここでは「高品質」に設定して［次へ］ボタンをクリックします。Windows 98/Me をお使いの場合は、手順 12 へお進みください。

11. プリンタの共有・代替プリンタのインストール設定をします。用途に応じて設定してください。ここでは、プリンタの共有を「共有しない」、代替プリンタのインストールを「いいえ」に設定します。

12. **設定情報の確認画面が表示されます。［完了］をクリックします。インストールが始まります。**

13. **インストールが終了すると、下記メッセージが表示されます。［OK］ボタンをクリックして、画面を終了します。**

お願い

- **カラーモードを変更した場合、システムの再起動が必要です。［はい］ボタンをクリックして、システムを再起動してください。**

ｾｯﾄｱｯﾌﾟ終了
ﾌﾟﾘﾝﾀﾄﾞﾗｲﾊﾞのｲﾝｽﾄｰﾙは正常に終了しました。
ｶﾗｰﾓｰﾄﾞを変更しましたので有効にする場合はｼｽﾃﾑを再起動する必要があります。
すぐに再起動しますか？
はい(Y)　いいえ(N)
［はい］をクリック。

3．プリンタフォルダからインストール

ここではオペレーションシステムの「プリンタ」または「プリンタと FAX」フォルダからプリンタの追加でのインストール手順を説明します。

•添付 CD-ROM のバージョンによってはプリンタドライバの格納ディレクトリが異なります。各オペレーションシステムのプリンタドライバは添付 CD-ROM 内の「はじめに.txt」を参照して確認できます。

3.1　Windows 98 / Me の場合

インストール手順

1．タスクバーのスタートから「設定」－「プリンタ」を選択します。

2．「プリンタの追加」のアイコンをダブルクリックします。

3．以降、画面の指示に従ってインストールを続けます。

4．プリンタの接続先を選択します。

5．プリンタドライバの選択では［ディスク使用］ボタンをクリックします。

6．本プリンタドライバの CD-ROM を CD-ROM ドライブにセットし、Windows 98 の場合は「D:¥Driver¥Win98¥CX5000」、Windows Me の場合は「D:¥Driver¥WinMe¥CX5000」を指定して［OK］ボタンをクリックします。

7．「プリンタ」一覧で「HITACHI Prinfina CX5000」が選択されているのを確認し、[次へ]ボタンをクリックします。

8．使用するポートを選択します。

9．プリンタ名を入力します。特に必要がない限り、初期値のままご使用ください。

10．印字テストをするかを選択します。

11．インストールが終了すると、本プリンタアイコンが追加されます。

3.2　Windows NT 4.0 の場合

インストール手順

1. タスクバーのスタートから「設定」－「プリンタ」を選択します。
2. 「プリンタの追加」のアイコンをダブルクリックします。
3. プリンタの管理を選択します。
4. 使用するポートを選択します。
5. プリンタドライバの選択では［ディスク使用］ボタンをクリックします。
6. 本プリンタドライバの CD-ROM を CD-ROM ドライブにセットし、「D:¥Driver¥WinNT40¥CX5000」を指定して［OK］ボタンをクリックします。
7. 「プリンタ」一覧で「HITACHI Prinfina CX5000」が選択されているのを確認し、[次へ] ボタンをクリックします。
8. プリンタ名を入力します。特に必要がない限り、初期値のままご使用ください。
9. プリンタの共有について設定します。
10. テストページを印刷するかを選択します。
11. インストールが終了すると、本プリンタアイコンが追加されます。

3.3　Windows 2000/Server 2003 の場合

インストール手順

1. タスクバーのスタートから「設定」－「プリンタ」を選択します。
2. 「プリンタの追加」のアイコンをダブルクリックします。
3. 以降、画面の指示に従ってインストールを続けます。
4. プリンタがどのように接続しているかを選択します。
5. 使用するポートを選択します。
6. プリンタドライバの選択では［ディスク使用］ボタンをクリックします。
7. 本プリンタドライバの CD-ROM を CD-ROM ドライブにセットし、「D:¥Driver¥Win2000¥CX5000」を指定して［OK］ボタンをクリックします。
8. 「プリンタ」一覧で「HITACHI Prinfina CX5000」が選択されているのを確認し、[次へ] ボタンをクリックします。
9. プリンタ名を入力します。特に必要がない限り、初期値のままご使用ください。
10. プリンタの共有について設定します。
11. テストページを印刷するかを選択します。
12. プリンタの追加ウィザードを完了させます。[完了］ボタンをクリックします。
13. 「デジタル署名がみつかりませんでした」というメッセージが表示されますが、そのまま［はい］をクリックします。ファイルのコピーが始まります。
14. インストールが終了すると、本プリンタアイコンが追加されます。

3.4　Windows XP の場合

インストール手順

1. タスクバーのスタートから「プリンタと FAX」を選択します。
（Home Edition をお使いの場合はタスクバーのスタートから「コントロールパネル」―「プリンタと FAX」を選択します。）

2. プリンタのタスクの「プリンタのインストール」を選択します。

3. プリンタの追加ウィザードが開始されます。［次へ］ボタンをクリックします。

4. 使用するプリンタの種類を指定します。

5. ポートの選択をします。

6. プリンタソフトウェアのインストールでは［ディスク使用］ボタンをクリックします。

7. 本プリンタドライバの CD-ROM を CD-ROM ドライブにセットし、
「D:¥Driver¥WinXP¥CX5000」を指定して［OK］ボタンをクリックします。

8. 「プリンタ」一覧で「HITACHI Prinfina CX5000」が選択されているのを確認し、「次へ」ボタンをクリックします。

9. プリンタ名を入力します。特に必要がない限り、初期値のままご使用ください。

10. プリンタの共有について設定します。

11. テストページを印刷するかを選択します。

12. プリンタ追加ウィザードを完了させます。［完了］ボタンをクリックします。

13. ハードウェアのインストール画面が表示されますが、そのまま［続行］ボタンをクリックします。ファイルのコピーが始まります。

14. インストールが終了すると、本プリンタアイコンが追加されます。

第３章　ネットワーク印刷の設定方法

ここでは、ネットワークを使って印刷する方法を説明します。

１．Windows 98 / Me から設定するには

Windows 98 / Me **からネットワーク印刷を行うには、**Print Server Utirities **のインストールが必要です。以下に** Windows 98 **を使ってのインストール方法・設定方法を説明します。**

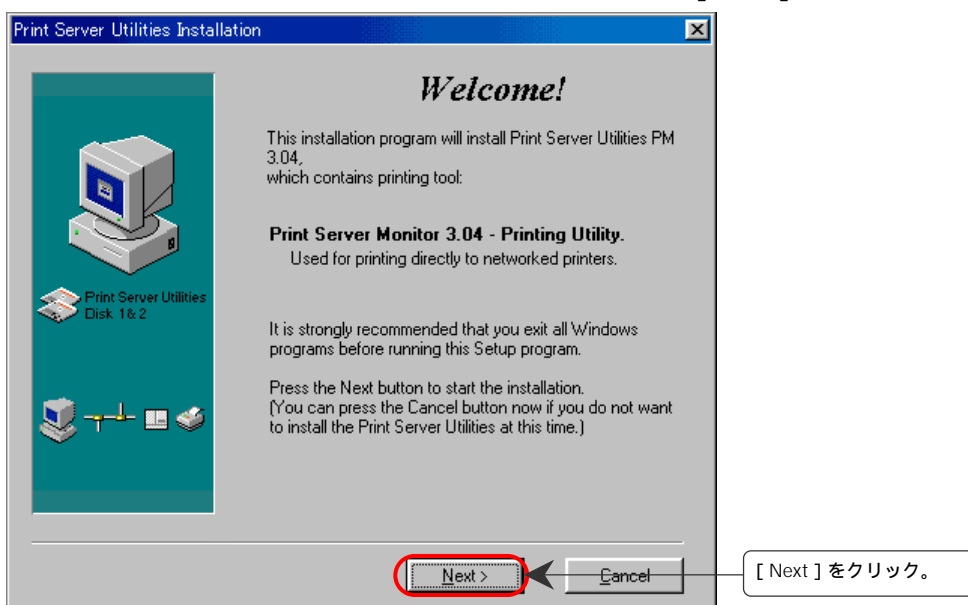
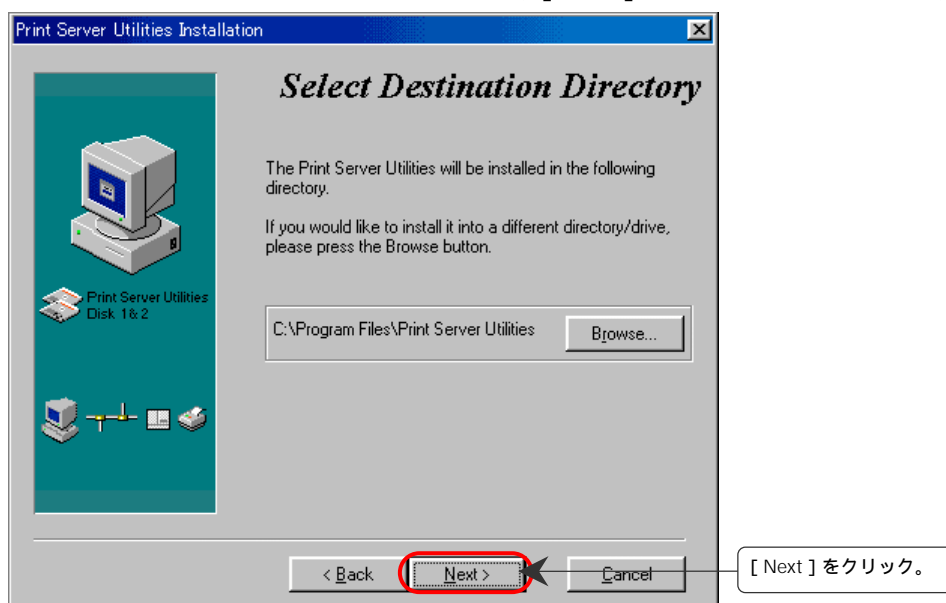
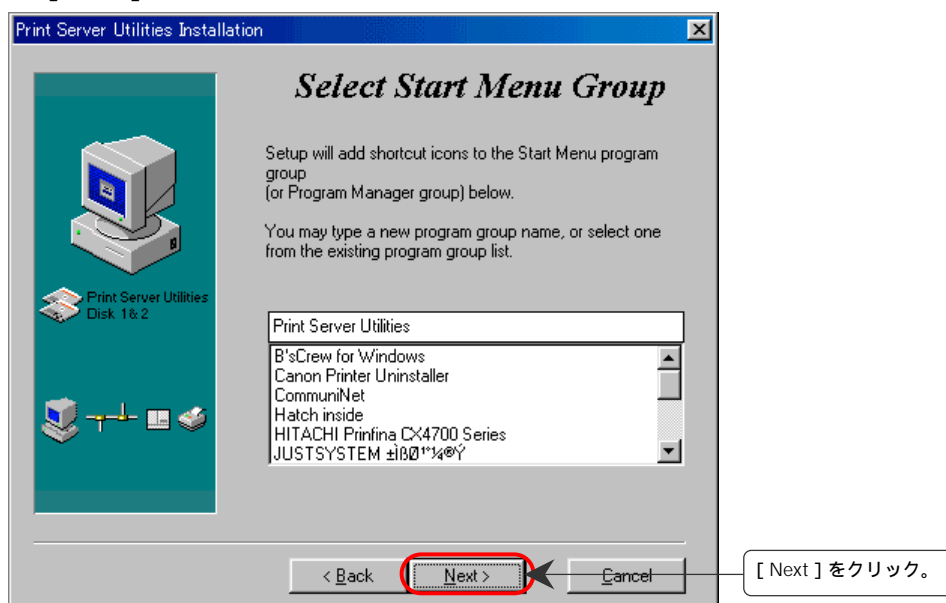
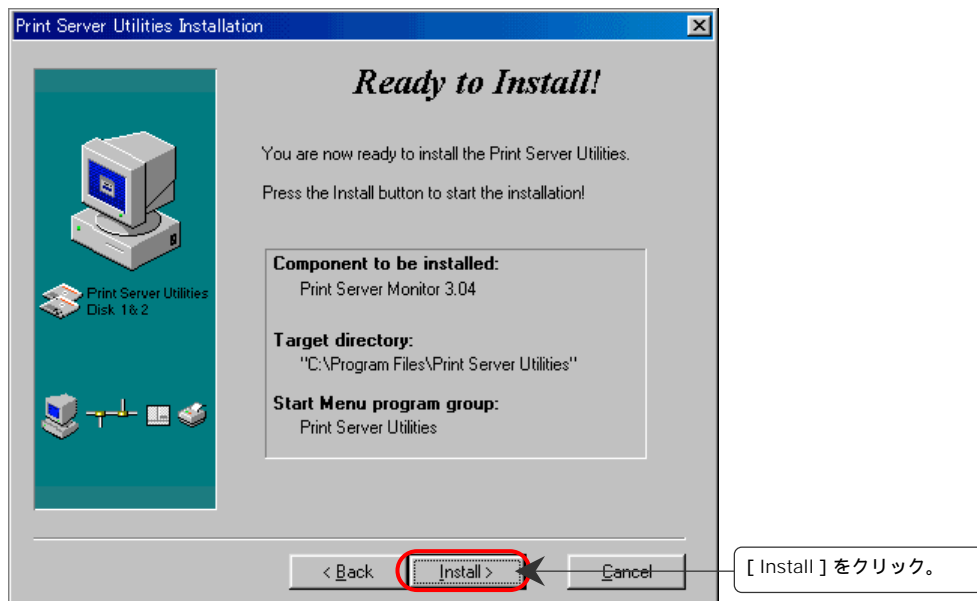
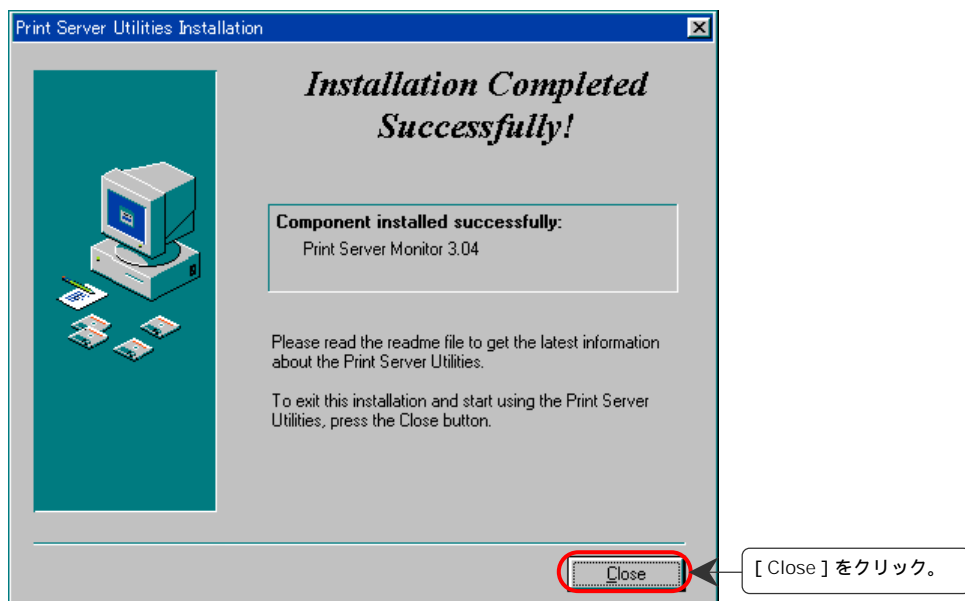
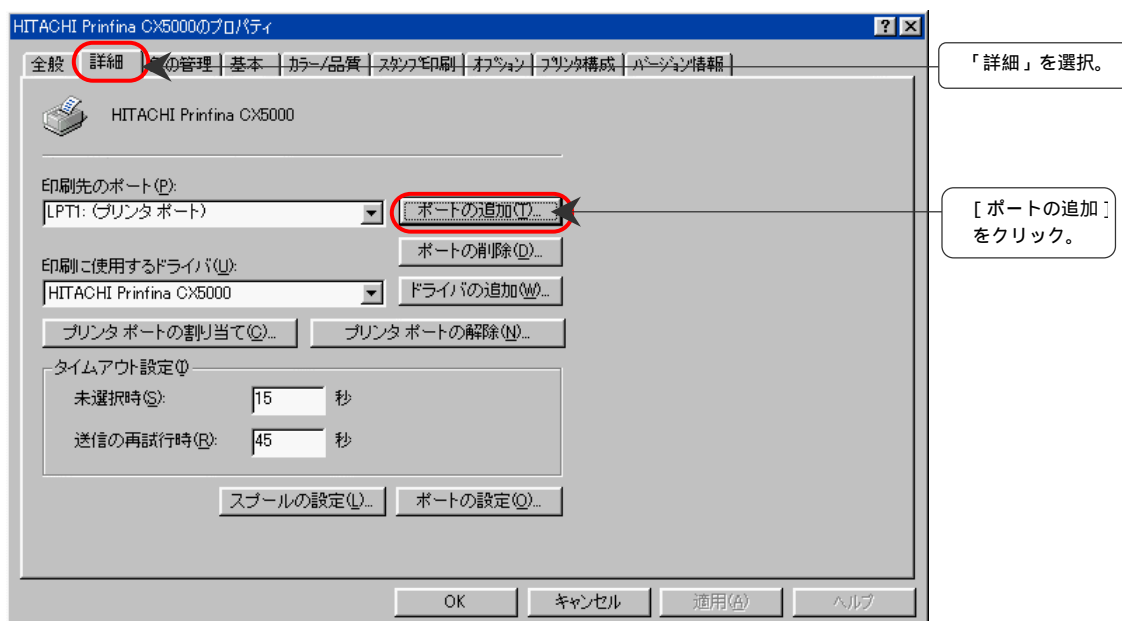
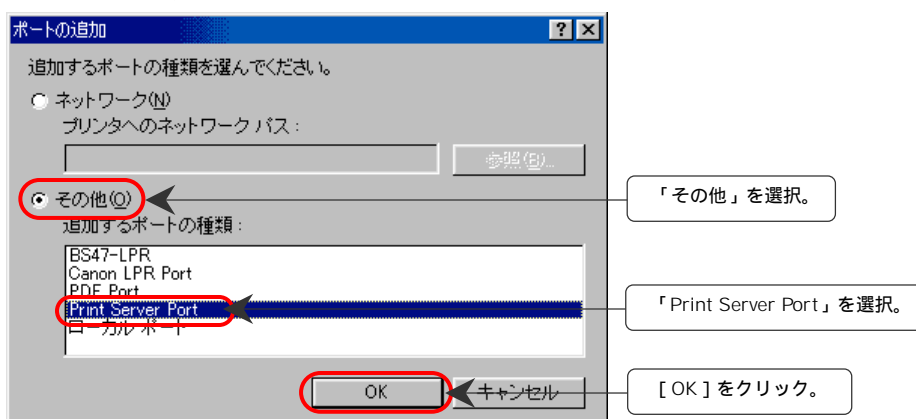
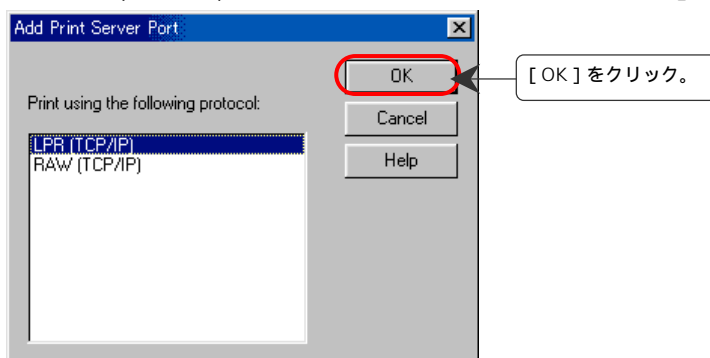
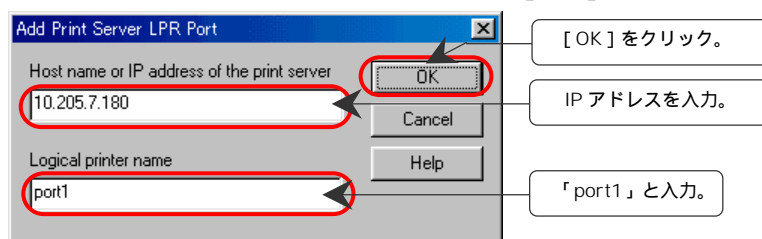
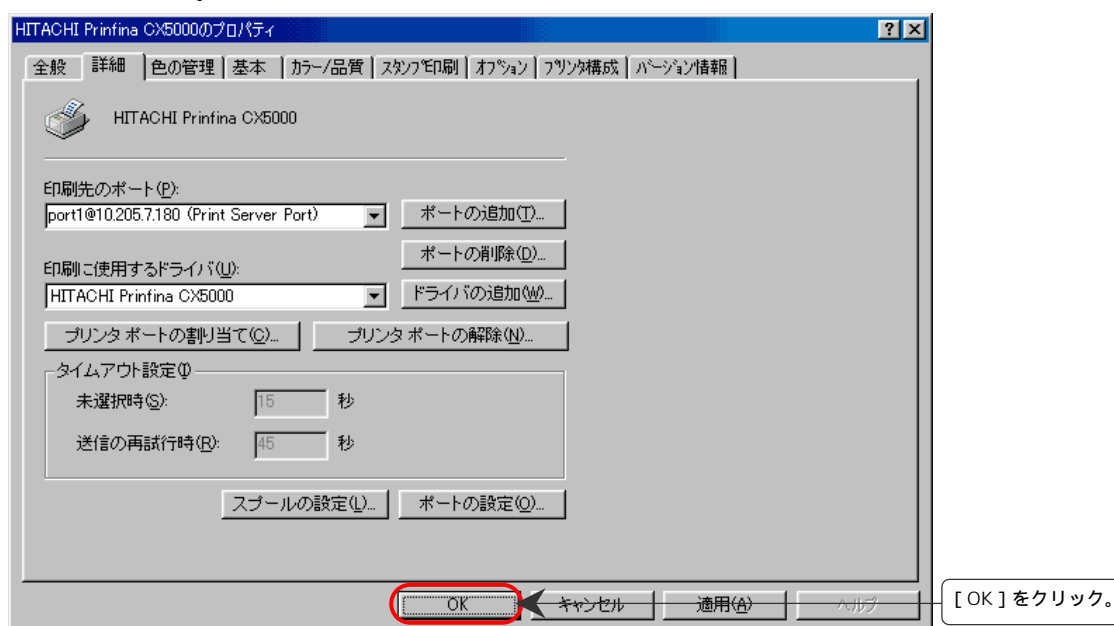
設定手順

1. **日立ソフトウェアセットアップの** CD-ROM **を** CD-ROM **ドライブへセットすると、以下の画面を表示します。[インストール／アンインストール] ボタンをクリックします。**

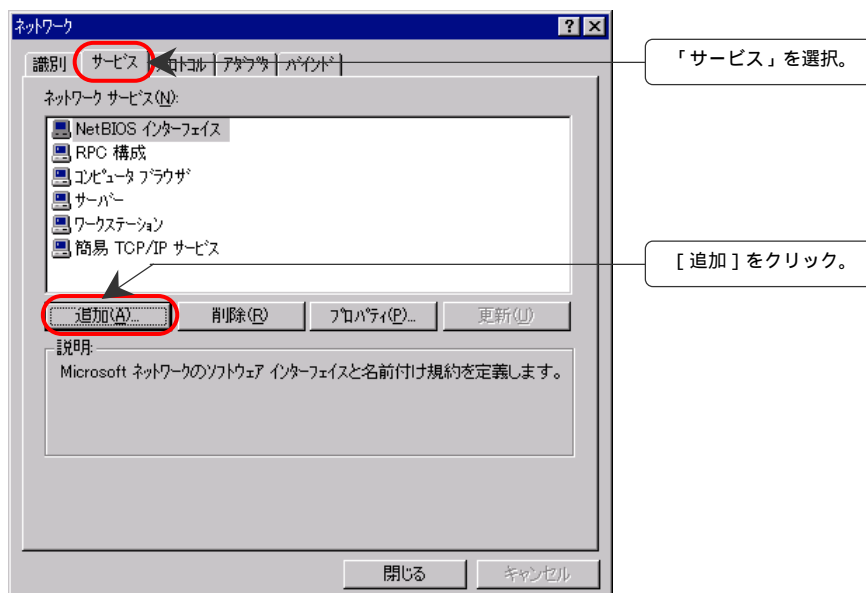
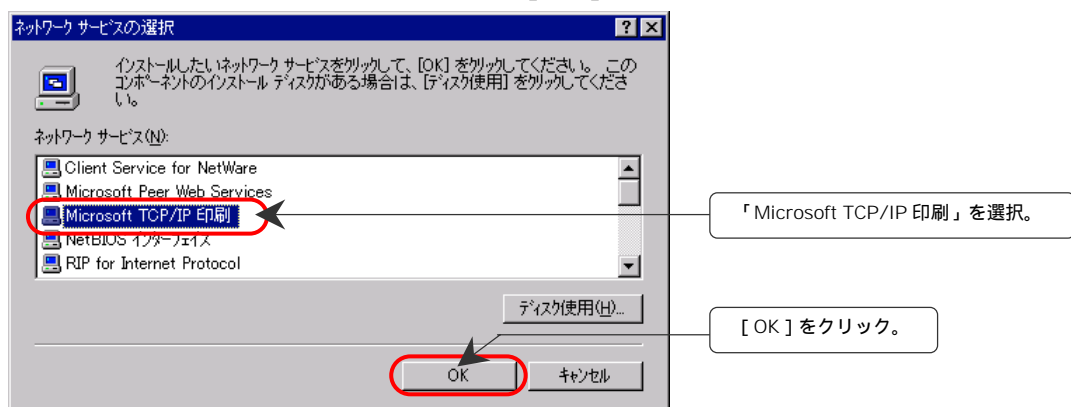
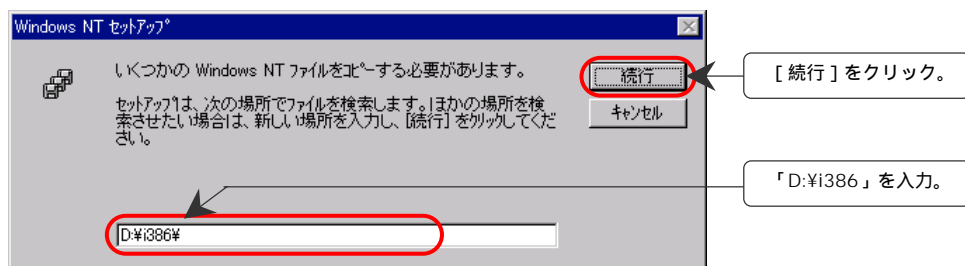
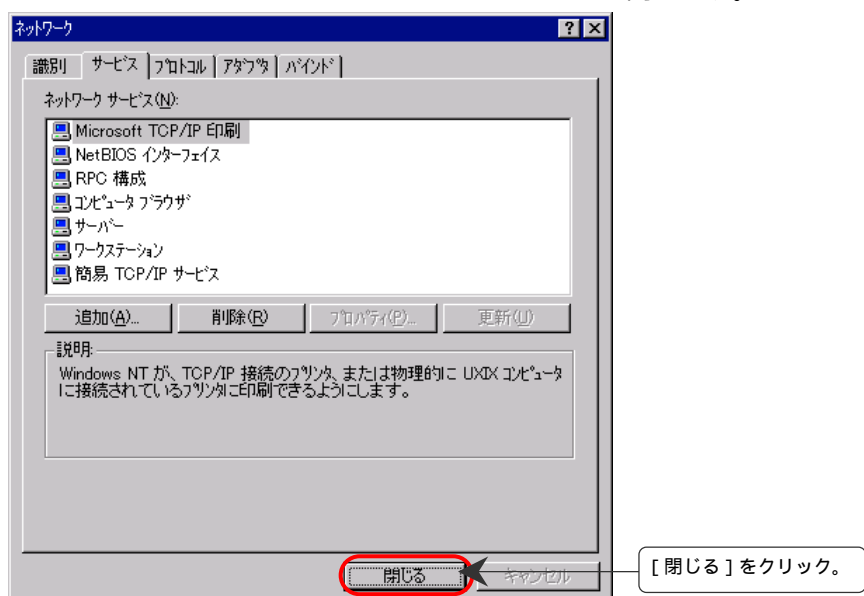
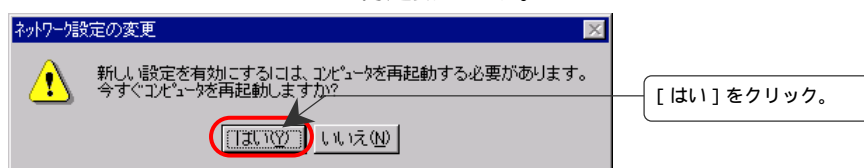
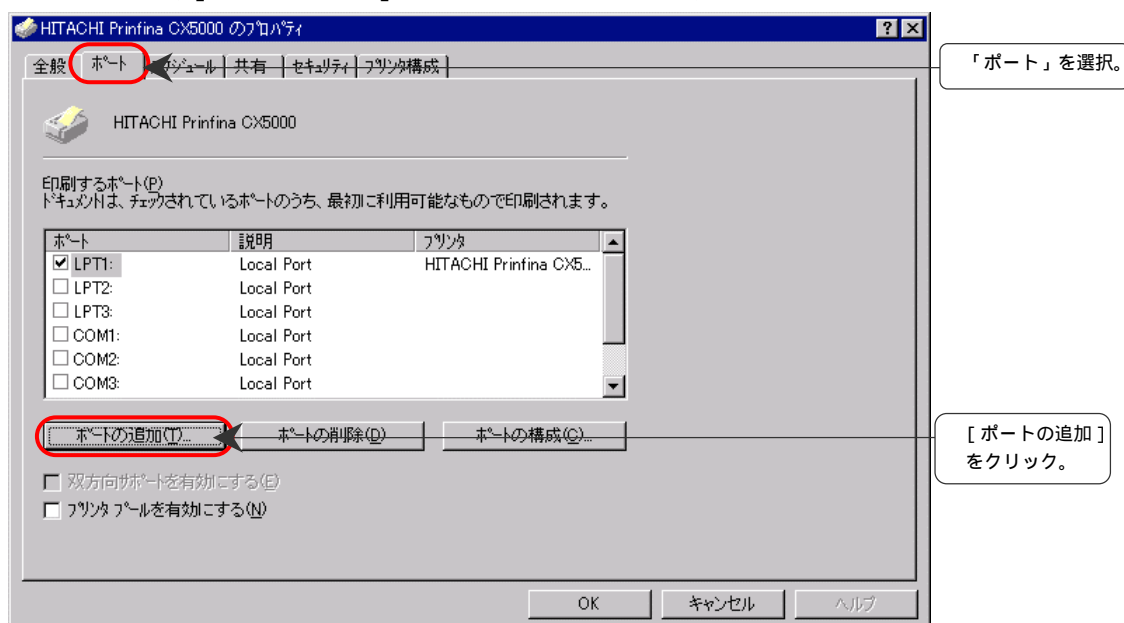
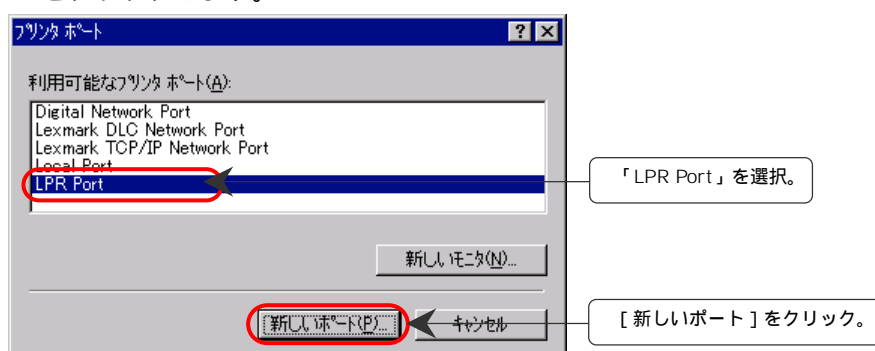
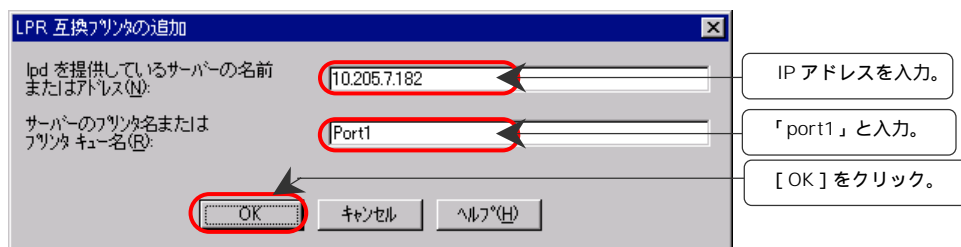
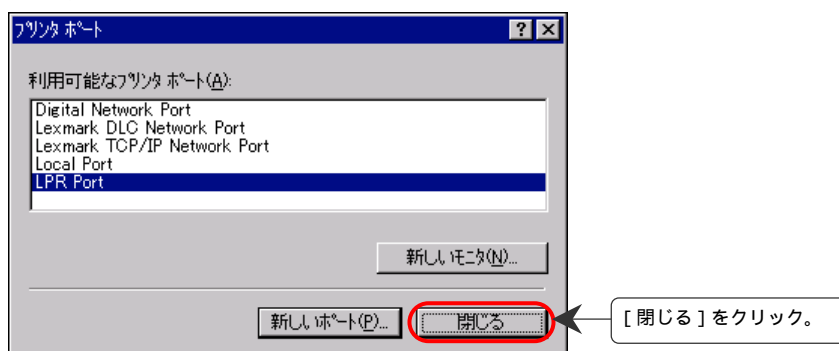
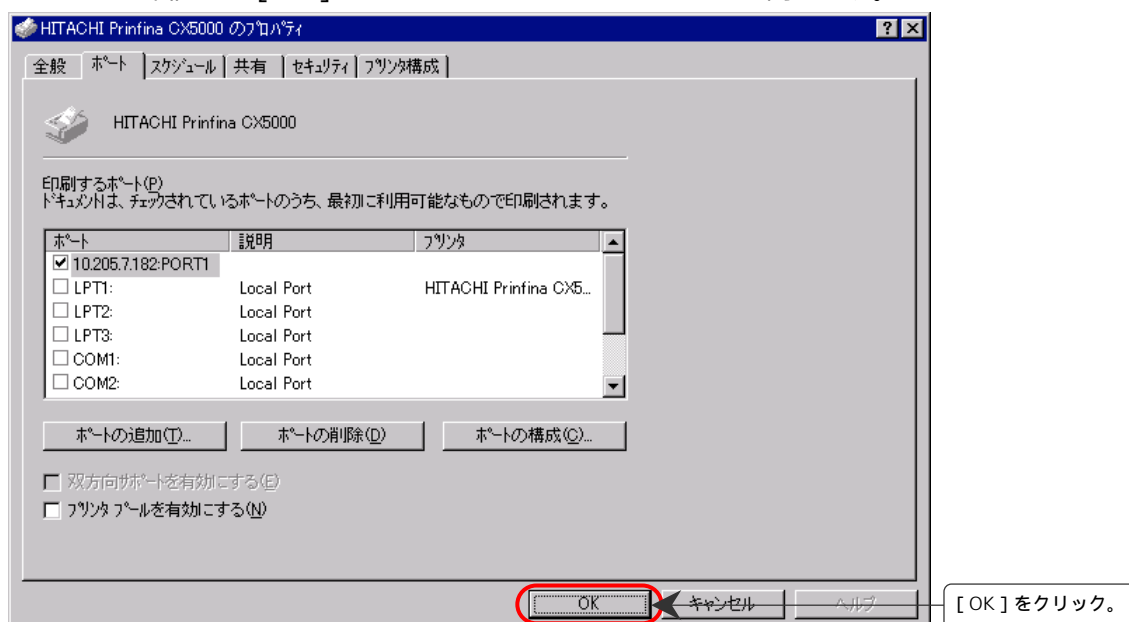
お願い

- **自動的に** CD-ROM **メニューが表示されない場合は、**CD-ROM **内のルートディレクトリにある「**Autorun.exe**」をダブルクリックして** CD-ROM **メニューを起動させてください。**

2. 「Windows 98/Me **用印刷ポートユーティリティ」をクリックします。**

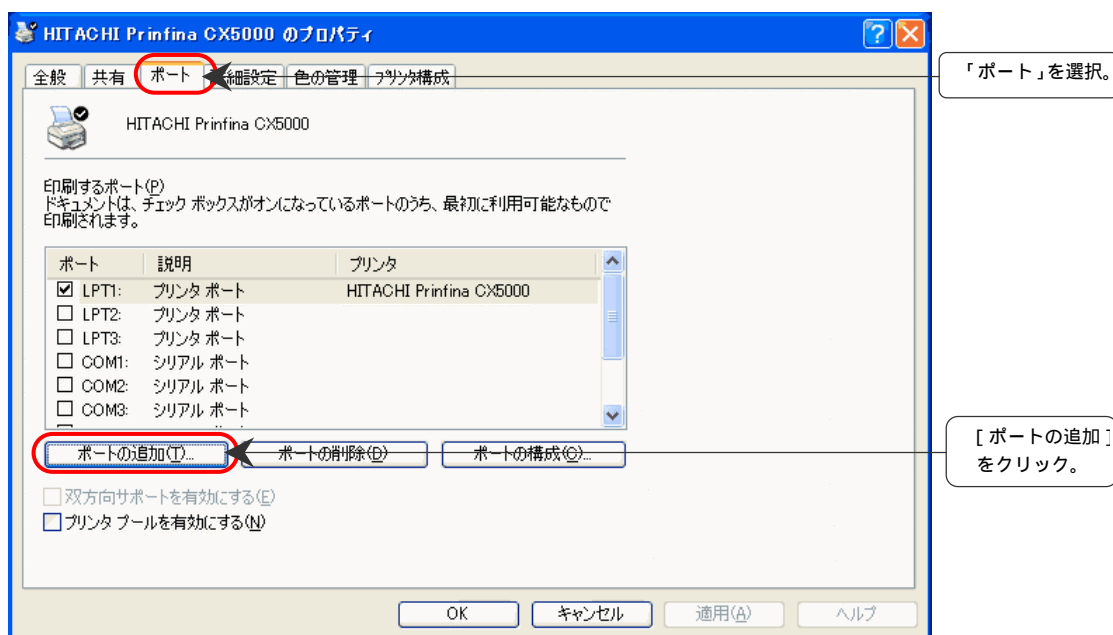
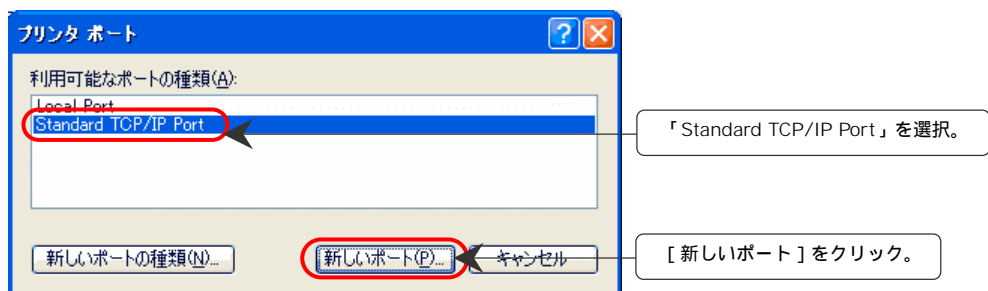
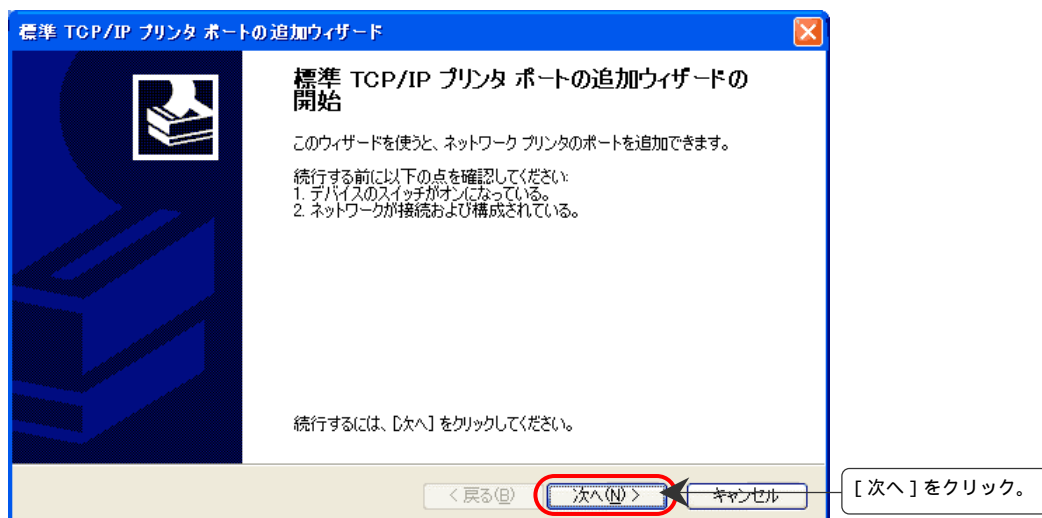
3. Print Server Utirities **のインストーラーが起動します。**[Next] **ボタンをクリックします。**

4．　インストールするディレクトリを指定します。特に変更が必要ない場合は、そのままのディレクトリにインストールしてください。［Next］ボタンをクリックします。

5．　［Next］ボタンをクリックします。

6. **確認メッセージが表示されますので、内容を確認後［Install］ボタンをクリックします。インストールが始まります。**

7. **インストールが終了したら［Close］ボタンをクリックします。**

8. プリンタドライバのプロパティを開きます。「詳細」タブを選択して、[ポートの追加] ボタンをクリックします。

9. 「その他」を選択ます。その中の「Print Server Port」を選択して、[OK] ボタンをクリックします。

10. 「LPR(TCP/IP)」が選択されていることを確認して、[OK] ボタンをクリックします。

11. 「Host name or IP address of print server」にはプリンタに設定している IP アドレスを入力します。「Logical print name」には「port1」を入力します。
ここでは例としてプリンタの IP アドレスが「10.205.7.180」が設定されているときの入力内容を記述しております。入力後［OK］ボタンをクリックします。

12. プリンタプロパティに戻ります。ポートの追加が終わりましたら、［OK］ボタンをクリックします。

2．Windows NT 4.0 から設定するには

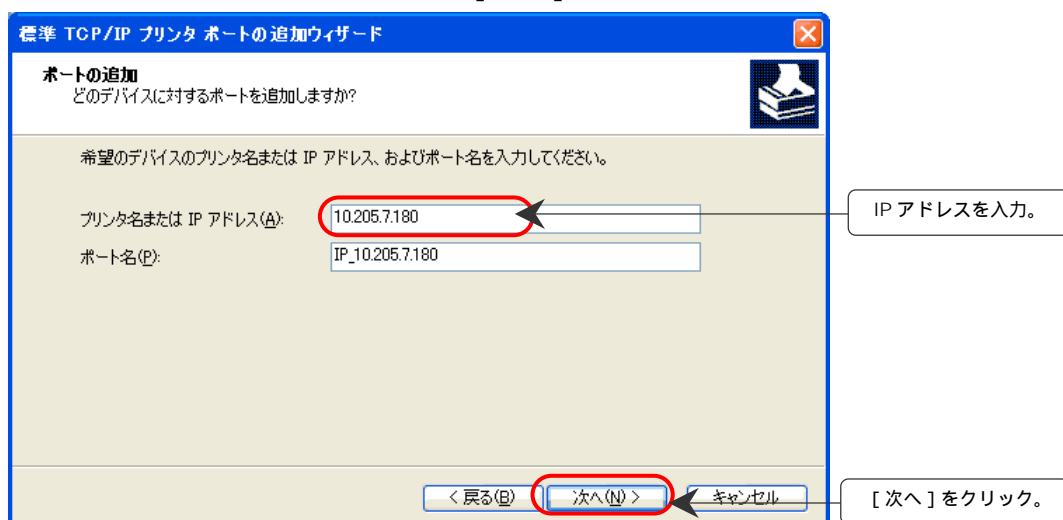
設定手順

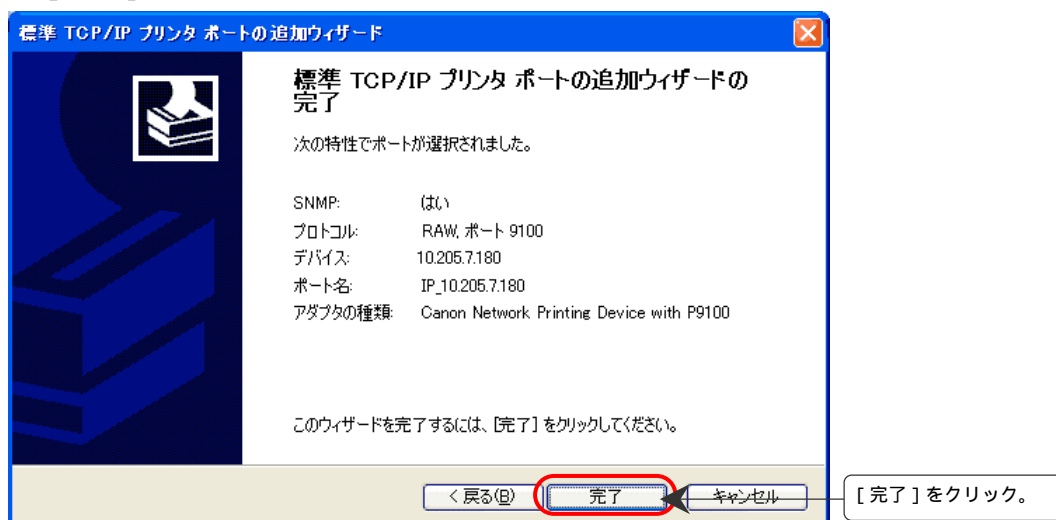
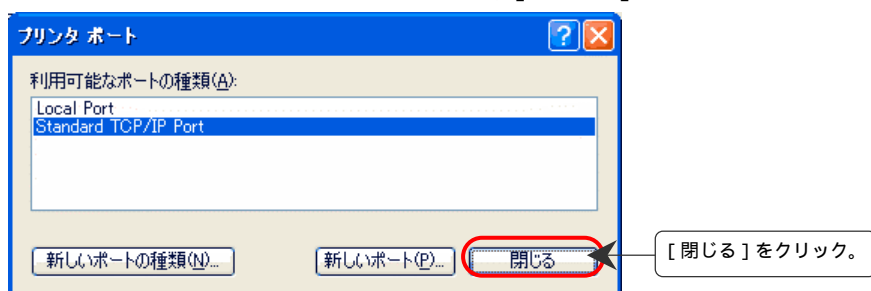
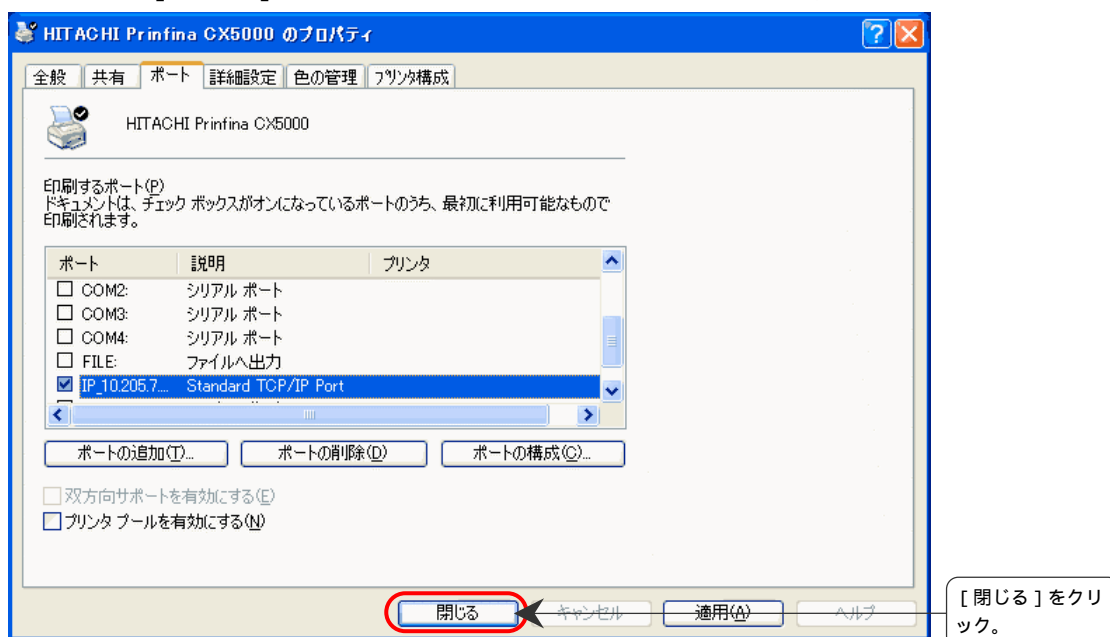
1．デスクトップ上の「ネットワークコンピュータ」を右クリックして「プロパティ」を選択します。「ネットワーク」ダイアログが開いたら、「サービス」タブを選択して、［追加］ボタンをクリックします。

2．「ネットワークサービスの選択」ダイアログが開きます。「ネットワークサービス」内の「Microsoft TCP/IP 印刷」を選択して、［OK］ボタンをクリックします。

3. 「Windows NT セットアップ」ダイアログが開きます。「D:¥i386」(D=CD-ROM ドライブ) とパスを入力して、[続行] ボタンをクリックします。

4. 「ネットワークサービス」に「Microsoft TCP/IP 印刷」が追加されます。[閉じる] ボタンをクリックして「ネットワーク」ダイアログを閉じます。

5. 「ネットワーク設定の変更」ダイアログが開き、再起動要求が表示されます。[はい] をクリックしてコンピュータを再起動します。

6. コンピュータが再起動したら、プリンタドライバのプロパティを開きます。「ポート」タブを選択して、［ポートの追加］ボタンをクリックします。

7. 「利用可能なプリンタポート一覧」から「LPR Port」を選択して、［新しいポート］ボタンをクリックします。

8. 「lpd を提供しているサーバーの名前またはアドレス」にはプリンタに設定している IP アドレスを入力します。
「サーバーのプリンタ名またはプリンタキュー名」には「Port1」を入力します。
ここでは例としてプリンタの IP アドレスが「10.205.7.182」が設定されているときの入力内容を記述しております。入力後［OK］ボタンをクリックします。

9. **プリンタポートダイアログに戻りますので、［閉じる］をクリックしてダイアログを閉じます。**

10. **プリンタプロパティに戻ります。ポートに「10.205.7.182 PORT1」が追加されていることを確認して［OK］ボタンをクリックしてプロパティを閉じます。**

3．Windows 2000/XP/Server 2003 から設定するには

ここでは Windows XP を使って説明します。

設定手順

1．プリンタドライバのプロパティを開きます。「ポート」タブを選択して、[ポートの追加] ボタンをクリックします。

2．「利用可能なプリンタポート一覧」から「Standard TCP/IP Port」を選択して、[新しいポート] ボタンをクリックします。

3. 「標準 TCP/IP プリンタポートの追加ウィザード」が起動します。[次へ] ボタンをクリックします。

4. 「プリンタ名または IP アドレス」に IP アドレスを入力します。
ここでは例としてプリンタの IP アドレスが「10.205.7.180」が設定されているときの入力内容を記述しております。入力後 [次へ] ボタンをクリックします。

お願い

• ポート名を変更するとプリンタの情報が取れなくなってしまいます。ポート名を変更する必要がなければ変更しないでご使用ください。

5. ［完了］ボタンをクリックしてウィザードを終了します。

6. プリンタポートダイアログに戻ります。［閉じる］をクリックしてダイアログを閉じます。

7. プリンタプロパティに戻ります。ポートに「IP_10.205.7.180」が追加されていることを確認して［閉じる］ボタンをクリックしてプロパティを閉じます。

第４章　プリンタドライバの設定方法

プリンタの機能の設定はプリンタドライバで行います。プリンタドライバで印刷の設定をするためにはプリンタのプロパティを開きプリンタプロパティの各シート上で印刷条件を設定します。プロパティを開くには 2 種類の方法があります。

- アプリケーションソフトから開く
- プリンタアイコンから開く

1．プロパティの開き方

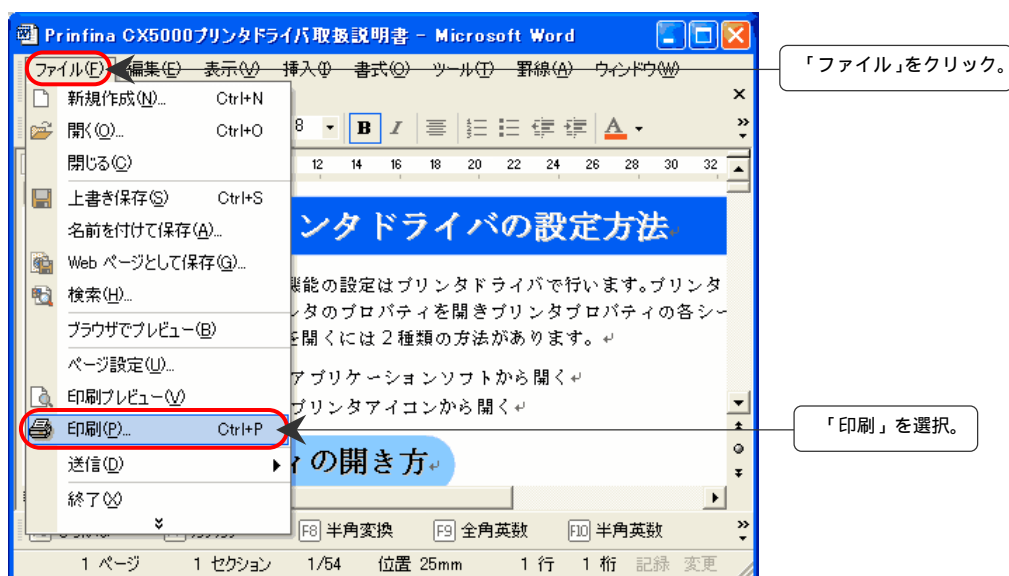
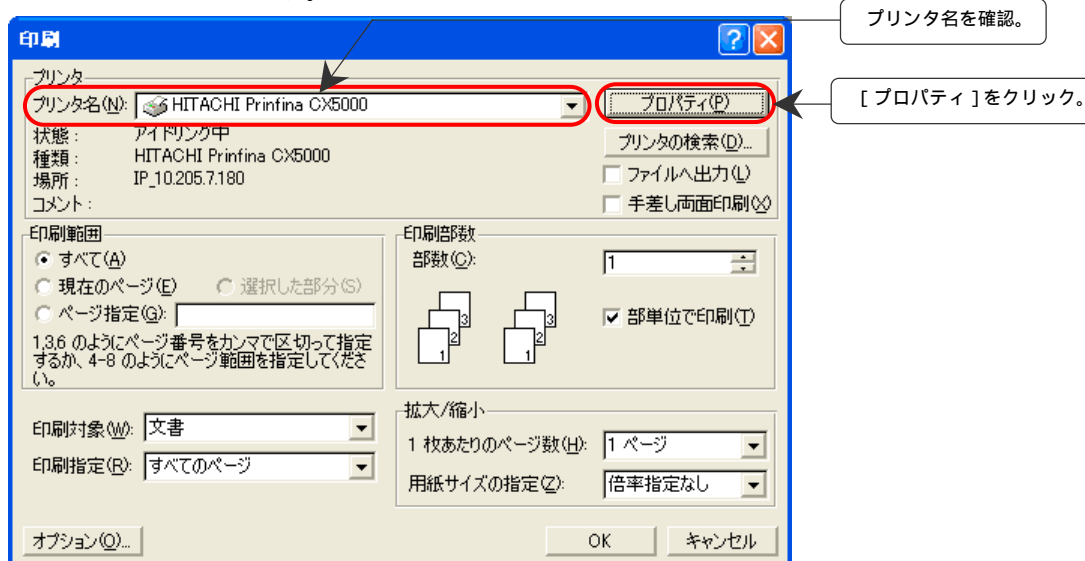
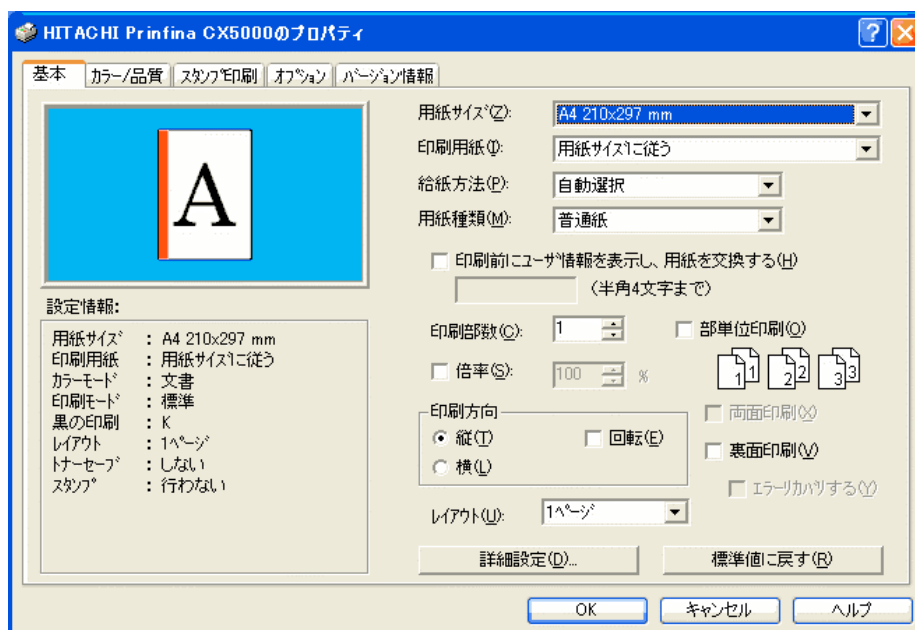
1.1　アプリケーションソフトからの開き方

アプリケーションソフトからプリンタのプロパティを開く方法は、アプリケーションソフトにより異なります。詳しくは各アプリケーションソフトの説明書を参照してください。
ここでは、Microsoft Word 2002 の場合を例に説明します。

メモ

•通常、プリンタプロパティを開くにはアプリケーションの「ファイル」－「印刷」や「ファイル」－「ページ設定」から開きます。アプリケーションからプリンタプロパティを開けない場合は「1.2 プリンタフォルダからの開き方」を参照してください。

操作手順

1．Microsoft Word 2002 のメニューバーのファイルメニューから「印刷(P)」を選択します。

2. 「プリンタ名(N)」に本プリンタ名が選択されていることを確認し、［プロパティ(P)］ボタンをクリックします。

3. 各シートで詳細設定をします。

1.2　プリンタフォルダからの開き方

プリンタプロパティをアプリケーションソフトから開くことができない場合や印刷の標準設定を行う場合は、「プリンタ」フォルダまたは「プリンタと FAX」フォルダからプリンタドライバを設定します。

Windows 98/Me	Windows NT 4.0	Windows 2000/ Server 2003	Windows XP
タスクバーのスタート ↓ 設定 ↓ 「プリンタ」フォルダ ↓ 本プリンタアイコン ↓ 「ファイル」メニュー ↓ *プロパティ*	タスクバーのスタート ↓ 設定 ↓ 「プリンタ」フォルダ ↓ 本プリンタアイコン ↓ 「ファイル」メニュー ↓ *ドキュメントの既定値*	タスクバーのスタート ↓ 設定 ↓ 「プリンタ」フォルダ ↓ 本プリンタアイコン ↓ 「ファイル」メニュー ↓ *印刷設定*	タスクバーのスタート ↓ コントロールパネル （Home Edition の場合） ↓ 「プリンタと FAX」 フォルダ ↓ 本プリンタアイコン ↓ 「ファイル」メニュー ↓ *印刷設定*

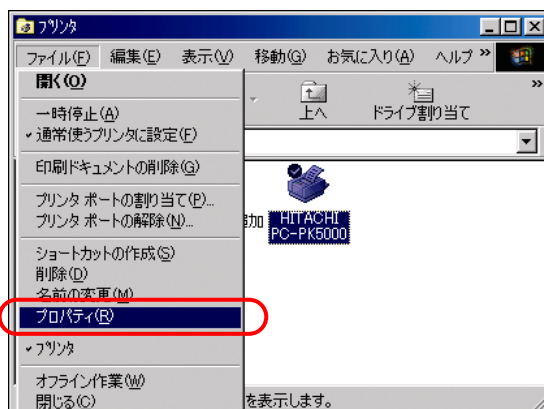
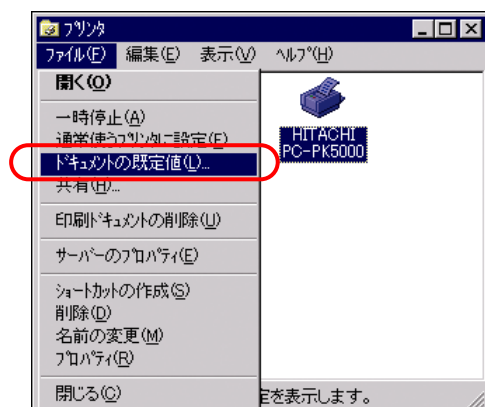
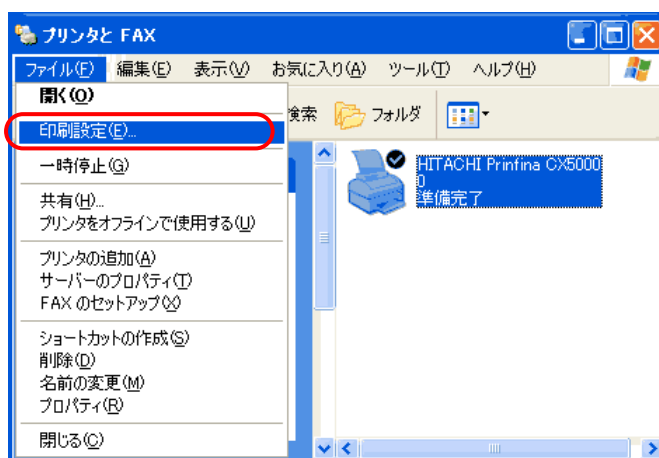
操作手順

1. 「スタート」メニューから「設定」－「プリンタ」または「プリンタと FAX」を選択します。

メモ

•Windows XP Home Edition の場合は、「スタート」－「コントロールパネル」－「プリンタと FAX」を選択します。

2. 「プリンタ」フォルダ、または「プリンタと FAX」フォルダで、本プリンタ（HITACHI PC-PK5000）のアイコンを選択して、ファイルメニューから、Windows 98/Me の場合は「プロパティ」を、Windows NT 4.0 の場合は「ドキュメントの既定値」を、Windows 2000/XP/Server 2003 をお使いの場合は「印刷設定」を選択します。

■ Windows 98 /Me の場合

■ Windows NT 4.0 の場合

■ Windows 2000/XP/Server 2003 の場合

3. **各シートで印刷条件を設定したあと、［OK］ボタンをクリックします。**

2．オプションの設定

プリンタに搭載されているオプションの設定を行います。両面ユニットや給紙オプションなどのプリンタの環境を設定してください。
オプションは「プリンタ」フォルダまたは「プリンタと FAX」フォルダからプリンタプロパティを開いて設定します。増設可能なオプションは以下の通りです。

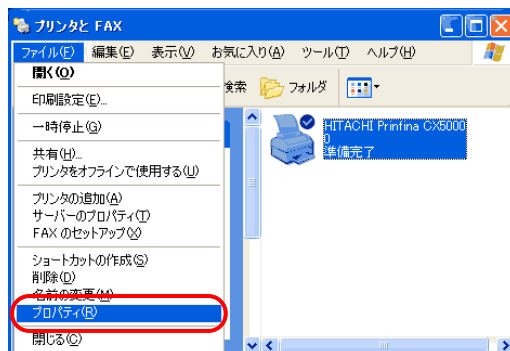
- ペーパーフィーダ
- 両面ユニット

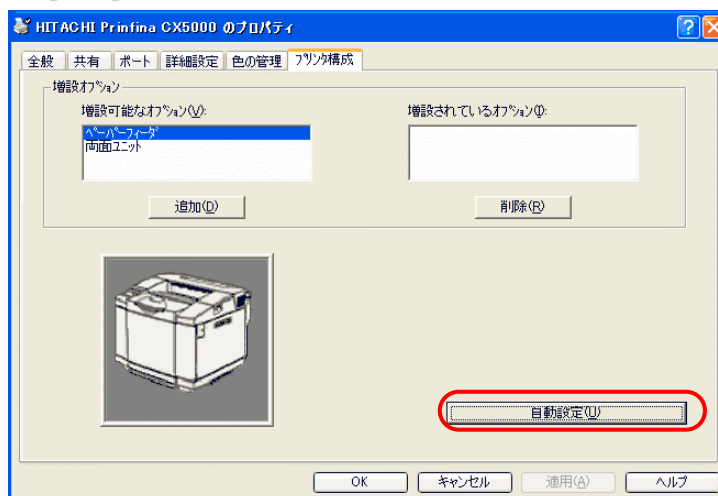
操作手順

1．「スタート」メニューから「設定」－「プリンタ」または「プリンタと FAX」を選択します。

メモ

•Windows XP Home Edition の場合は、「スタート」－「コントロールパネル」－「プリンタと FAX」を選択します。

2．本プリンタ（HITACHI Prinfina CX5000）のアイコンを選択して、「ファイル」メニューから「プロパティ」を選択します。

3．「プリンタ構成」シートを表示して、［自動設定］ボタンをクリックします。プリンタに増設されているオプションを自動で設定します。接続によっては自動設定できない場合があります。そのときは、増設可能なオプションから増設オプションを追加します。
［OK］ボタンをクリックしてプロパティを閉じます。

お願い

•共有プリンタとしてご使用の場合、自動設定ができません。手動で設定してください。

３．プリンタドライバの詳細設定

3.1　用紙サイズの定

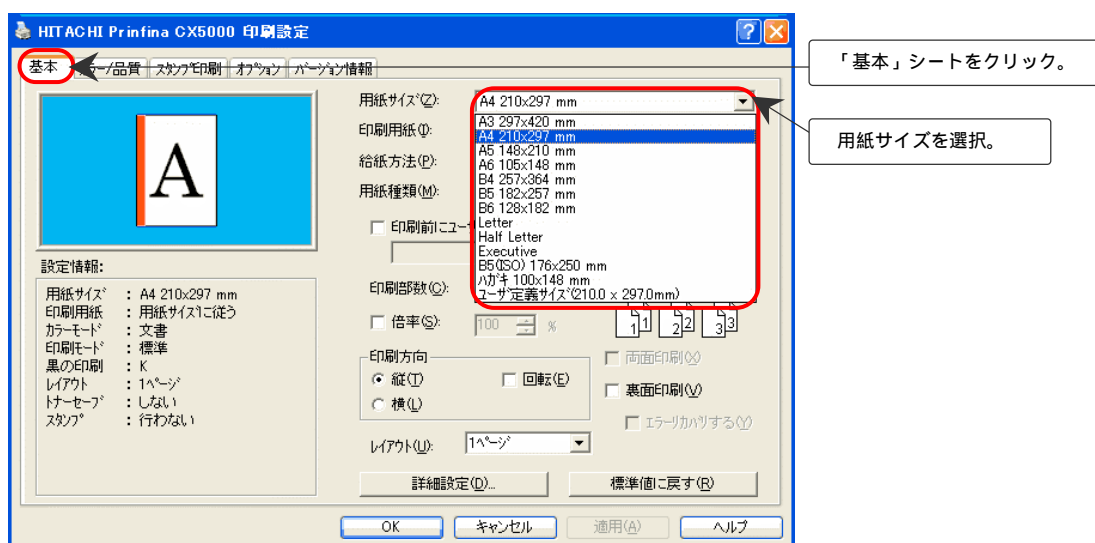
印刷する用紙サイズ設を設定します。ドロップダウンリストから目的の用紙サイズを選択します。使用可能な用紙サイズは次の通りです。

- A3　297 x 420 mm
- A4　210 x 297 mm
- A5　148 x 210 mm
- A6　105 x 148 mm
- B4　257 x 364 mm
- B5　182 x 257 mm
- B6　128 x 182 mm
- Letter　215.9 x 279.4 mm
- Half Letter　139.7x215.9 mm
- Executive　184.2 x 266.7 mm
- B5 (ISO) 176 x 250 mm
- ﾊｶﾞｷ 100 x 148 mm
- ﾕｰｻﾞ定義ｻｲｽﾞ
  幅(100.0～215.9 mm) x 長さ(210.0～297.0 mm)

設定手順

1．プリンタプロパティ(Windows 98/Me)、ドキュメントの既定値(Windows NT 4.0) またはプリンタの印刷設定(Windows 2000/XP/Server 2003)を開きます。

2．「基本」シートで「用紙サイズ」のドロップダウンリストから目的の用紙サイズを選択します。

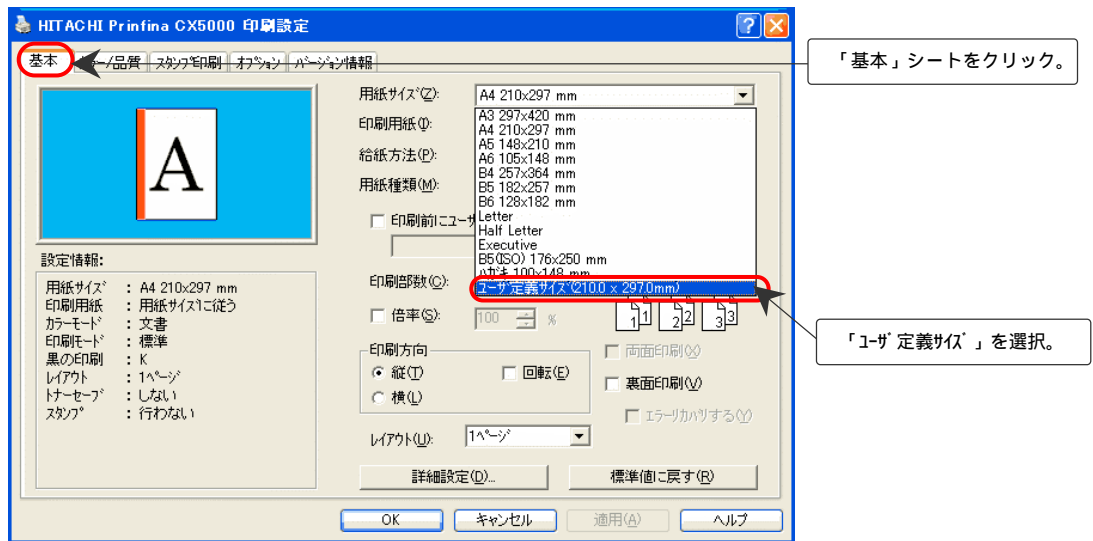
メモ

- A5、Half Letter、ハガキ、ユーザ定義サイズの用紙サイズで印刷する場合は、給紙部をカセット 1 にして印刷してください。
- 用紙サイズが A3、A6、B4、B6 を指定した場合、設定した用紙サイズでの印刷はできません。詳細は「3.3 印刷用紙の設定」を参照してください。

3.2　ユーザ定義サイズの設定

不定形の用紙に印刷する場合、ユーザ独自の用紙サイズを設定することができます。
設定範囲は（幅：100.0mm〜215.9mm**、長さ：**210.0mm〜297.0mm**）です。**

設定手順

1. **プリンタプロパティ**(Windows 98/Me)**、ドキュメントの既定値**(Windows NT 4.0) **またはプリンタの印刷設定**(Windows 2000/XP/Server 2003)**を開きます。**

2. **「基本」シートで「用紙サイズ」のドロップダウンリストから「ユーザ定義サイズ」を選択します。**

3. **幅、長さ、単位を設定して、**[OK]**ボタンをクリックします。**

メモ

- **幅の設定範囲** 100.0〜215.9mm **で** 100.0 **未満に設定した場合、**100.0mm **に、**215.9mm **を超えて設定した場合は** 215.9mm **に修正されます。また、長さの設定範囲** 210.0〜297.0mm **で** 210.0mm **未満に設定された場合、**210.0mm **に、**297.0mm **を超えて設定した場合は** 297.0mm **に修正されます。**

3.3　印刷用紙の設定

用紙サイズと印刷用紙に応じて縮小印刷をすることができます。使用可能な印刷用紙は用紙サイズにより変わります。

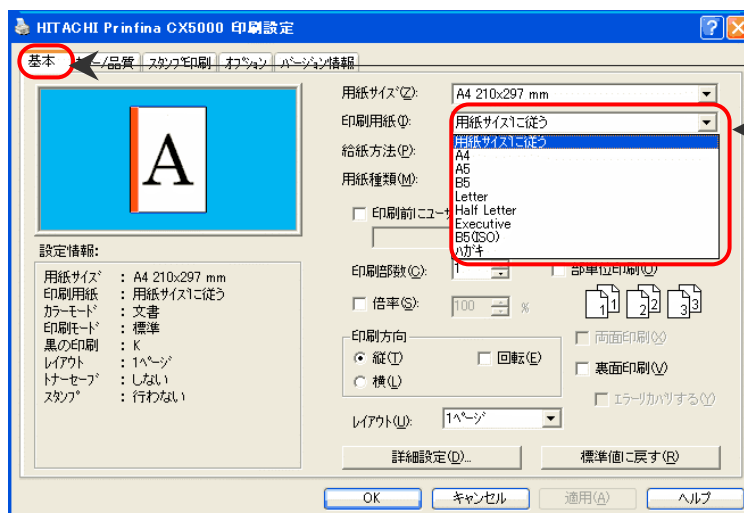
- **用紙サイズで「用紙サイズに従う」を選択した場合、**A4 **サイズで印刷され、** A6 **用紙は** A5 **サイズ、**B4 **用紙・**B6 **用紙は** B5 **サイズに印刷されます。** A3、A6、B4、B6 **用紙サイズへの印刷はできません。**

用紙サイズ	選択可能な印刷用紙	「用紙サイズに従う」選択時の印刷用紙サイズ
A4	**用紙サイズに従う、**A4、A5、B5、Letter、Half Letter、Executive、B5(ISO)、**ハガキ**	A4
A3	**用紙サイズに従う、**A4、A5、B5、Letter、Half Letter、Executive、B5(ISO)	A4
A5		A5
A6		A5
B4		B5
B5		B5
B6		B5
Letter		Letter
Executive		Executive
B5(ISO)		B5(ISO)
ハガキ	**用紙サイズに従う、ハガキ**	**ハガキ**
ユーザ定義サイズ	**用紙サイズに従う**	**ユーザ定義用紙サイズで設定されたサイズの用紙**

- A5、Half Letter、**ハガキ、ユーザ定義サイズの用紙サイズに印刷する場合、用紙をカセット** 1 **にセットしてください。**

設定手順

1. **プリンタプロパティ**(Windows 98/Me)**、ドキュメントの既定値**(Windows NT 4.0) **またはプリンタの印刷設定**(Windows 2000/XP/Server 2003)**を開きます。**

2. **「基本」シートで「印刷用紙」のドロップダウンリストから印刷する用紙サイズを選択します。**

3.4　給紙方法の設定

印刷する用紙をどのカセットから印刷するかを設定します。ドロップダウンリストから目的の給紙方法を選択します。選択できる給紙方法は以下のとおりです。

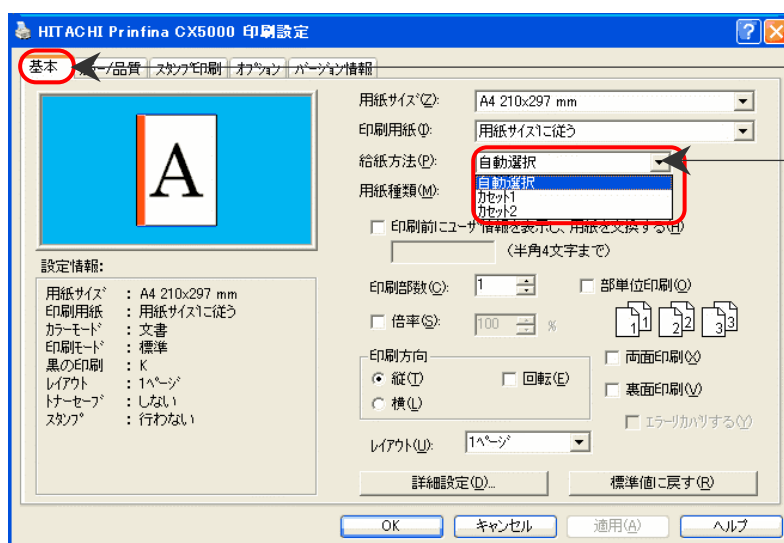
- **自動選択**
- **カセット** 1
- **カセット** 2

メモ

- **カセット** 2 **はプリンタプロパティで「プリンタ構成」の増設可能オプションからペーパーフィーダを追加してある場合のみ表示されます。**
- A5、A6、Half Letter、**ハガキ、ユーザ定義サイズの用紙サイズに印刷する場合、または用紙種類が** OHP、**ラベル、厚紙** 1、**厚紙** 2、**封筒** 1、**封筒** 2 **の場合、カセット** 2 **は選択できません。**

設定手順

1. **プリンタプロパティ**(Windows 98/Me)、**ドキュメントの既定値**(Windows NT 4.0) **またはプリンタの印刷設定**(Windows 2000/XP/Server 2003)**を開きます。**

2. **「基本」シートで「給紙方法」のドロップダウンリストから目的の給紙方法を選択します。**

3.5　用紙種類の変更

印刷する際の用紙の種類を設定します。用紙種類の指定と実際にカセットにセットされた印刷媒体が異なった場合、トナーがはがれる・OHP 投影時にくすむなどの印刷品質系のトラブルが発生する場合がありますので、カセットにセットされている用紙種類を設定してください。選択できる用紙種類は以下のとおりです。

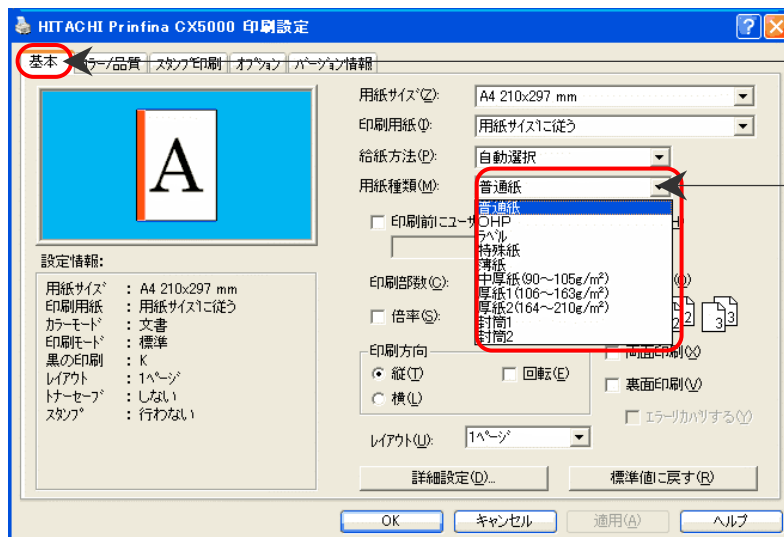
- **普通紙**
- OHP
- **ラベル**
- **特殊紙**
- **薄紙**
- **中厚紙**（90～105g/㎡）
- **厚紙** 1（106～163g/㎡）
- **厚紙** 2（164～210g/㎡）
- **封筒** 1
- **封筒** 2

•OHP、**ラベル、厚紙** 1、**厚紙** 2、**封筒** 1、**封筒** 2 **を指定した場合、給紙方法の設定にかかわらずカセット** 1 **から印刷されます。これらの用紙種類はカセット** 1 **にセットしてください。**

•A5、A6、B4、B5、B6、Half Letter、Executive、B5(ISO)、**ハガキ、ユーザ定義サイズの用紙サイズに印刷する場合、「**OHP**」は選択できません。**

設定手順

1. **プリンタプロパティ**(Windows 98/Me)、**ドキュメントの既定値**(Windows NT 4.0) **またはプリンタの印刷設定**(Windows 2000/XP/Server 2003)**を開きます。**

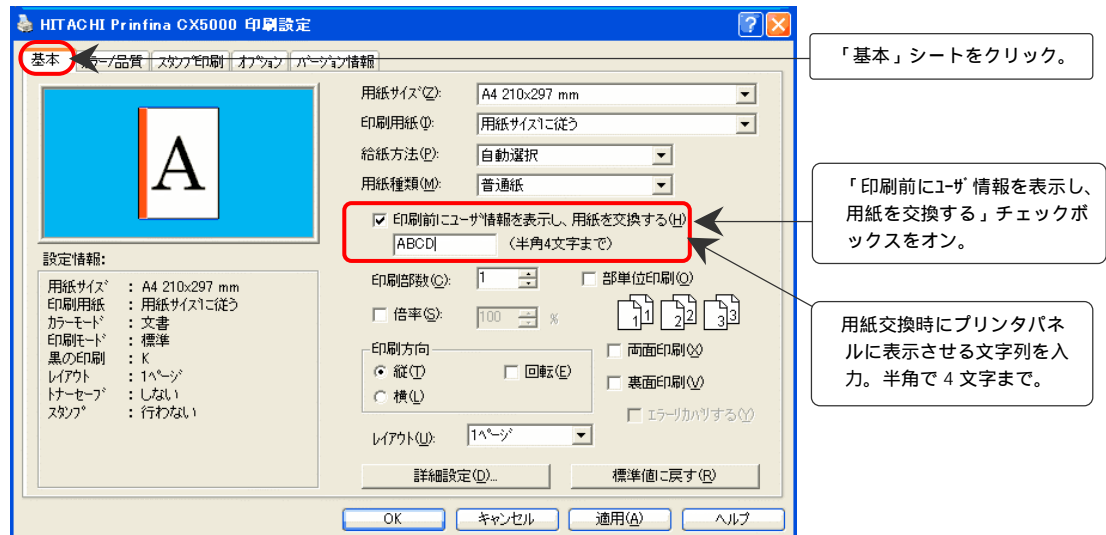
2. **「基本」シートで「用紙種類」のドロップダウンリストから目的の用紙種類を選択します。**

3.6　印刷前にユーザ情報を表示し、用紙を交換する

印刷ジョブ毎に用紙種類を交換したり､印刷するジョブの先頭でプリンタを一時停止したいときに設定します。プリンタが一時停止する際、ユーザ固有の情報をプリンタパネルに表示することができます。
用紙交換時にプリンタパネルにユーザ情報を表示したいときは､エディットボックスにユーザ情報の文字列を入力します。入力文字は、半角で 4 文字までです。以下に入力可能な文字列を示します。

文字種	文字列
数字	0～9
英大文字	A～Z
英小文字	a～z
記号	! " # $ % & ' ( ) * + - . / : ; < = > ? @ [¥] ^ _ ` { | } ｡ ｢ ｣ ､ ･ ｰ ﾞ ﾟ
カタカナ	ｱ～ﾝ　ｧ ｨ ｩ ｪ ｫ ｬ ｭ ｮ ｯ

設定手順

1.　**プリンタプロパティ**(Windows 98/Me)、**ドキュメントの既定値**(Windows NT 4.0) **またはプリンタの印刷設定**(Windows 2000/XP/Server 2003)**を開きます。**

2.　**「基本」シートで「印刷前にユーザ情報を表示し、用紙を交換する」チェックボックスをオンにし、プリンタパネルに表示させる文字列を入力します。**

3.7　複数部数の設定

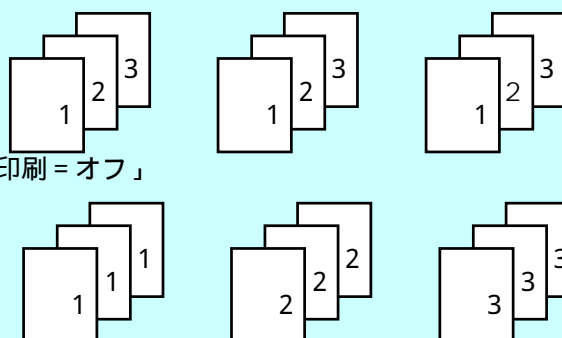
同じ印刷物を複数部印刷するときに設定します。「印刷部数」のエディットボックスに直接印刷部数を入力します。設定範囲は 1～999 の範囲で設定できます

メモ

• アプリケーションから印刷部数を指定した場合、アプリケーションからの設定が優先されます。

設定手順

1. **プリンタプロパティ**(Windows 98/Me)、**ドキュメントの既定値**(Windows NT 4.0) または**プリンタの印刷設定**(Windows 2000/XP/Server 2003)を開きます。

2. 「基本」シートで「印刷部数」テキストボックスに必要な部数を入力します。また、「部単位印刷」チェックボックスをオンにすると、部単位で印刷することができます。

お願い

• 両面印刷指定時は、部単位印刷をオフにして印刷してください。

3.8　拡大縮小印刷の設定

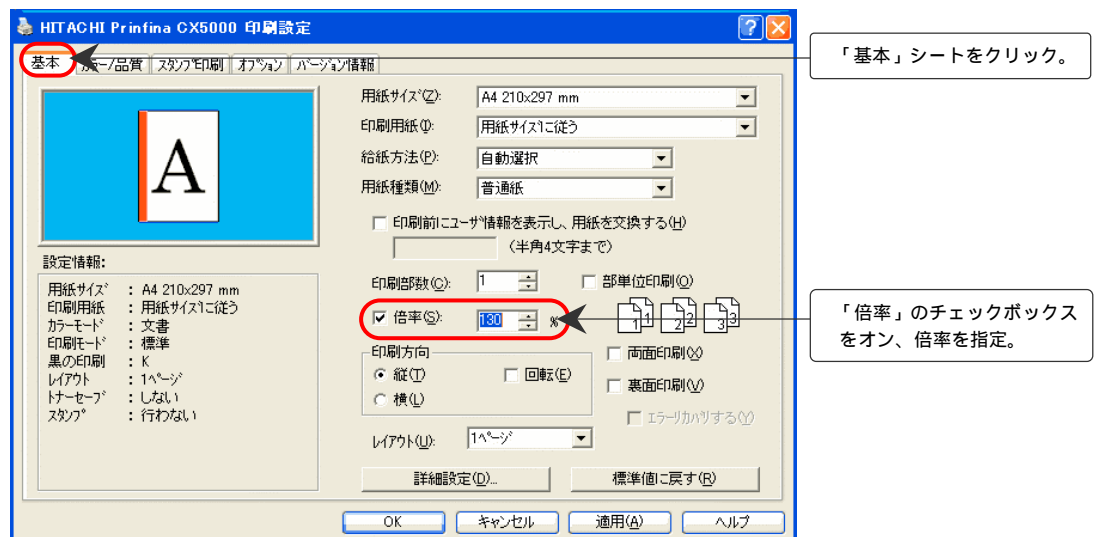
印刷データを拡大／縮小して印刷します。「倍率」のチェックボックスをオンにして、拡大縮小率を設定します。設定範囲は 25%〜400%**の間で、**1%**単位で任意の倍率で拡大縮小印刷を指定できます。**

メモ

- **用紙サイズに** A3、B4 **を選択した場合、設定できる倍率の範囲は** 25%〜300% **です。**

設定手順

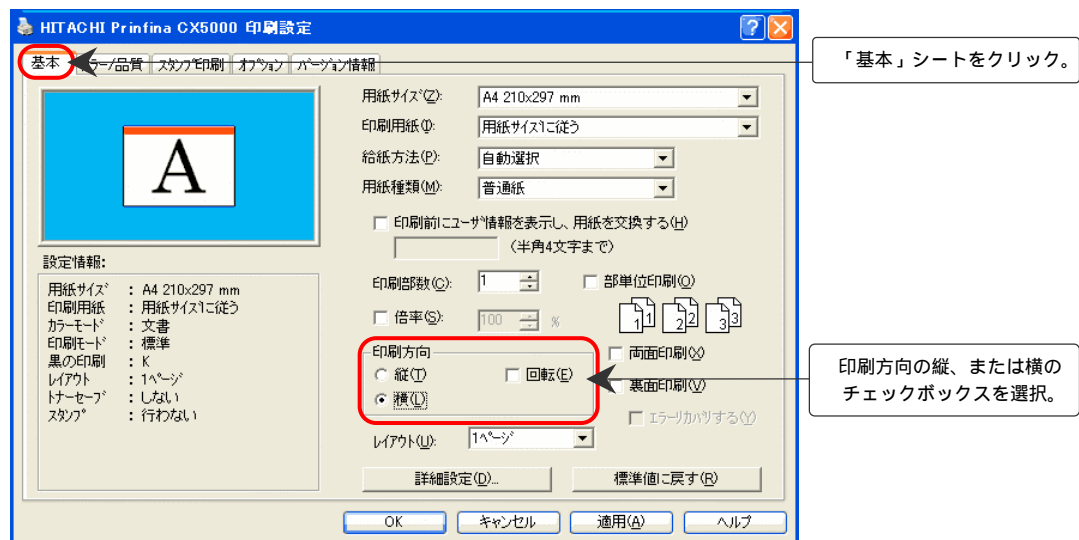
1. **プリンタプロパティ**(Windows 98/Me)**、ドキュメントの既定値**(Windows NT 4.0) **またはプリンタの印刷設定**(Windows 2000/XP/Server 2003)**を開きます。**

2. **「基本」シートの「倍率」チェックボックスをオンにして、倍率を指定します。**

3.9　印刷方向の設定

用紙を縦長（ポートレイト）に印刷するか、横長（ランドスケープ）に印刷するかを指定します。「印刷方向」チェックボックスの「縦」又は「横」を選択します。回転のチェックボックスをオンにすると 180 度回転して印刷されます。チェックボックスをオフにすると正立で印刷されます。

設定手順

1. **プリンタプロパティ**(Windows 98/Me)、**ドキュメントの既定値**(Windows NT 4.0) **またはプリンタの印刷設定**(Windows 2000/XP/Server 2003)**を開きます。**

2. **「基本」シートで「印刷方向」を選択します。**

3.10　両面印刷

用紙の裏・表の両面に印刷します。また、両面印刷をするにはとじ位置、とじしろを設定します。選択できるとじ位置は以下の通りです。

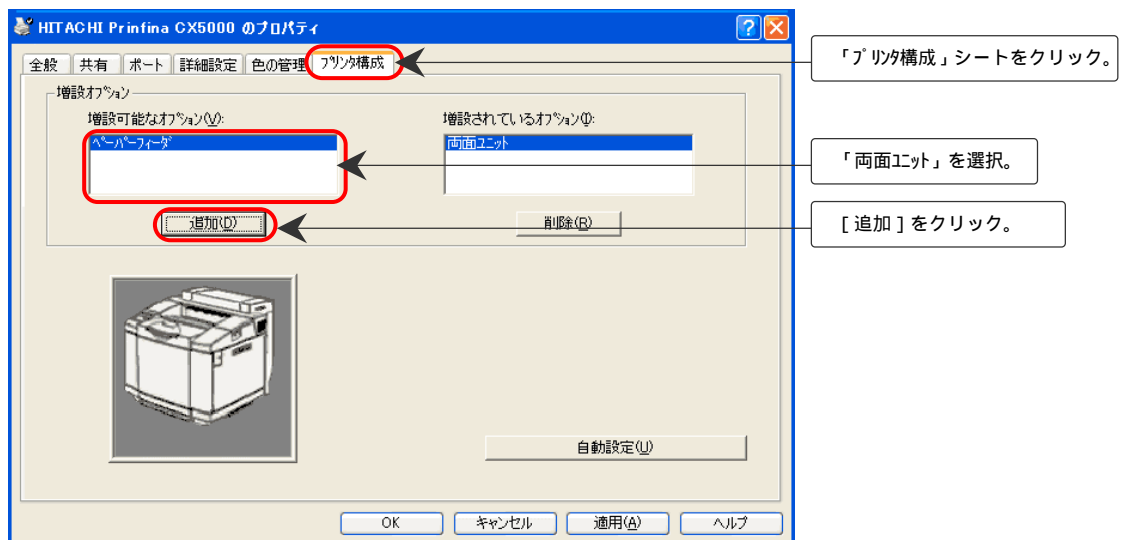
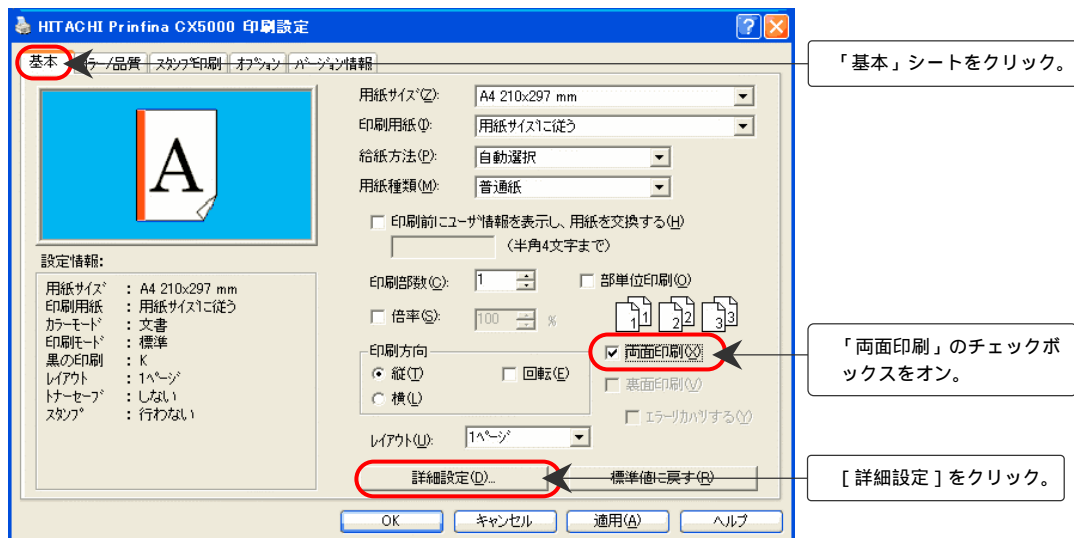
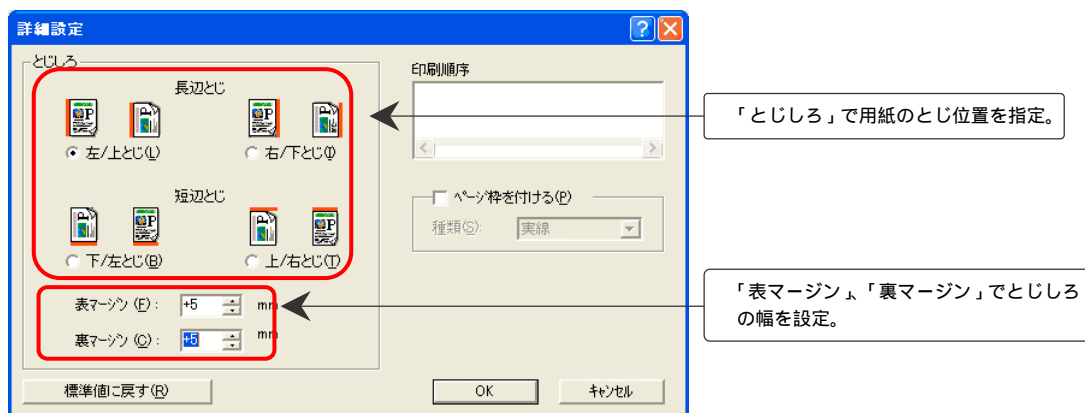
- **長辺とじの「左／上とじ」**
- **長辺とじの「右／下とじ」**
- **短辺とじの「左／下とじ」**
- **短辺とじの「右／上とじ」**

- **両面印刷を行うにはプリンタに両面ユニットをセットし、プリンタ構成シートの増設オプションに「両面ユニット」を追加してください。追加されていない場合は両面印刷ボタンが使用不可となります。**

- **印刷する用紙が** A6、**ハガキ、ユーザ定義サイズ（幅（**100.0～175.99mm**）、長さ（**210.0～249.9mm**）以内）で設定されている場合、両面印刷は無効となります。また、用紙種類が** OHP、**ラベル、厚紙** 1、**厚紙** 2、**封筒** 1、**封筒** 2 **が設定されている場合も両面印刷は無効となります。**

設定手順

1. **プリンタプロパティを開きます。**

2. **「プリンタ構成」シートで増設可能なオプションから「両面ユニット」を選択し、[追加] ボタンをクリックし増設されているオプションに追加します。**

3. Windows 98/Me はプリンタプロパティの「基本」シート、Windows NT 4.0 はドキュメントの既定値、Windows 2000/XP/2003 はプリンタの印刷設定を開いて「基本」シートを表示させて「両面印刷」チェックボックスをオンにします。
次にとじしろを設定します。［詳細設定］ボタンをクリックします。

4. 「印刷の詳細設定」ダイアログを開きます。とじしろで用紙のとじしろ位置を指定します。マージンは mm 単位で-60mm～+60mm の範囲で 1mm 刻みで指定します。また、表マージン、裏マージンの設定をします。

3.11　裏面印刷

本プリンタドライバが動作するプリンタで印刷した用紙の裏面に印刷する場合に使用します。

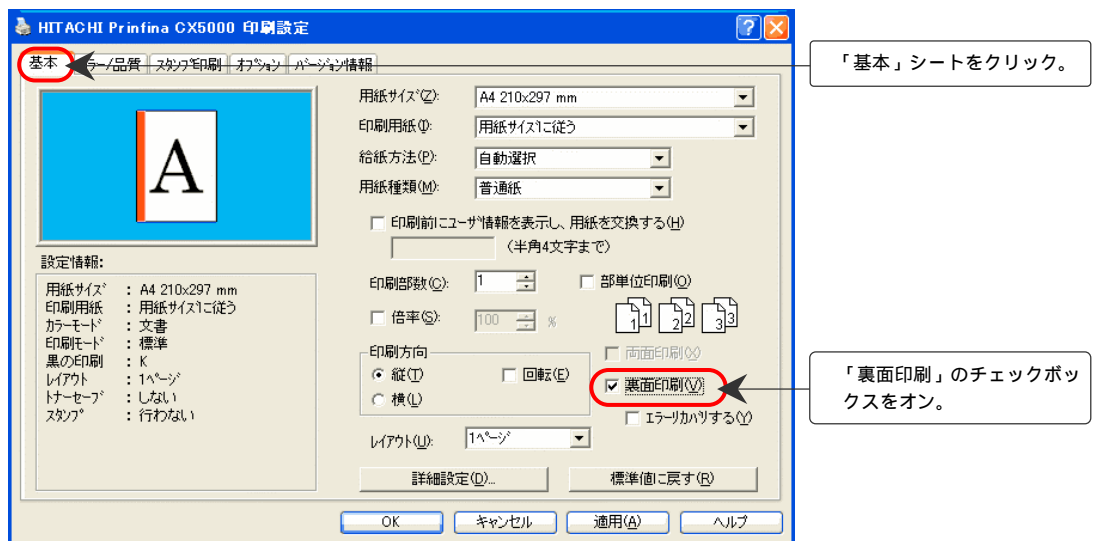
お願い

•他のプリンタで印刷を行った裏紙を使用すると紙詰まりの原因になることがあります。他のプリンタで印刷した裏紙は使用しないでください。

設定手順

1. **プリンタプロパティ**(Windows 98/Me)、**ドキュメントの既定値**(Windows NT 4.0) **または**プリンタの印刷設定(Windows 2000/XP/Server 2003)**を開きます。**

2. **「裏面印刷」のチェックボックスをオンにします。**

メモ

• 「エラーリカバリする」チェックボックスをオンにすると、紙詰まり等のエラーが発生した時点のページを再度印刷します。
チェックボックスがオフの時はエラーが発生した次のページから印刷します。

3.12　N-up 印刷の設定

2 ページの原稿や、4 ページの原稿を並べて 1 枚の用紙に縮小印刷します。また、詳細設定の設定ボタンをクリックすると、印刷の順序を設定することができます。
用紙サイズがハガキ、ユーザ定義サイズを指定した場合、N-UP 2 ページ・N-UP 4 ページ印刷はできません。

お願い

- レイアウトが 2up のときの印刷順序は、印刷方向が縦（ポートレイト）の場合のみ設定できます。印刷方向が横（ランドスケープ）の場合、印刷順序は上から下への固定です。

● レイアウトのイメージ図

印刷順序	ポートレイト			ランドスケープ		
	1ﾍﾟｰｼﾞ	N-UP 2ﾍﾟｰｼﾞ	N-UP 4ﾍﾟｰｼﾞ	1ﾍﾟｰｼﾞ	N-UP 2ﾍﾟｰｼﾞ	N-UP 4ﾍﾟｰｼﾞ
の場合	1	1 2	1 2 3 4	1	1 2	1 2 3 4
の場合	1	2 1	2 1 4 3	1	1 2	2 1 4 3
の場合	1	1 2	1 3 2 4	1	1 2	1 3 2 4
の場合	1	2 1	3 1 4 2	1	1 2	3 1 4 2

メモ

- 縦横混在データを N-UP 印刷する場合、各ページの最初のページを基準ページとして印刷します。

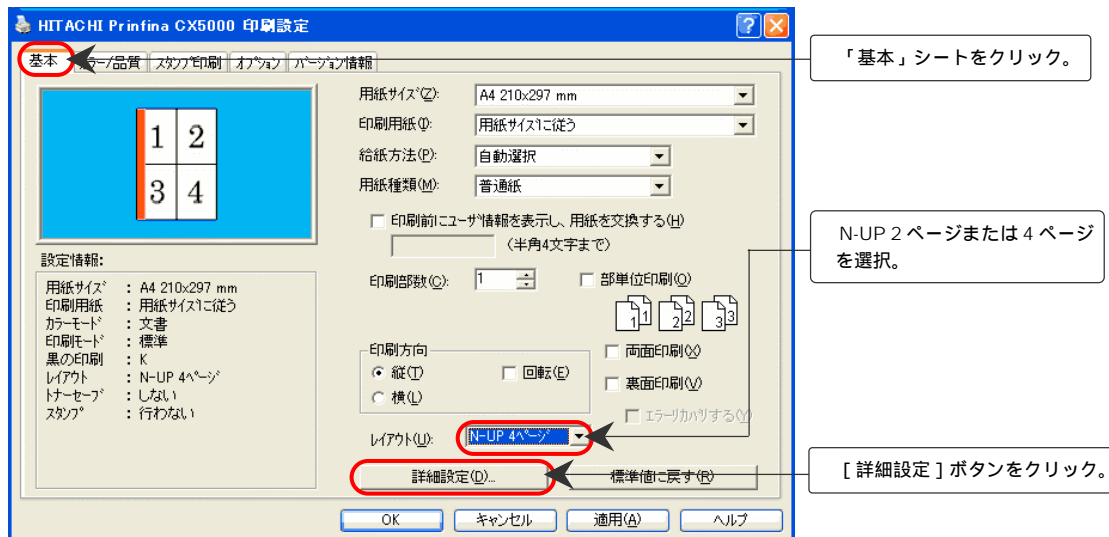
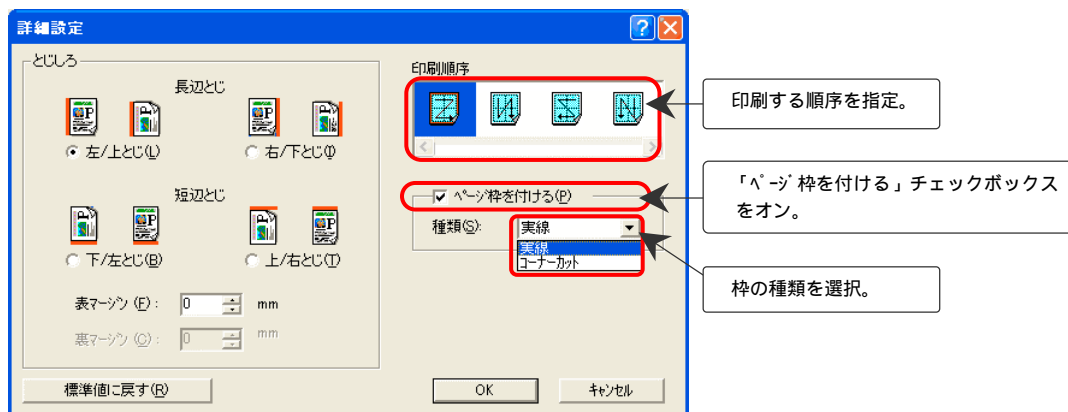
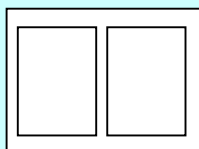
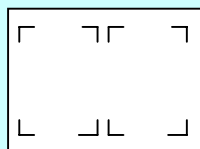
【例】縦横混在 8 ページのデータを N-UP 4 ページ、印刷順序はデフォルトの場合

1 2 3 4 5 6 7 8

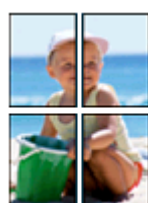
↓

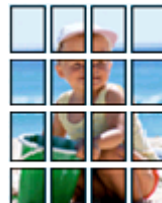
設定手順

1. **プリンタプロパティ**(Windows 98/Me)、**ドキュメントの既定値**(Windows NT 4.0) **またはプリンタの印刷設定**(Windows 2000/XP/Server 2003)**を開きます。**

2. **「基本」シートで「レイアウト」のドロップダウンリストからレイアウトを選択します。次に印刷順序を設定します。［詳細設定］ボタンをクリックします。**

3. **「詳細設定」ダイアログで「レイアウト」の「印刷順序」で印刷する順序のアイコンを選択します。また、ページ枠を付けるのチェックボックスをオンにするとページ枠を付けて印刷ができます。「実線」と「コーナーカット」から選べます。**

•ページ枠を付けるチェックボックスをオンにすると「実線」または「コーナーカット」を指定できます。

「実線」　「コーナーカット」

3.13　ポスター印刷

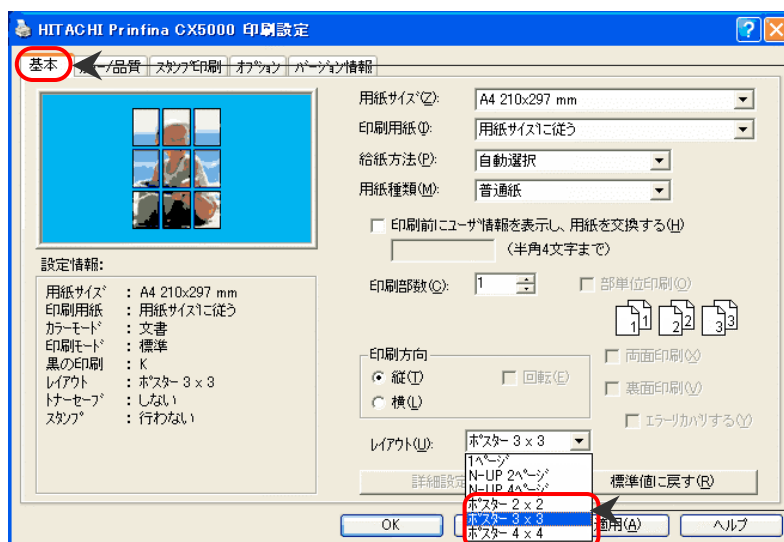
1 ページ分の原稿を拡大して 4 ページ、9 ページ、16 ページ分に拡大して印刷します。

● ポスターレイアウトのイメージ図

ポスター2×2

ポスター3×3

ポスター4×4

設定手順

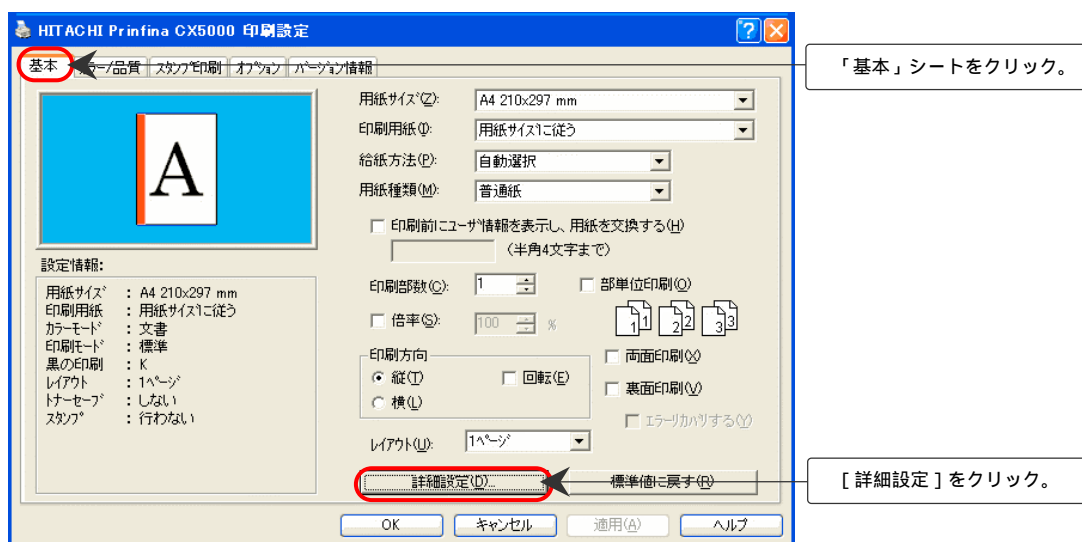
1. プリンタプロパティ(Windows 98/Me)、ドキュメントの既定値(Windows NT 4.0) またはプリンタの印刷設定(Windows 2000/XP/Server 2003)を開きます。

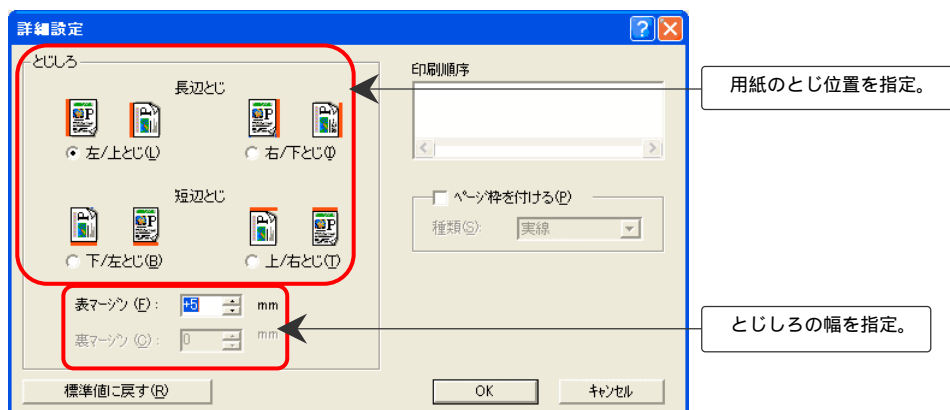
2. 「基本」シートで「レイアウト」のドロップダウンリストからポスターレイアウトを選択します。

3.14　とじしろを付けて印刷

用紙のどこにとじしろを付けるかを「とじ位置」で指定し、余白を「表マージン」で設定します。両面印刷を行う場合は、用紙の表面の余白を「表マージン」、裏面の余白を「裏マージン」で指定します。設定範囲は-60mm～+60mm で、1mm 刻みで設定できます。
「裏マージン」は両面印刷時の裏面に対するマージンの設定です。両面印刷のチェックボックスがオフのときは無効となります。

設定手順

1. **プリンタプロパティ**(Windows 98/Me)、**ドキュメントの既定値**(Windows NT 4.0) **またはプリンタの印刷設定**(Windows 2000/XP/Server 2003)**を開きます。**

2. **「基本」シートの［詳細設定］ボタンをクリックします。**

3. **とじしろで用紙のとじ位置を指定します。また、表マージン、裏マージンでとじしろの幅を設定します。**

メモ

•裏マージンは両面印刷を設定したときのみ有効となります。

•両面印刷でとじしろ「左/上とじ」、表マージン「50mm」、裏マージン「50mm」が設定されている場合、以下のようになります。

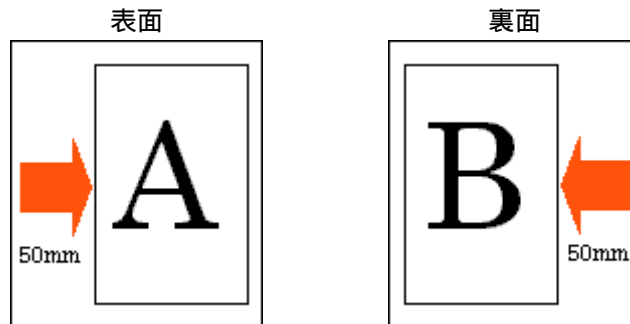
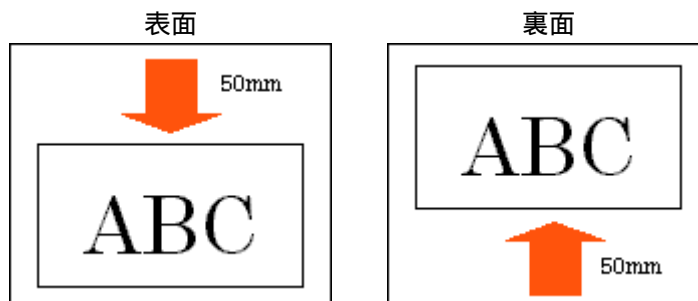
【左とじの場合】

表面

裏面

【上とじの場合】

表面

裏面

● アプリケーションの余白設定との関係

本機能はアプリケーションの余白とは無関係であり、とじ位置に対し印刷像をどれだけ移動するかを指定するものです。

例えば、MS-WORD で左余白 35mm、右余白 20mm のデータを表、裏マージン 0mm で両面印刷する場合、裏面のとじ位置に対する余白は 20mm となるため、表面の左余白 35mm と 15mm のずれが発生してしまいます。このような場合、裏マージンにずれ量 15mm を設定することで表面と裏面の像の位置を合わせることができます。

3.15　カラーモードの設定

印刷用途に応じたカラーモードを選択することで、目的にあったカラー設定での印刷をすることができます。

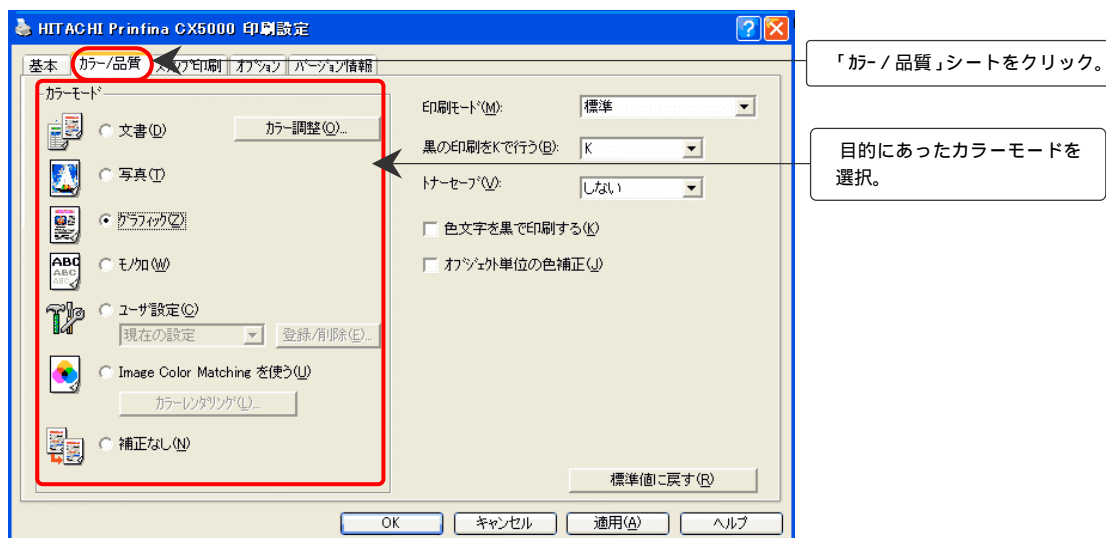
項目	説　明
文書	色付きの文字や線をくっきり印刷するカラーモードです。
写真	写真などのカラー画像をきれいに印刷するカラーモードです。
グラフィック	鮮やかな色合いで印刷するカラーモードです。
モノクロ	モノクロ印刷するカラーモードです。
ユーザ設定	ユーザがカラー設定したカラーモードです。ドロップダウンリストボックスから以下のカラーモードを選択します。 ● 現在の設定 ● ユーザが登録したカラー設定（ユーザ登録時）
Image Color Matching を使う *1	Windows のシステムの ICM を使用したカラー印刷が可能です。
補正なし	色の補正を必要としないときに選択します。

*1 : Windows NT 4.0 では「Image Color Matching を使う」は表示されません。

•文書、写真、グラフィック、モノクロは通常印刷時のおすすめのカラーモードです。

設定手順

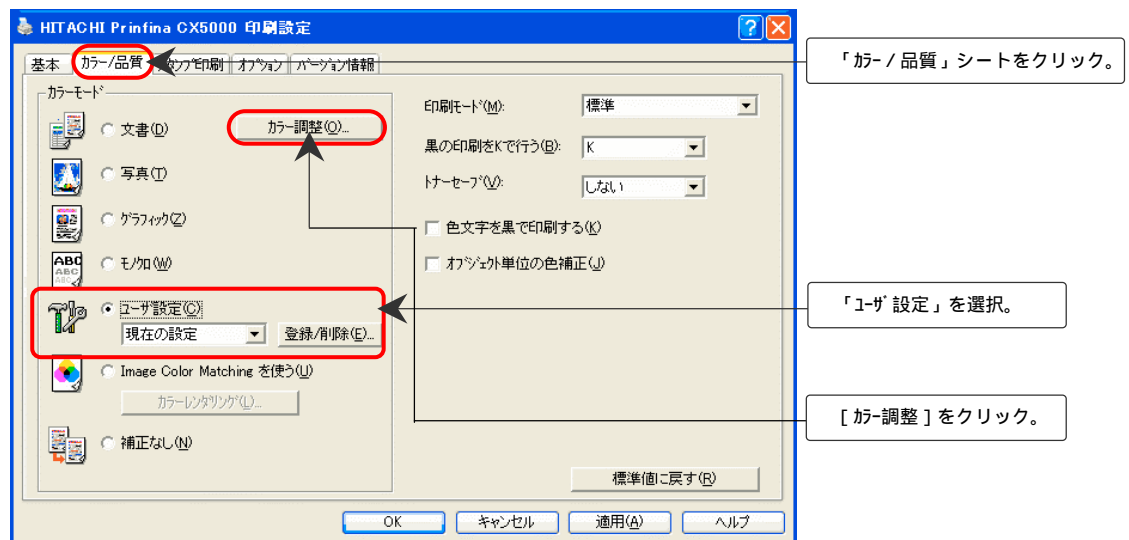
1. **プリンタプロパティ**(Windows 98/Me)、**ドキュメントの既定値**(Windows NT 4.0) **またはプリンタの印刷設定**(Windows 2000/XP/Server 2003)**を開きます。**

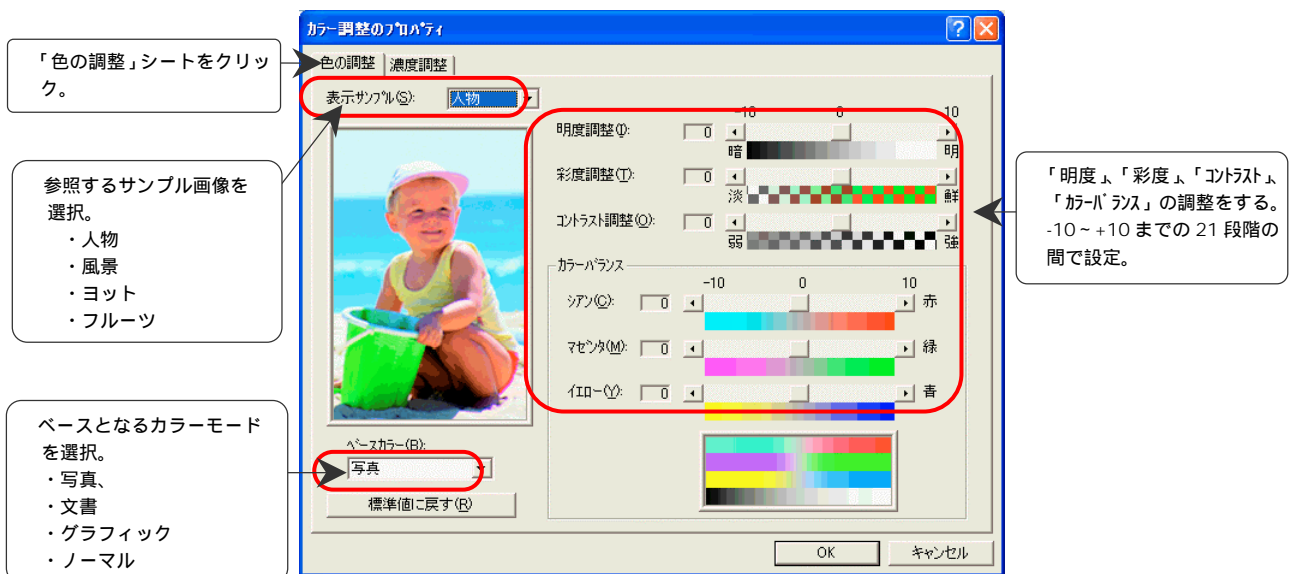
2. **「カラー／品質」シートの「カラーモード」で目的にあったカラーモードを選択します。**

3.16　カラーモードのユーザ設定・登録

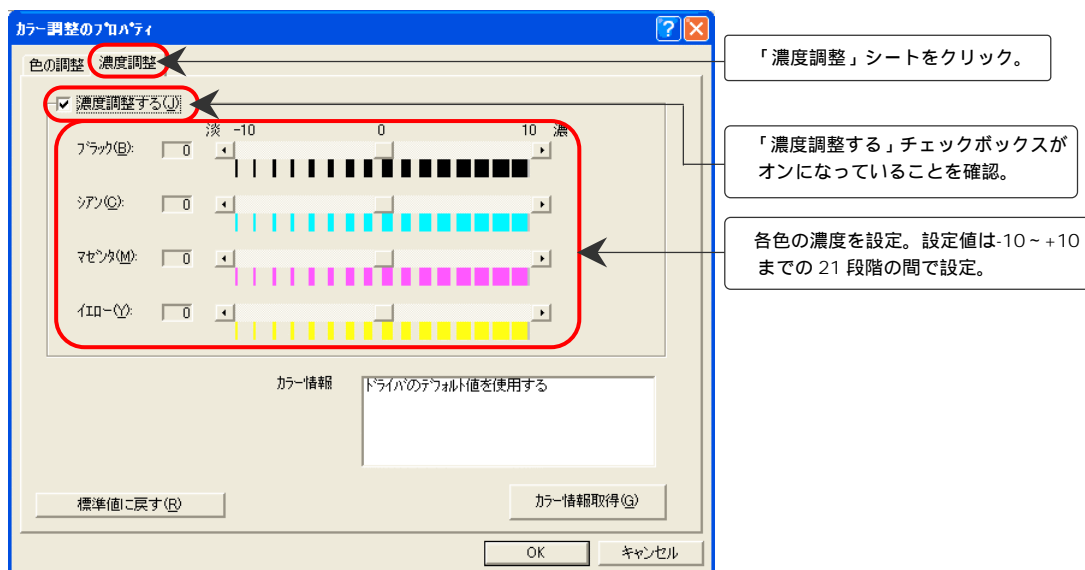
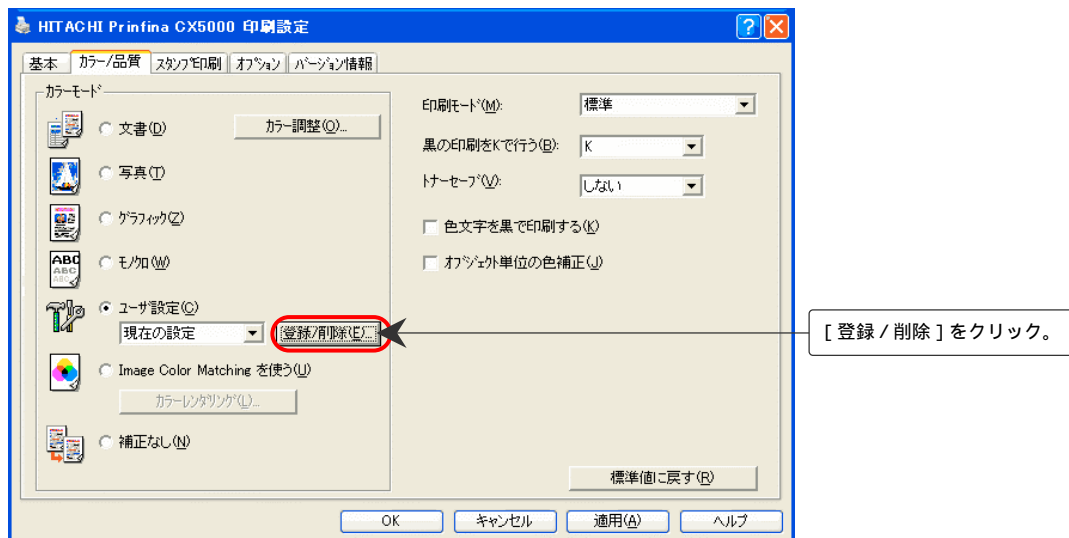
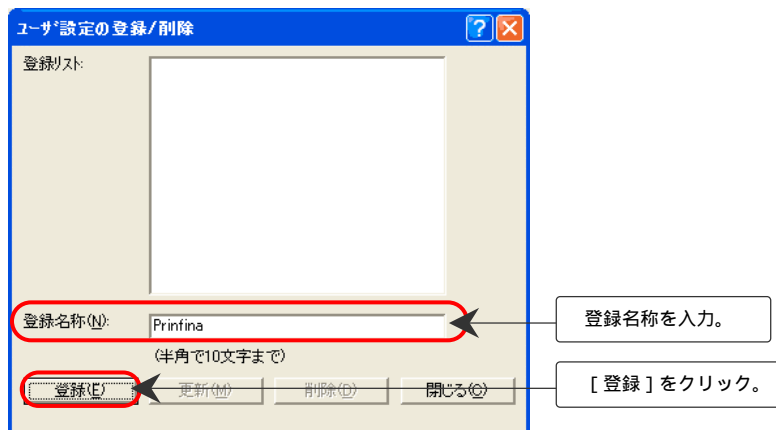
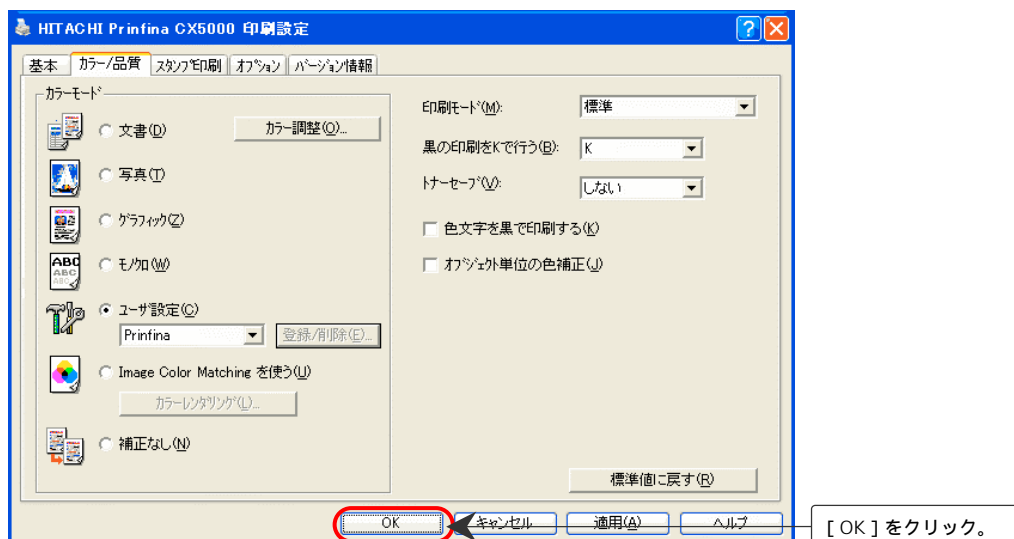
カラーモードをユーザが自由に色の調整を行い、登録することができます。カラー調整を行うことで目的にあった色合いで印刷することができます。ユーザが登録できる登録名称は半角 10 文字までの名称で、最大登録数は 10 個です。

設定手順

1. プリンタプロパティ(Windows 98/Me)、ドキュメントの既定値(Windows NT 4.0) またはプリンタの印刷設定(Windows 2000/XP/Server 2003)を開きます。

2. 「カラー／品質」シートのカラーモードの設定を「ユーザ設定」にして、[カラー調整] ボタンをクリックします。

3. カラー調整のプロパティが表示されますので、「色の調整」、「濃度調整」を行います。表示サンプルを見ながら明度、彩度、コントラスト、カラーバランスの調整を行います。

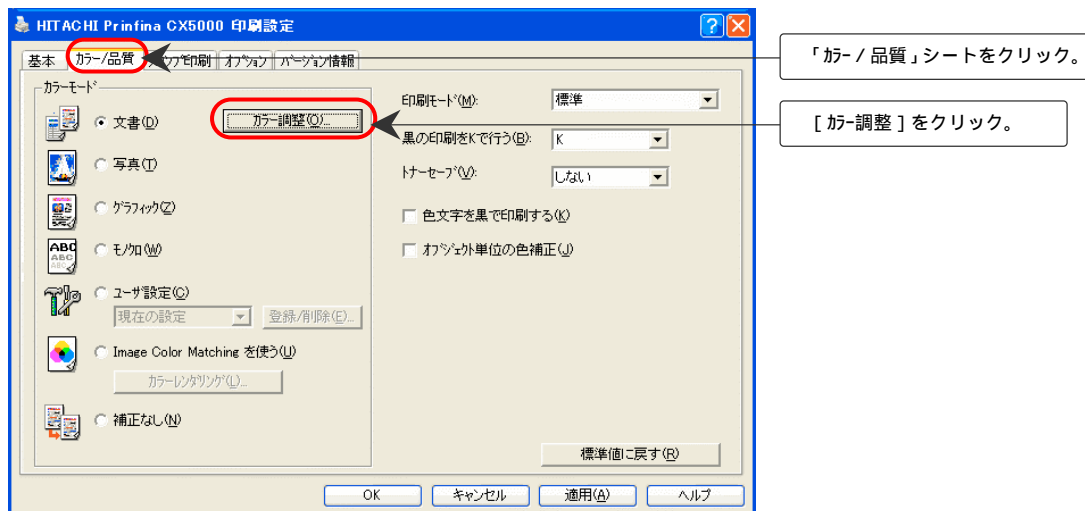
お願い

- Display が 256 色の場合、本シートの画質が劣ります。65536 色以上でご使用することをおすすめします。

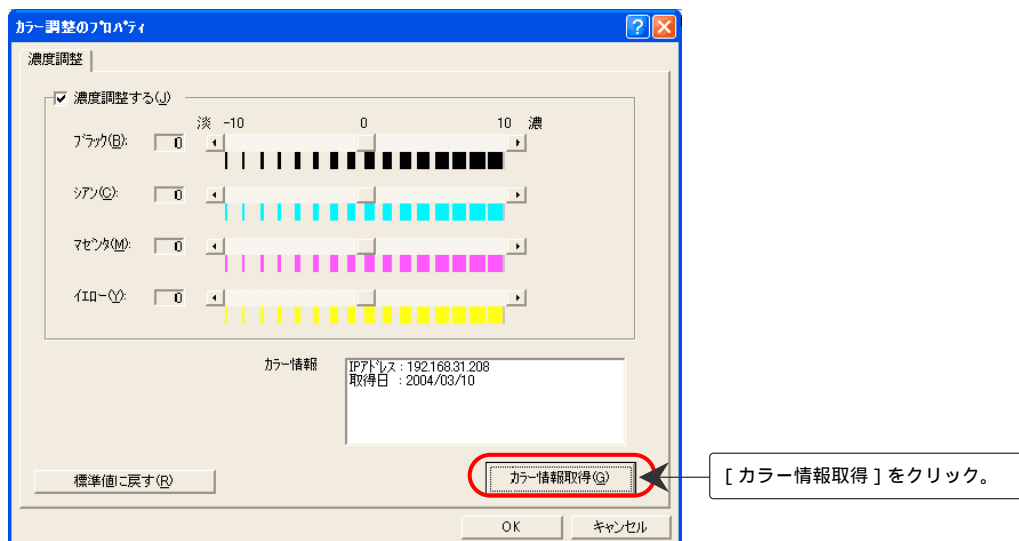
4．　濃度調整を行います。印刷時の色の濃さを各色毎に設定します。「濃度調整する」チェックボックスがオンになっていることを確認して、各色の濃度を設定します。設定後［OK］ボタンをクリックします。

5．　「カラー／品質」シートに戻りますので、［登録／削除］ボタンをクリックします。

6. 登録名称のテキストボックスに名称を入力します。半角で 10 文字まで入力可能です。入力後、［登録］ボタンをクリックします。

7. カラー／品質シートに戻ります。[OK］ボタンをクリックします。

3.17　プリンタの特性に合わせた色で印刷

現在のプリンタの状態を検出し、使用するプリンタに最適な色調整を行います。

設定手順

1. **プリンタプロパティ**(Windows 98/Me)、**ドキュメントの既定値**(Windows NT 4.0) **またはプリンタの印刷設定**(Windows 2000/XP/Server 2003)**を開きます。**

2. **「カラー／品質」シートで［カラー調整］ボタンをクリックします。**

3. **［カラー情報取得］ボタンをクリックしてください。プリンタに設定されているカラー情報を検出します。プリンタにカラー情報が設定されている場合、USB 接続の場合は検出したプリンタのポート名・取得日、LAN 接続の場合は IP アドレス・取得日が表示されます。［キャンセル］ボタンをクリックして画面を閉じます。**

メモ

- **印刷するポートを共有プリンタとして使用の場合は、カラー情報の取得ができません。**

お願い

- **プリンタのカラー情報が取得できない場合、プリンタにカラー情報が設定されていないことが考えられます。プリンタの管理者に問い合わせをして確認してください。**

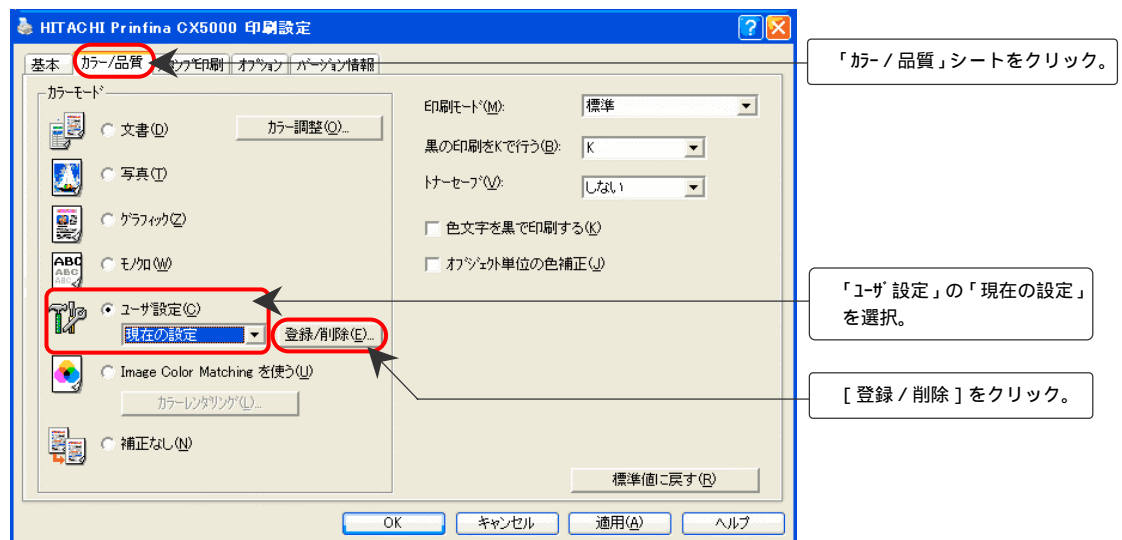
3.18　カラーモードのユーザ登録削除

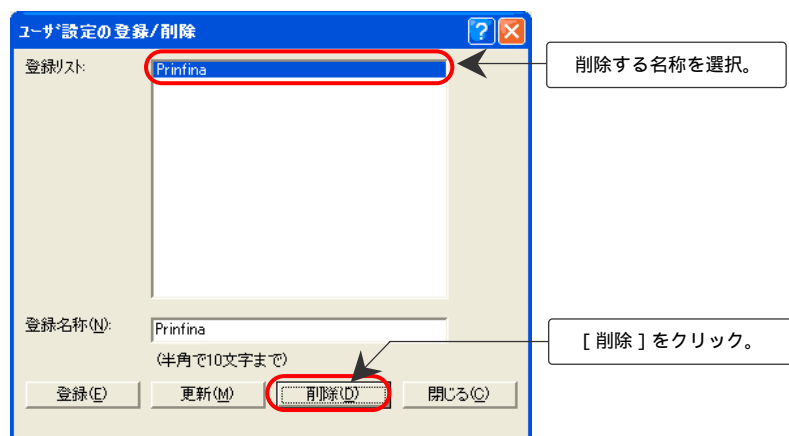
カラーモードでユーザ設定したユーザ登録を削除します。

設定手順

1. **プリンタプロパティ**(Windows 98/Me)、**ドキュメントの既定値**(Windows NT 4.0) **またはプリンタの印刷設定**(Windows 2000/XP/Server 2003)**を開きます。**

2. **「カラー／品質」の「カラーモード」から「ユーザ設定」で「現在の設定」を選択して、［登録/削除］ボタンをクリックします。**

メモ

- ［登録／削除］ボタンはカラーモードで「ユーザ設定」の「現在の設定」を選択しているときのみ有効となります。

3. **登録リストから削除する名称（ここでは「Prinfina」）を選択して、［削除］ボタンをクリックします。削除後、［閉じる］ボタンをクリックしてダイアログを閉じます。**

3.19　カラーレンダリング

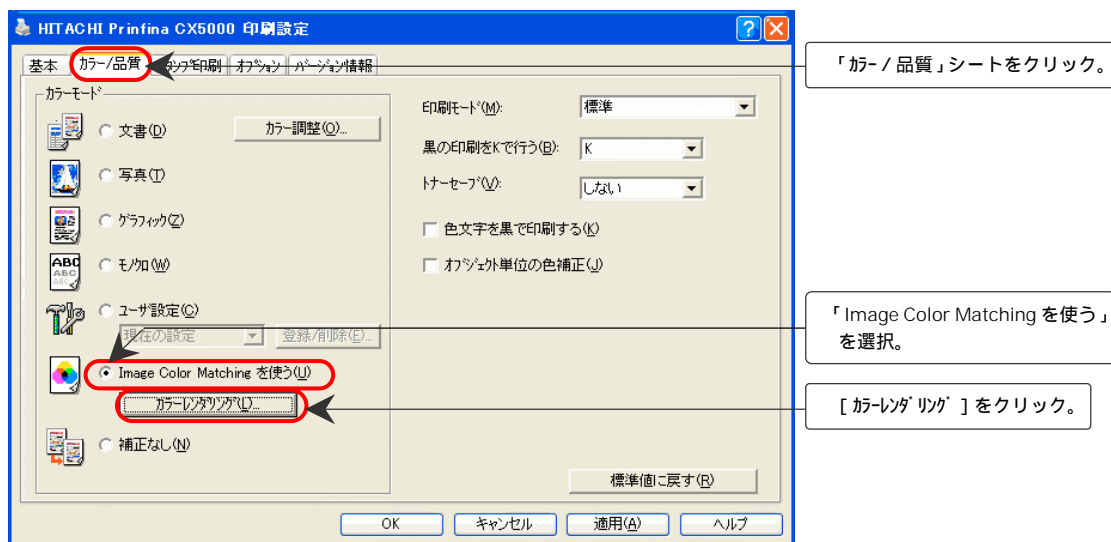
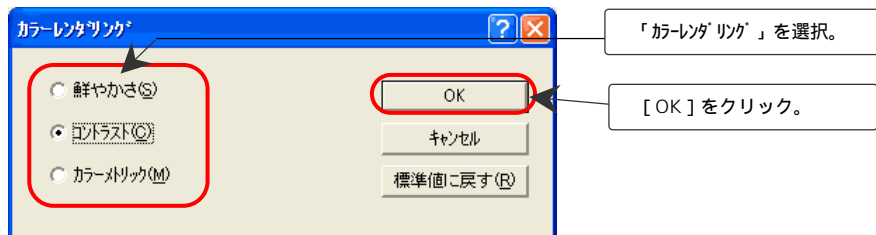
カラーレンダリングを選択します。「鮮やかさ」・「コントラスト」・「カラーメトリック」から選択します。

メモ

- **この機能は** Windows NT 4.0 **では未サポートです。**

設定手順

1. **プリンタプロパティ**(Windows 98/Me)**、またはプリンタの印刷設定**(Windows 2000/XP/Server 2003)**を開きます。**

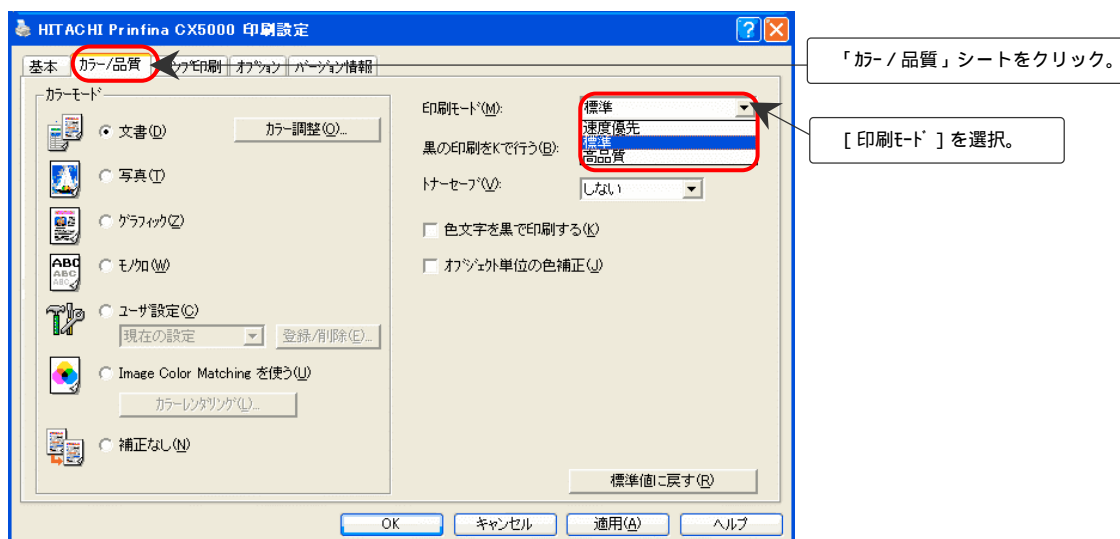
2. **「カラー／品質」の「カラーモード」で「**Image Color Matching **を使う」を選択して、［カラーレンダリング］ボタンをクリックします**

3. **カラーレンダリングを選択して、**［OK］**ボタンをクリックします。**

3.20　印刷モードの設定

印刷目的に合った印刷モードを選択します。「速度優先」・「標準」・「高品質」から選択します。

印刷モード	説　明
速度優先	印刷速度を優先して印刷する印刷モードです。
標準	通常時の印刷で使用する印刷モードです。
高品質	印刷品質を優先して印刷する印刷モードです。

設定手順

1. プリンタプロパティ(Windows 98/Me)、ドキュメントの既定値(Windows NT 4.0) またはプリンタの印刷設定(Windows 2000/XP/Server 2003)を開きます。

2. 「カラー／品質」シートで［印刷モード］を選択します。

3.21　黒の印刷をＫで行う

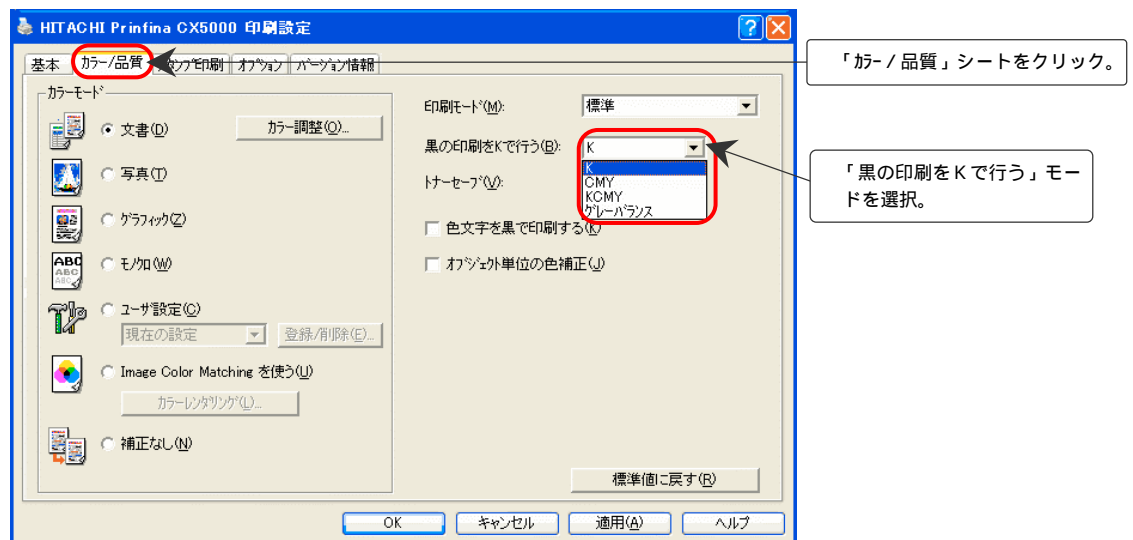
黒の表現を指定することができます。印刷用途に合わせて選択してください。デフォルトは「K」に設定されています。

モード	説　　明
K	黒色を単色で印刷するモードです。
CMY	黒色を重ね合わせ（シアン、マゼンタ、イエローの３色）で印刷するモードです。
KCMY	モードは「K」とほぼ同じですが、黒の表現をなめらかに実現したモードです。
グレーバランス	印刷データのカラー要素（RGB）の指定がグレー（R=G=B）の場合、忠実な色の再現を行うモードです。

- 「黒の印刷＝CMY」で黒色を 3 色で表現した場合、黒色の面積が多い大きな画像を印刷すると、トナーがはがれる場合あります。このようなときは「黒の印刷をＫで行う＝K」または「黒の印刷を K で行う＝KCMY」を選択してください。

設定手順

1. プリンタプロパティ(Windows 98/Me)、ドキュメントの既定値(Windows NT 4.0) またはプリンタの印刷設定(Windows 2000/XP/Server 2003)を開きます。

2. 「カラー／品質」シートで「黒の印刷をＫで行う」モードをドロップダウンリストから選択します。

3.22　トナーセーブ印刷

印刷時に使用するトナー量を低減させて印刷することができます。但し、印刷結果が薄くなります。
設定できるモードは以下の通りです。

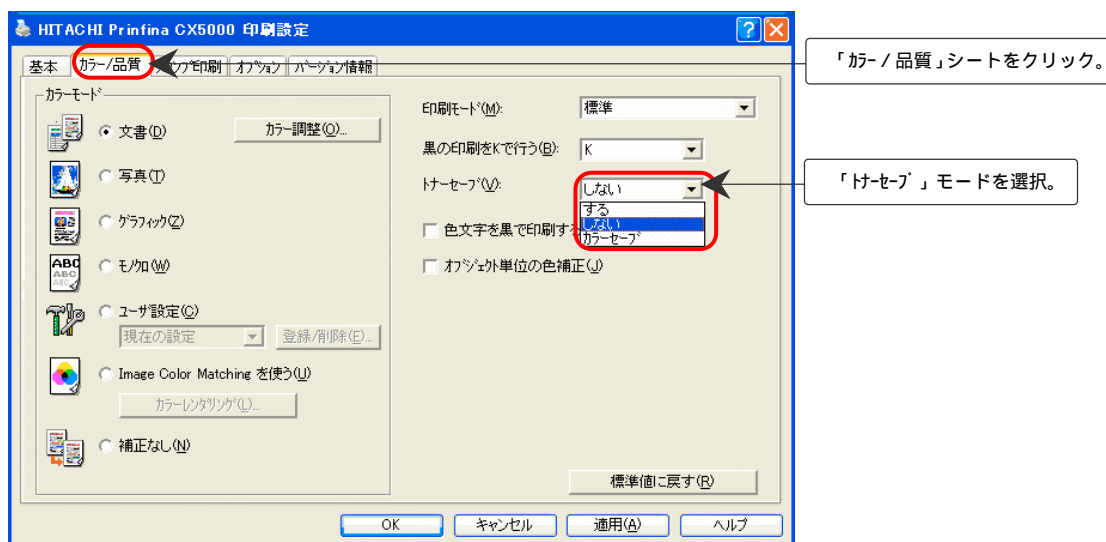
モード	説　　明
しない	トナー量は低減させずに印刷するモードです。
する	トナー量を低減させて印刷するモードです。
カラーセーブ	カラートナーの量を低減させて印刷するモードです。ブラックトナーについては低減しません。カラーの印刷のみ薄くなります。

メモ

•カラーモードで「モノクロが選択」されている場合、「カラーセーブ」は設定できません。

設定手順

1. プリンタプロパティ(Windows 98/Me)、ドキュメントの既定値(Windows NT 4.0) またはプリンタの印刷設定(Windows 2000/XP/Server 2003)を開きます。

2. 「カラー／品質」シートで「トナーセーブ」のドロップダウンリストからモードを選択します。

3.23　色文字を黒で印刷する

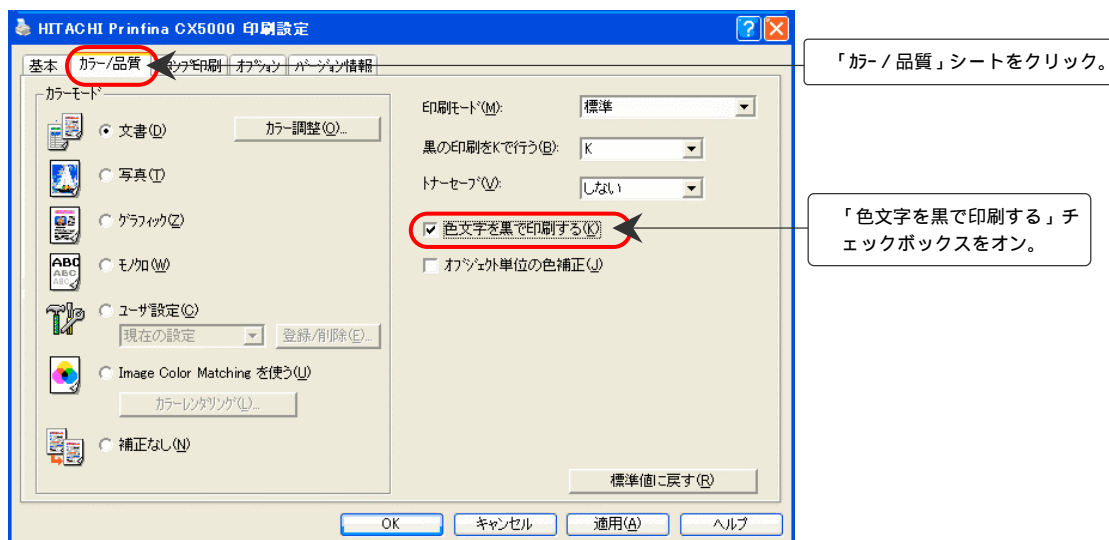
色文字をベタ黒で印刷を行います。

メモ

- 本機能のチェックボックスをオンにして黒地に白抜き文字の印刷を行うと白抜きの文字も黒く印刷されます。また、アプリケーションの動作や色の配色により印刷結果が不正になることがあります。その場合はチェックボックスをオフにして印刷してください。
- アプリケーションによっては色文字を画像として処理する場合があります。そのような場合は本設定が無効とならないことがあります。

設定手順

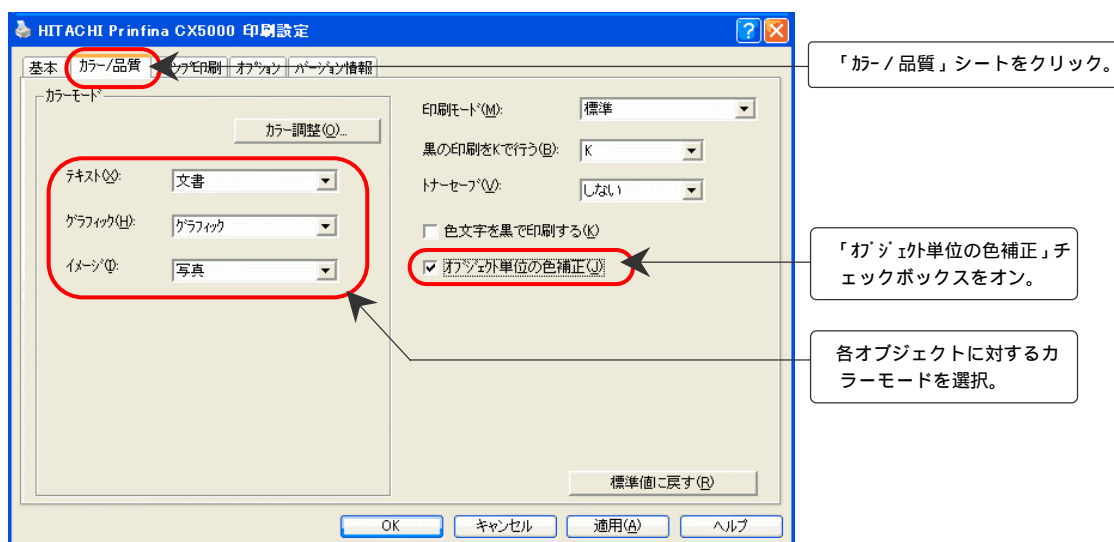
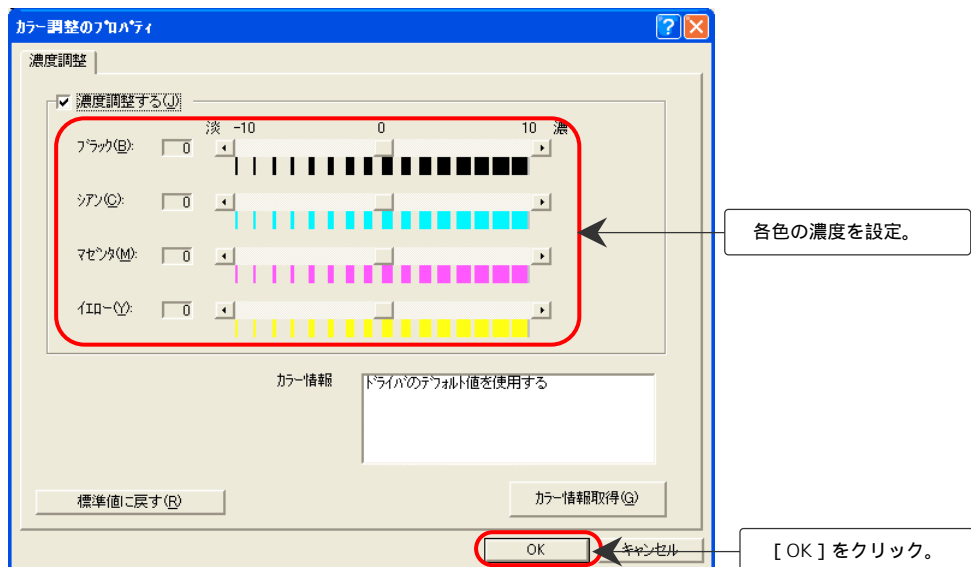
1. **プリンタプロパティ**(Windows 98/Me)、**ドキュメントの既定値**(Windows NT 4.0) **またはプリンタの印刷設定**(Windows 2000/XP/Server 2003)**を開きます。**

2. **「カラー／品質」シートで「色文字を黒で印刷する」チェックボックスをオンにします。**

3.24　オブジェクト単位の色補正

テキスト、グラフィック、イメージ単位で色補正を設定します。

設定手順

1. プリンタプロパティ(Windows 98/Me)、ドキュメントの既定値(Windows NT 4.0) またはプリンタの印刷設定(Windows 2000/XP/Server 2003)を開きます。

2. 「カラー／品質」シートの「オブジェクト単位の色補正」チェックボックスをオンにします。チェックボックスがオンの時、選択可能なカラーモードは「テキスト」、「グラフィック」、「イメージ」です。各オブジェクトに対するカラーモードをドロップダウンリストから選択します。

3. ［カラー調整］ボタンを押すと「濃度調整」シートが表示されます。「濃度調整する」チェックボックスがオンになっていることを確認して、濃度調整をします。設定値は-10～+10 までの 21 段階の間で設定します。設定後［OK］ボタンをクリックします。

3.25　スタンプ印刷

印刷データにスタンプを重ね合わせて印刷ができます。選択できるスタンプは以下のとおりです。

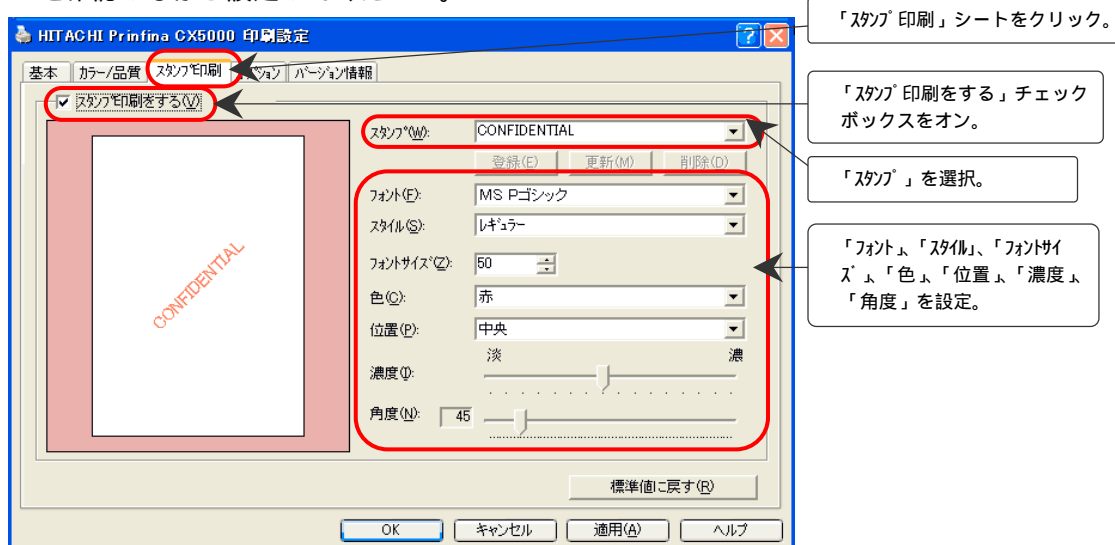
- CONFIDENTIAL
- DO NOT COPY
- （秘）
- 社外秘
- コピー禁止
- 見本
- ユーザ登録されたスタンプ（ユーザ登録時）

また、スタンプの「フォント」・「スタイル」・「フォントサイズ」・「色」・「位置」・「濃度」・「角度」を指定することができます。

項　目	説　明
フォント	表示されているフォントはコンピュータに登録されている Windows フォントです。
スタイル	レギュラー、ボールド、イタリック、ボールドイタリックから選択します。
色	黒、赤、緑、青、シアン、マゼンタ、イエロー、白から選択します。
位置	中央、上端左、上端中央、上端右、下端左、下端中央、下端右から選択します。
濃度	設定可能な範囲は 16 段階です。
角度	設定可能な角度は 0～355°までで、5°単位に設定できます。
標準値に戻す	「スタンプ印刷」プロパティの各項目の設定値を初期値に設定します。

設定手順

1. プリンタプロパティ(Windows 98/Me)、ドキュメントの既定値(Windows NT 4.0) またはプリンタの印刷設定(Windows 2000/XP/Server 2003)を開きます。

2. 「スタンプ印刷」シートの「スタンプ印刷をする」チェックボックスをオンにして、印刷するスタンプを選択します。この時、必要に応じて「フォント」、「スタイル」、「フォントサイズ」、「色」、「位置」、「濃度」、「角度」を設定します。画面左側のプレビューを確認しながら設定してください。

3.26　スタンプの登録

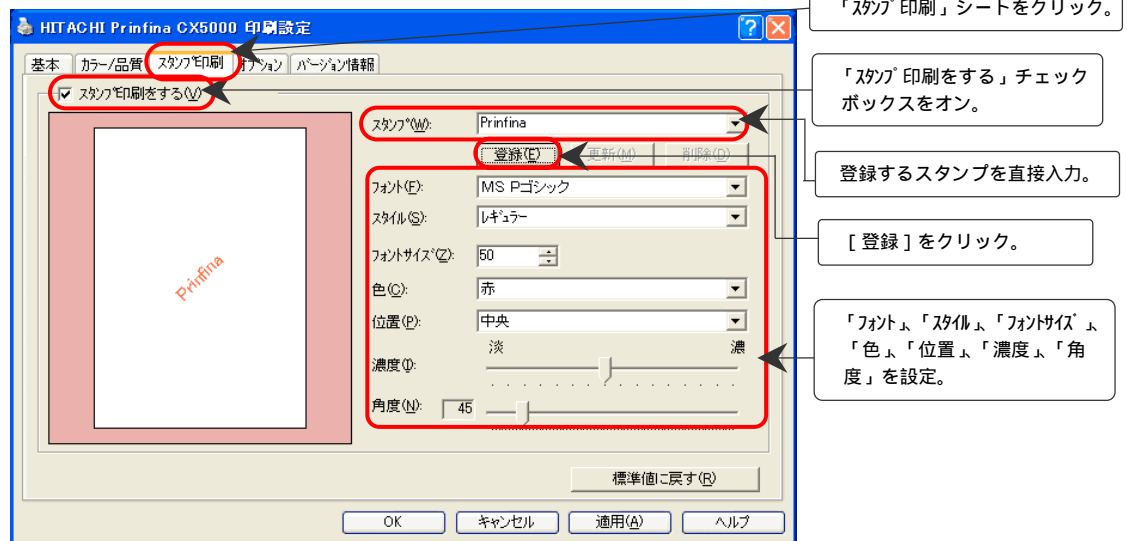
ユーザ独自のスタンプを登録します。
入力できる文字列は半角、全角をとわず 16 文字まで入力が可能です。
スタンプは最大 10 個まで登録できます。

設定手順

1. **プリンタプロパティ**(Windows 98/Me)、**ドキュメントの既定値**(Windows NT 4.0) **またはプリンタの印刷設定**(Windows 2000/XP/Server 2003)**を開きます。**

2. **「スタンプ印刷」シートで「スタンプ印刷をする」チェックボックスをオンにします。**

3. **「スタンプ」のドロップダウンリストに登録したい文字列を直接入力して、［登録］ボタンをクリックします。**

4. **フォント、スタイル、フォントサイズ、色、位置、濃度、角度を設定します。画面左側のプレビューを確認しながら設定ができます。設定後、［登録］または［更新］ボタンをクリックします。**

お願い

- **ユーザ登録するスタンプでスタイル、フォントサイズ、色、位置、濃度、角度を変更する場合、まず、スタンプを登録してから各設定を変更してください。**

3.27　区切りページを出力する

印刷ジョブ毎に区切りページ用の用紙を指定した給紙部から出力します。また、区切りページを印刷ジョブのどこで出力するかを指定します。

項　　目	内　　容
区切りページの給紙部	カセット 1
	カセット 2
区切りページの場所	ジョブの前
	ジョブの後
	ジョブの前後

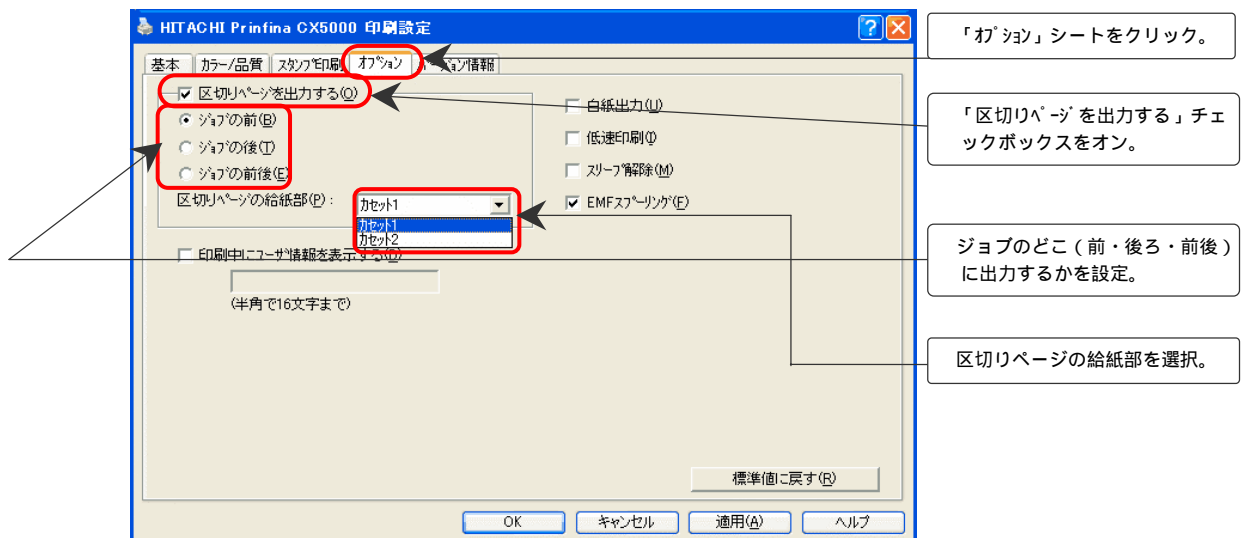
お願い

- **区切りページ用の用紙は「区切りページの給紙部」で選択しているカセットに予めセットしておいてください。**
- **ユーザ定義サイズでの区切りページはご使用しないでください。**

設定手順

1. **プリンタプロパティ**(Windows 98/Me)、**ドキュメントの既定値**(Windows NT 4.0) **またはプリンタの印刷設定**(Windows 2000/XP/Server 2003)**を開きます。**

2. **「オプション」シートで「区切りページを出力する」チェックボックスをオンにします。**

3. **区切りページを出力する場所や区切りページの給紙部を指定します。**

3.28　印刷中にユーザ情報を表示する

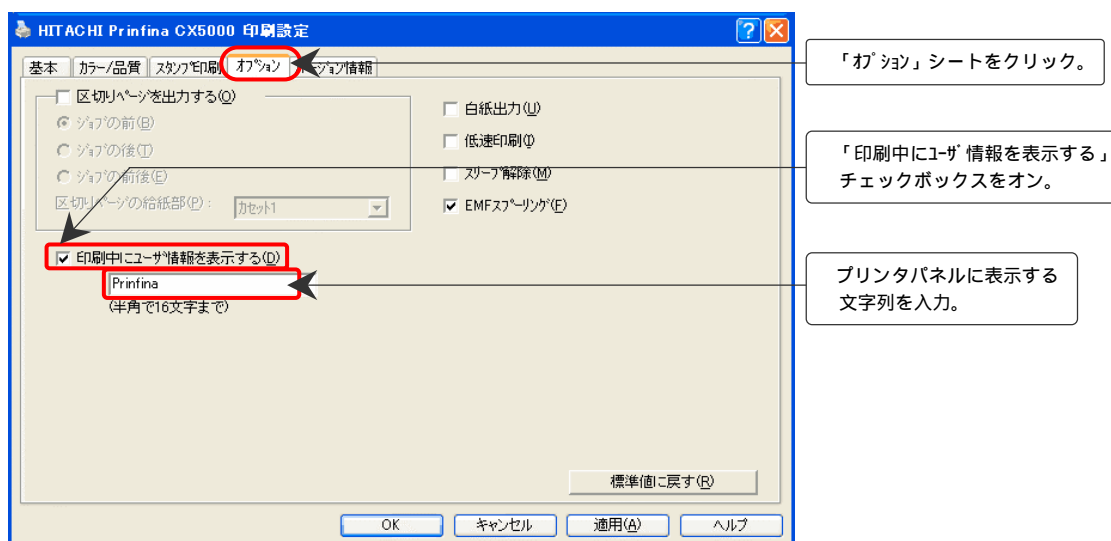
印刷中にユーザ情報をプリンタパネルに表示することができます。現在、印刷中のデータがどのユーザからの印刷であるか知ることができます。
表示できる文字列は半角で 16 **文字までの範囲です。以下に表示可能な文字列を示します。**

<table>
<tr><th>文字種</th><th>文字列</th></tr>
<tr><td>数字</td><td>0～9</td></tr>
<tr><td>英大文字</td><td>A～Z</td></tr>
<tr><td>英小文字</td><td>a～z</td></tr>
<tr><td>記号</td><td>! " # $ % & ' ( ) * + - . / : ; < = > ? @ [¥] ^ _ ` { | } ｡ ｢ ｣ ､ ･ ｰ ﾞ ﾟ</td></tr>
<tr><td>カタカナ</td><td>ｱ～ﾝ　ｧ ｨ ｩ ｪ ｫ ｬ ｭ ｮ ｯ</td></tr>
</table>

設定手順

1. **プリンタプロパティ**(Windows 98/Me)、**ドキュメントの既定値**(Windows NT 4.0) **またはプリンタの印刷設定**(Windows 2000/XP/Server 2003)**を開きます。**

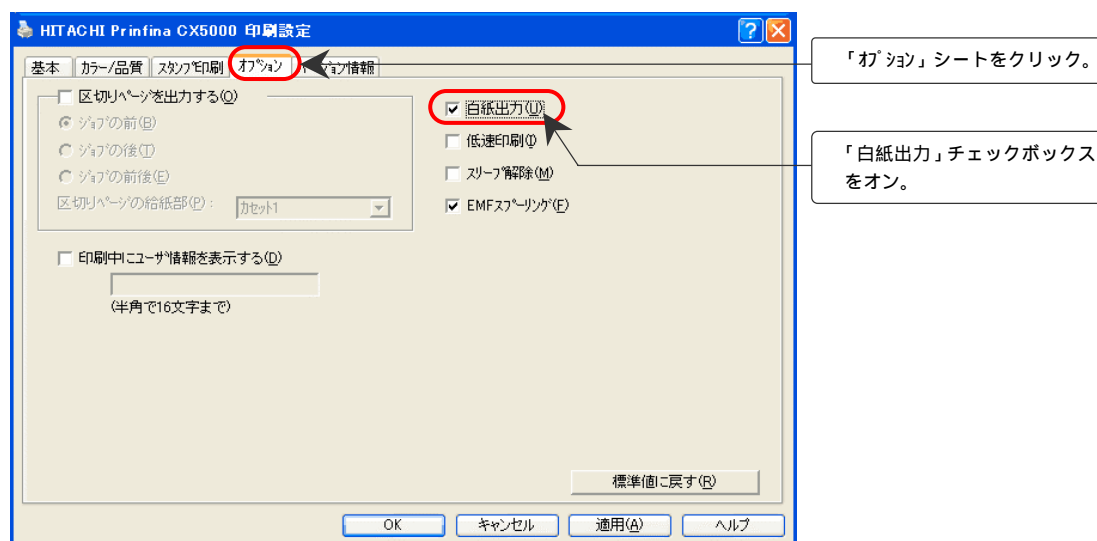
2. **「オプション」シートの「印刷中にユーザ情報を表示する」チェックボックスをオンにします。**

3. **エディットボックスにプリンタパネルに表示する文字列を入力します。**

3.29　白紙出力

白紙であるページを印刷するかしないかを設定します。白紙とはスペースや白データを含まない改ページや改行だけのデータを指します。

設定手順

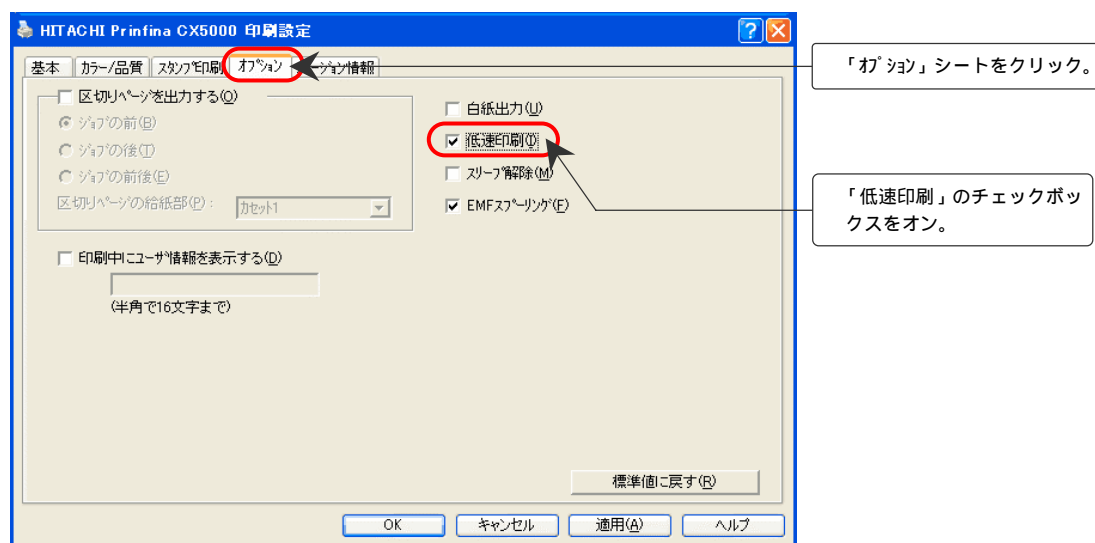
1. **プリンタプロパティ**(Windows 98/Me)、**ドキュメントの既定値**(Windows NT 4.0) **またはプリンタの印刷設定**(Windows 2000/XP/Server 2003)**を開きます。**

2. **「オプション」シートの印刷オプションで「白紙出力」チェックボックスをオンにします。**

3.30　低速印刷

印刷の速度を緩めて印刷します。本設定を指定することで、連続印刷時の印刷むらを低減できる場合があります。

設定手順

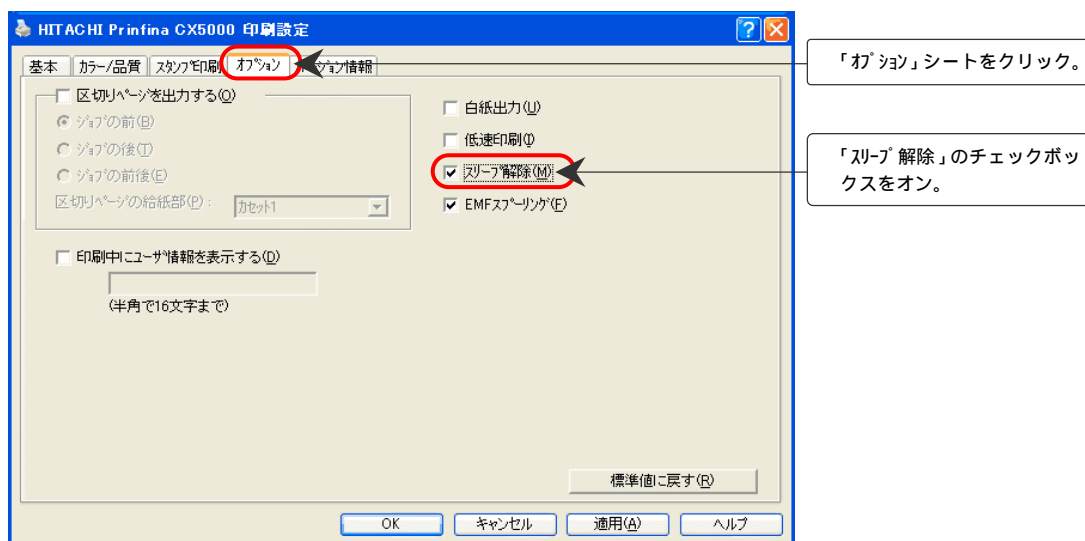
1. **プリンタプロパティ**(Windows 98/Me)**、ドキュメントの既定値**(Windows NT 4.0) **またはプリンタの印刷設定**(Windows 2000/XP/Server 2003)**を開きます。**

2. **「オプション」シートの印刷オプションで「低速印刷」チェックボックスをオンにします。**

3.31　スリープ解除設定

この設定は、印刷データに先立ちウォーミングアップ用のデータを送出します。プリンタがスリープ状態になっているときには即座にウォーミングアップを開始することができます。

設定手順

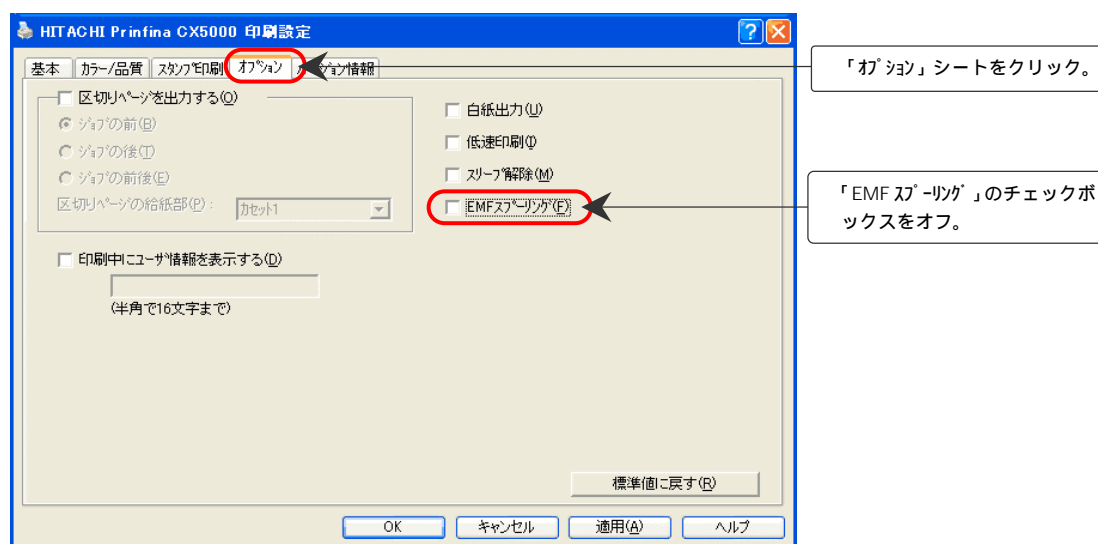
1. **プリンタプロパティ**(Windows 98/Me)、**ドキュメントの既定値**(Windows NT 4.0) **またはプリンタの印刷設定**(Windows 2000/XP/Server 2003)**を開きます。**

2. **「オプション」シートで「スリープ解除」チェックボックスをオンにします。**

3.32　EMF スプーリング設定

EMF 形式はサイズが小さくプリンタの種類に依存しない形式なので、プログラムが印刷処理から解放されるまでの時間が短くなります。
この設定はデフォルトで「オン」に設定されています。以下に設定「オフ」にする方法を示します。

設定手順

1. プリンタプロパティ(Windows 98/Me)、ドキュメントの既定値(Windows NT 4.0) またはプリンタの印刷設定(Windows 2000/XP/Server 2003)を開きます。

2. 「オプション」シートのその他で「EMF スプーリング」チェックボックスをオフにします。

3.33　最新のプリンタドライバをダウンロードする

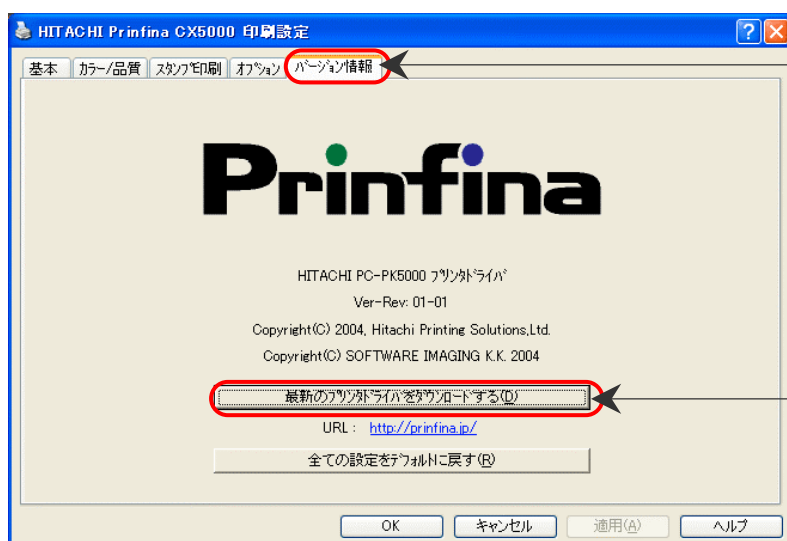
現在使用しているプリンタドライバと Web 上の最新版プリンタドライバのバージョン情報をチェックし、最新のプリンタドライバをダウンロードすることができます。

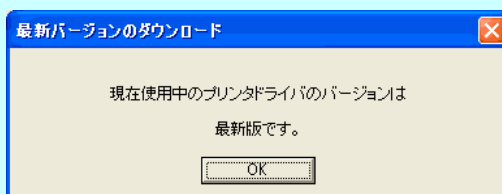
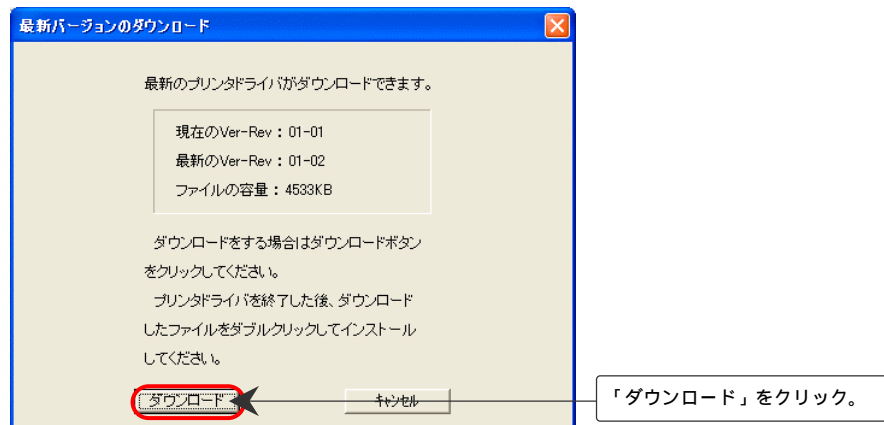
お願い

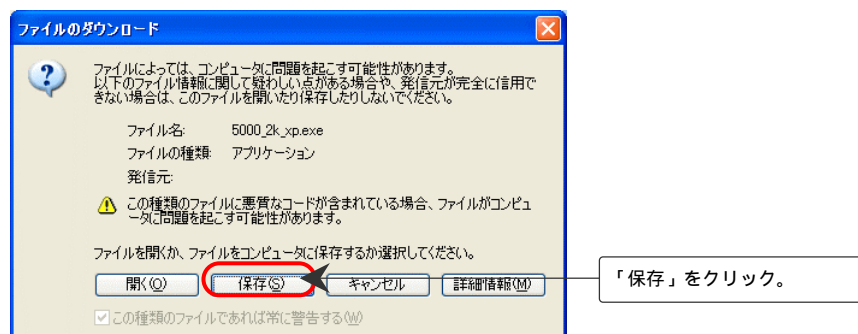
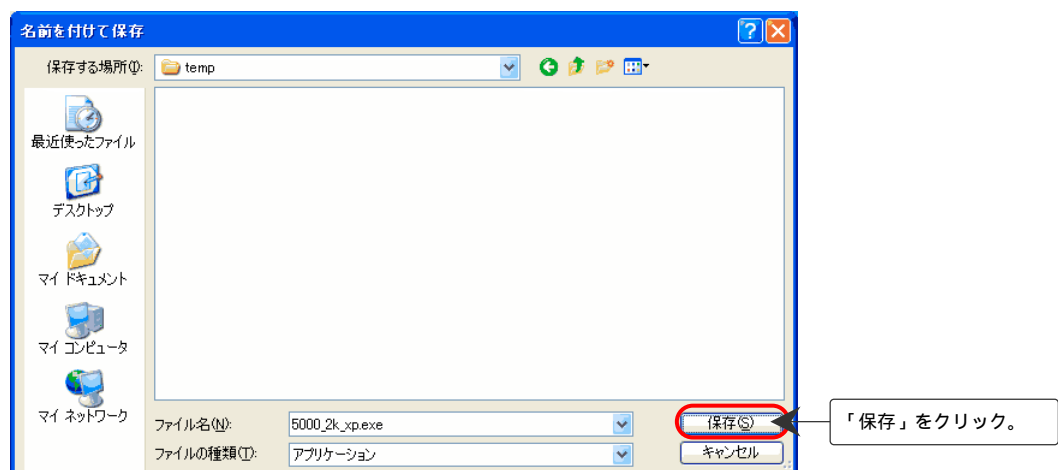
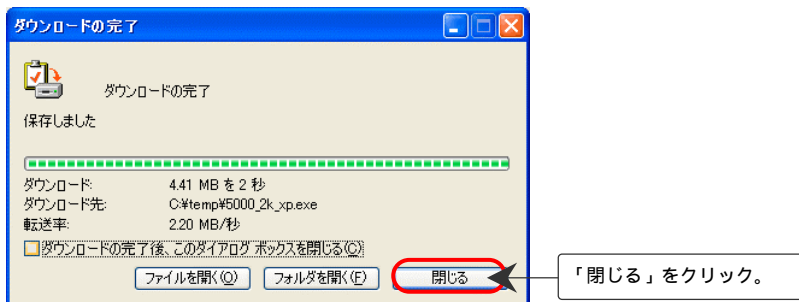
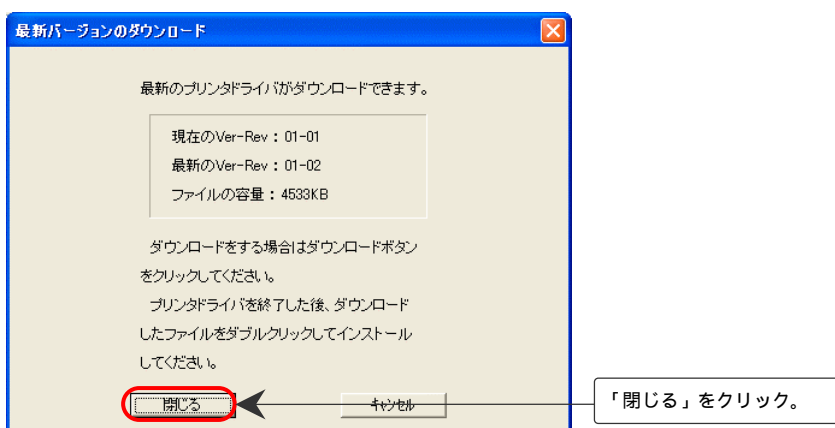
- **本機能を使用するには、コンピュータがインターネットに接続されている状態で、Internet Explorer 3.02 以降がインストールされていることが条件です。**
- **インターネットの接続がプロキシサーバ接続の場合、ユーザ名とパスワードが必要な環境ではプリンタプロパティからのダウンロードができない場合があります。その場合は、日立プリンタのホームページ（http://www.hitachi.co.jp/printer/）より最新プリンタドライバをダウンロードしてご使用ください。**

設定手順

1. **プリンタプロパティ**(Windows 98/Me)、**ドキュメントの既定値**(Windows NT 4.0) **または プリンタの印刷設定**(Windows 2000/XP/Server 2003)**を開きます。**

2. **「バージョン情報」シートの［最新のプリンタドライバをダウンロードする(D)］ボタンをクリックします。**

メモ

- **インストールしているドライバと Web からダウンロードしようとしているドライバのバージョンが同じ場合、以下のメッセージが表示されます。**

3. 現在のプリンタドライバのバージョンと最新のバージョンが表示されます。[ダウンロード］ボタンをクリックします。

- ダウンロードボタンをクリック後、ダウンロード画面になるまで少し時間がかかる場合があります。
- ダウンロードボタンはクリック後、［閉じる］となります。始めから行う場合は一旦［閉じる］で終了したのちバージョン情報のシートで再度［最新プリンタドライバのダウンロードを行う］をクリックしてください。

4. ファイルのダウンロード画面が表示されます。[保存］をクリックします。

5. ダウンロードするファイルの保存場所を指定し、[保存］ボタンをクリックします。ファイルのダウンロードが始まります。

6. ダウンロードの完了画面が表示されたら、[閉じる] ボタンをクリックします。

7. 最新バージョンのダウンロード画面にもどりますので、「閉じる」ボタンをクリックして、画面を閉じます。

8. プロパティ画面に戻ります。[キャンセル] ボタンをクリックして、画面を閉じてください。

9. 最新のプリンタドライバにバージョンアップするには、ダウンロードしたファイルを実行するとインストーラが起動します。以降インストーラの指示に従って操作を行ってください。操作方法は「第２章 インストール」の「2.オートスタートアップ機能によるインストール」を参照ください。

3.34　全ての設定をデフォルトに戻す

プリンタドライバの各種設定を全てデフォルト（初期設定）状態に戻すことができます。

設定手順

1. **プリンタプロパティ**(Windows 98/Me)、**ドキュメントの既定値**(Windows NT 4.0) **またはプリンタの印刷設定**(Windows 2000/XP/Server 2003)**を開きます。**

2. **「バージョン情報」シートの［全ての設定をデフォルトに戻す］ボタンをクリックします。**

メモ

• **デフォルトとは付録１「製品出荷時の設定値」で示す値、および本プリンタドライバをインストールした時のデフォルト値を意味します。**

第５章　削除

日立ソフトウェアセットアップの CD-ROM **を** CD-ROM **ドライブへセットすると自動的にソフトウェアセットアップ画面を表示します。メニューに従いドライバを削除してください。**

お願い

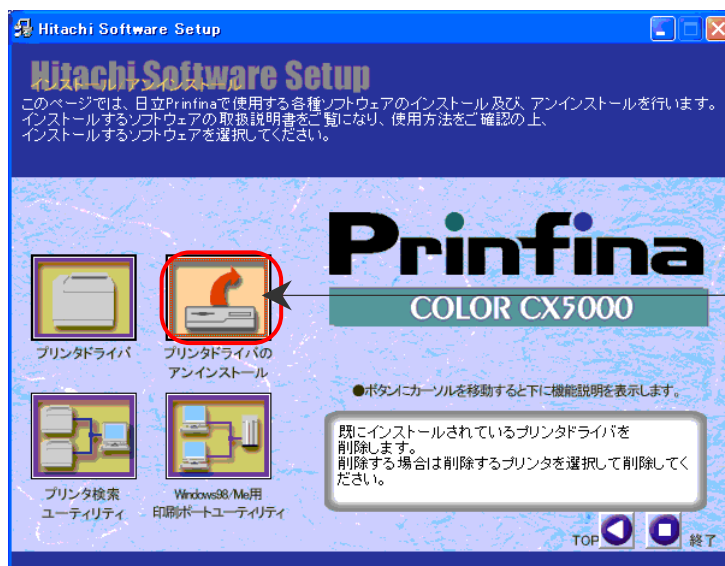
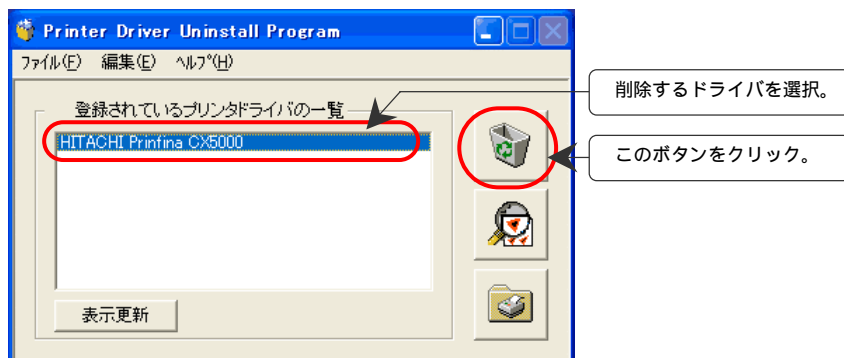
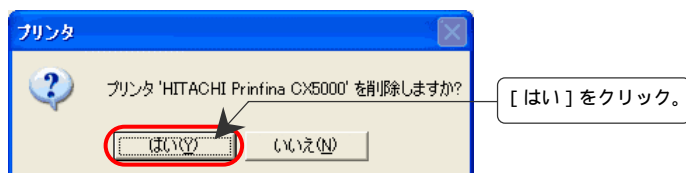
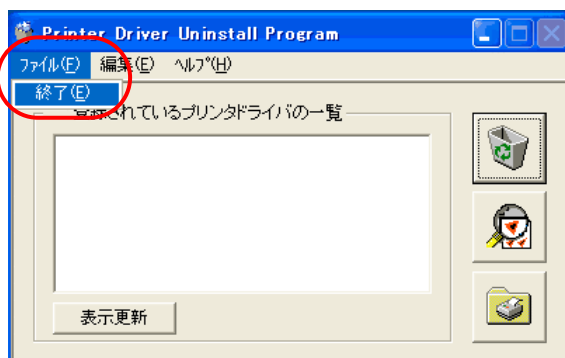
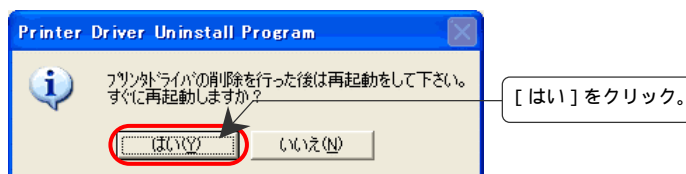
•Windows NT 4.0、Windows 2000 、Windows XP **または** Windows Server 2003 **でプリンタドライバの削除を行うためには、アドミニストレータの権限が必要です。**

設定手順

1. **日立ソフトウェアセットアップの** CD-ROM **を** CD-ROM **ドライブへセットすると、以下の画面を表示します。［インストール／アンインストール］ボタンをクリックします。**

お願い

•**自動的に** CD-ROM **メニューが表示されない場合は、**CD-ROM **内のルートディレクトリにある「**Autorun.exe**」をダブルクリックして** CD-ROM **メニューを起動させてください。**

2. **［プリンタドライバアンインストール］ボタンをクリックします。**

3. 「登録されているプリンタドライバの一覧」から「HITACHI Prinfina CX5000」を選択し、ゴミ箱のアイコンボタンをクリックします。

4. プリンタ削除の確認メッセージが表示されますので、[はい(Y)] ボタンをクリックします。

5. 指定したプリンタドライバが一覧から削除されたことを確認し、「ファイル(F)」－「終了(E)」を選択し、画面を閉じます。

6. 再起動をするメッセージが表示されます。[はい] ボタンをクリックして、システムを再起動してください。

第６章　注意事項

(1) 各種印刷指定時の優先順位

アプリケーション、プリンタドライバ、プリンタパネルでそれぞれ設定できる項目の基本的な優先順位は、次の通りです。

アプリケーションの設定＞プリンタドライバの設定＞プリンタパネルの設定

(2) 印刷性能

モノクロデータの印刷が遅いと感じられた場合は、本プリンタドライバの設定をモノクロに指定することにより、より高速な印刷が行えます。

(3) Excel での印刷時の設定

Excel で印刷を行う際のプリンタドライバの設定は、必ずシート毎に［ページ設定］の［オプション］で設定してください。ここ以外で設定した場合は、印刷結果に反映されないことがあります。

(4) 用紙サイズの設定

アプリケーションの用紙サイズの設定とプリンタドライバの用紙サイズの設定があっていない場合、期待した印刷結果とならない場合があります。その場合はアプリケーションの印刷からのプリンタプロパティの用紙サイズをアプリケーションの用紙サイズに合わせてから印刷してください。

(5) 印刷部数

アプリケーションによって、プリンタドライバで設定した印刷部数で印刷できない事があります。その場合にはアプリケーションで印刷部数を設定してください。両面印刷、２ページ／４ページのレイアウト印刷で、奇数ページのデータを複数部指定する場合、アプリケーションの部単位指定をはずしてください。

(6) 網掛けデータ印刷

本プリンタドライバでは、薄い色の網掛けデータの色が印刷されない事があります。この場合には、網掛けの色を濃くしたり、網掛けパターンを変更する等データを変更してください。

(7) ユーザ定義サイズの印刷方向

印刷方向を横してユーザ定義サイズを使用する場合、印刷結果が切れる場合があります。ユーザ定義サイズを使用する場合は印刷方向を縦にしてご使用ください。

(8) **ユーザ定義サイズの余白について**

ユーザ定義サイズをご使用の場合、アプリケーションによっては余分な余白をつけてくる場合があり、若干印刷位置がずれる場合があります。その場合、アプリケーションの余白の設定や印刷領域を変更してご使用ください。

(9) MS MS-Word **の縮小印刷**

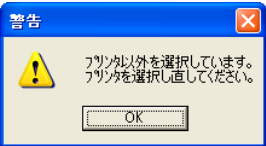
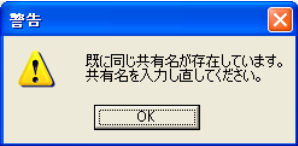
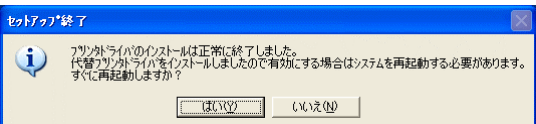
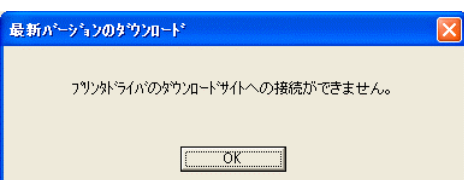
MS-Word **をご使用して縮小・２ページ／４ページを行う場合、縮小がかからない場合があります。その場合、アプリケーションの印刷からのプリンタプロパティの用紙サイズをアプリケーションで設定した用紙サイズに合わせてから印刷をお願いいたします。**

(10) **「プリンタ構成」の設定**

プリンタで[Read Community]**が変更されている場合もしくは共有プリンタとして使用している場合は「プリンタ構成」シートの［自動設定］が動作しません。手動で設定してください。**

付録１　初期値（製品出荷時の設定値）一覧

付録 1-1 初期値一覧（1/2）

メイン	ダイアログ	設定項目	初期値	備考
基本	−	用紙サイズ	A4	
		印刷用紙	用紙サイズに従う	
		給紙方法	自動選択	
		用紙種類	普通紙	
		印刷前にユーザ情報を表示し、用紙を交換する	オフ	エディットボックスは空白
		印刷部数	1	
		部単位印刷	オフ	
		倍率	オフ	100%
		印刷方向	縦	
		両面印刷	オフ	
		裏面印刷	オフ	「ｴﾗｰﾘｶﾊﾞﾘする」はオン
		レイアウト	1 ページ	
	ユーザ定義用紙サイズ	単位	0.1mm	
		幅	210.0	
		長さ	297.0	
		用紙セット方向	縦長方向	
	詳細設定	とじしろ	長辺とじ 左／上とじ	
		表マージン	0	
		裏マージン	0	
		印刷順序（2 ページの設定）	左から右	
		印刷順序（4 ページの設定）	左上から右下	
		ページ枠を付ける	オフ	「実線」
カラー／品質	−	カラーモード	文書	
		印刷モード	標準	
		黒の印刷を K で行う	K	
		トナーセーブ	しない	
		色文字を黒で印刷する	オフ	
		オブジェクト単位の色調整	オフ	
	色の調整	表示サンプル	人物	
		ベースカラー	写真	
		明度調整	0	
		彩度調整	0	
		コントラスト調整	0	
		カラーバランス（シアン／赤）	0	
		カラーバランス（マゼンタ／緑）	0	
		カラーバランス（イエロー／青）	0	

付録 1-1 初期値一覧（2/2）

メイン	ダイアログ	設定項目	初期値	備考
	濃度調整	濃度調整する	オン	
		ブラック	0	
		シアン	0	
		マゼンタ	0	
		イエロー	0	
スタンプ印刷	ー	スタンプ印刷をする	オフ	
		スタンプ	CONFIDENTIAL	
		フォント	MS P ゴシック	
		スタイル	レギュラー	
		フォントサイズ	50	
		色	赤	
		位置	中央	
		濃度	7	
		角度	45	
オプション	ー	区切りページを出力する	オフ	「ジョブの前」と「カセット 1」が初期値
		印刷中にユーザ情報を表示する	オフ	エディットボックスは空白
		白紙出力	オフ	
		低速印刷	オフ	
		スリープ解除	オフ	
		EMF スプーリング	オン	

付録２　警告およびエラーメッセージ

プリンタドライバをインストールする場合、以下のメッセージを表示する場合があります。メッセージの原因および対処方法を以下に示します。

メッセージ	原因	対処方法
インストールの終了 使用許諾契約書に同意しないとﾌﾟﾘﾝﾀﾄﾞﾗｲﾊﾞのｲﾝｽﾄｰﾙはできません。ﾌﾟﾘﾝﾀﾄﾞﾗｲﾊﾞのｲﾝｽﾄｰﾙを中止します。よろしいですか? はい(Y)　いいえ(N)	「ｿﾌﾄｳｪｱ使用許諾契約書」が表示している画面で［同意しない］ﾎﾞﾀﾝを押した時に表示されます。	ﾄﾞﾗｲﾊﾞをｲﾝｽﾄｰﾙしない場合は［はい］ﾎﾞﾀﾝを押して処理を中止してください。ｲﾝｽﾄｰﾙする場合は［いいえ］ﾎﾞﾀﾝを押して始めから手順に従いｲﾝｽﾄｰﾙしてください。
ｾｯﾄｱｯﾌﾟ終了 ｲﾝｽﾄｰﾗを終了します。ﾌﾟﾘﾝﾀﾄﾞﾗｲﾊﾞはｲﾝｽﾄｰﾙされませんでした。 OK	ｲﾝｽﾄｰﾙ中に［ｷｬﾝｾﾙ］ﾎﾞﾀﾝを押した時に表示されます。	［OK］ﾎﾞﾀﾝを押し、ﾄﾞﾗｲﾊﾞをｲﾝｽﾄｰﾙする場合は、再度、始めからｲﾝｽﾄｰﾙ手順に従いｲﾝｽﾄｰﾙしてください。
警告 同じﾌﾟﾘﾝﾀ名を設定しています。もう一度ﾌﾟﾘﾝﾀ名を設定しなおしてください。 OK	既存のﾌﾟﾘﾝﾀ名を指定した時に表示されます。	［OK］ﾎﾞﾀﾝを押し、既存にないﾌﾟﾘﾝﾀ名を設定してください。
警告 使用できるﾎﾟｰﾄを選択してから「OK」ﾎﾞﾀﾝを押下してください。 OK	「ﾎﾟｰﾄの追加」でﾎﾟｰﾄを選択しないで［追加］ﾎﾞﾀﾝを押した時に表示されます。	［OK］ﾎﾞﾀﾝを押し、ﾎﾟｰﾄを選択して「追加」ﾎﾞﾀﾝを押してください。
警告 ﾎﾟｰﾄの追加でｴﾗｰが発生したか、「ｷｬﾝｾﾙ」ﾎﾞﾀﾝを押下したため、ﾎﾟｰﾄは追加されません。 OK	「ﾎﾟｰﾄの追加」で正しく設定しない場合または途中で「ｷｬﾝｾﾙ」ﾎﾞﾀﾝを押した時に表示されます。	［OK］ﾎﾞﾀﾝを押し、正しい手順でﾎﾟｰﾄを追加してください。
ｾｯﾄｱｯﾌﾟ終了 ﾌﾟﾘﾝﾀﾄﾞﾗｲﾊﾞのｲﾝｽﾄｰﾙは正常に終了しました。ｶﾗｰﾓｰﾄﾞを変更しましたので有効にする場合はｼｽﾃﾑを再起動する必要があります。すぐに再起動しますか？ はい(Y)　いいえ(N)	ﾄﾞﾗｲﾊﾞ初期値を変更してﾄﾞﾗｲﾊﾞのｲﾝｽﾄｰﾙ終了後、表示されます。	［はい］ﾎﾞﾀﾝを押してｼｽﾃﾑを再起動させてください。［いいえ］ﾎﾞﾀﾝを押した場合、初期値が有効とならない場合があります。
ｴﾗｰ ﾌﾟﾘﾝﾀﾄﾞﾗｲﾊﾞの設定(ﾃﾞﾌｫﾙﾄ値)を変更するための領域がありません。空き容量を確保した後で、再度ｲﾝｽﾄｰﾗを実行してください。 OK	ｼｽﾃﾑの空き容量が不足している場合に表示されます。	［OK］ﾎﾞﾀﾝを押し、ｼｽﾃﾑの空き容量を確保してから、再度、ｲﾝｽﾄｰﾙしてください。

メッセージ	原因	対処方法
警告 ﾌﾟﾘﾝﾀ以外を選択しています。 ﾌﾟﾘﾝﾀを選択し直してください。 OK	ﾈｯﾄﾜｰｸﾌﾟﾘﾝﾀの指定でﾌﾟﾘﾝﾀ以外を選択して［次へ］ﾎﾞﾀﾝを押した時に表示されます。	［OK］ﾎﾞﾀﾝを押し、ﾌﾟﾘﾝﾀを選択してください。
警告 既に同じ共有名が存在しています。 共有名を入力し直してください。 OK *WindowsNT4.0/2000/XP 使用時	同じ共有名を指定した時に表示されます。	［OK］ﾎﾞﾀﾝを押し、使用していない共有名を指定して、ｲﾝｽﾄｰﾙしてください。
ｾｯﾄｱｯﾌﾟ終了 ﾌﾟﾘﾝﾀﾄﾞﾗｲﾊﾞのｲﾝｽﾄｰﾙは正常に終了しました。 代替ﾌﾟﾘﾝﾀﾄﾞﾗｲﾊﾞをｲﾝｽﾄｰﾙしましたので有効にする場合はｼｽﾃﾑを再起動する必要があります。 すぐに再起動しますか？ はい(Y)　いいえ(N) *WindowsNT4.0/2000/XP 使用時	対象ｵﾍﾟﾚｰｼｮﾝｼｽﾃﾑﾄﾞﾗｲﾊﾞと代替ﾌﾟﾘﾝﾀﾄﾞﾗｲﾊﾞをｲﾝｽﾄｰﾙ終了後、表示されます。	［はい］ﾎﾞﾀﾝを押してｼｽﾃﾑを再起動させてください。［いいえ］ﾎﾞﾀﾝを押した場合、代替ﾌﾟﾘﾝﾀが有効とならない場合があります。
最新ﾊﾞｰｼﾞｮﾝのﾀﾞｳﾝﾛｰﾄﾞ ﾌﾟﾘﾝﾀﾄﾞﾗｲﾊﾞのﾀﾞｳﾝﾛｰﾄﾞｻｲﾄへの接続ができません。 OK	ﾈｯﾄﾜｰｸが正しく接続されていない状態でﾊﾞｰｼﾞｮﾝ情報ｼｰﾄの［ﾀﾞｳﾝﾛｰﾄﾞ］ﾎﾞﾀﾝを押した場合、表示されます。	［OK］ﾎﾞﾀﾝを押して、ﾈｯﾄﾜｰｸを正しく接続してから［ﾀﾞｳﾝﾛｰﾄﾞ］ﾎﾞﾀﾝを押してください。

HITACHI　販売元　株式会社 日立製作所

製造元　リコープリンティングシステムズ株式会社

〒180-6020 東京都港区港南二丁目15番1号（品川インターシティA棟21階）

■製品に関するお問い合わせ■

お客様相談センター　0120-86-2556

ご利用時間　9:00〜17:00

（土・日・祝日を除く）

CX5000DRV-020